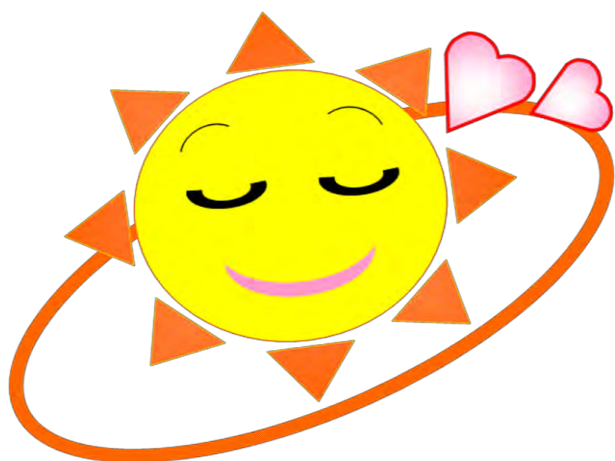


平成30年度  
事業報告書



社会福祉法人  
多摩市社会福祉協議会

総括	-----	1
新規・重点事業	-----	2
見直し検討・拡充	-----	7
<b>1 みんなが“つながり”“助け合える”仕組みを広げます</b>		
<b>1-1 地域住民主体の小地域福祉活動の促進</b>		
-1 地域福祉コーディネーターの配置	-----	8
-2 地域福祉推進委員会の運営支援	-----	9
-3 各エリアの住民ニーズの把握	-----	10
-4 各エリア別活動計画の策定	-----	10
-5 コミュニティエリアよりもさらに小エリアでの地域福祉活動の展開支援	-----	11
-6 活動拠点の整備（地域福祉コーディネーターの拠点）	-----	12
-7 自治会・町会・住宅管理組合福祉活動の支援（助成）	-----	12
-8 たすけあい有償活動の推進	-----	13
-9 ふれあい・いきいきサロン等の立ち上げ・運営支援	-----	14
<b>1-2 生活支援サービスの推進</b>		
-1 生活支援サービス事業の実施	-----	16
-2 生活支援コーディネーターの配置	-----	16
<b>2 みんなで“学びあい”“地域を支える心”を育みます！</b>		
<b>2-1 福祉を身近に感じる機会の提供</b>		
-1 福祉に対する意識に醸成	-----	18
<b>2-2 ボランティア・地域活動者の発掘・育成</b>		
-1 ボランティア、地域活動への住民参加の促進及び福祉人材の育成	-----	21
-2 ボランティア団体、NPO・市民活動団体支援の拡充	-----	25
<b>2-3 企業・学校・社会福祉法人等による地域貢献活動の促進</b>		
-1 多様な主体の参画の促進と連携・協力体制の構築	-----	27
-2 生活困窮者支援の推進	-----	30
<b>3 みんなの暮らしに“安心”を届けます！</b>		
<b>3-1 権利擁護の推進</b>		
-1 権利擁護センターの運営	-----	32
-2 市民後見人の養成	-----	34
<b>3-2 多様な相談機会の提供</b>		
-1 相談窓口の拡充	-----	35
<b>3-3 災害時支援体制の強化</b>		
-1 災害ボランティアセンタースタッフボランティアの発掘・育成	-----	36
-2 「要配慮者からのメッセージ」の改訂及び周知	-----	37
<b>3-4 情報発信の強化</b>		
-1 社協広報媒体の拡充	-----	38
<b>3-5 多様なサービスの提供</b>		
-1 老人福祉センターの充実	-----	41
-2 地域活動支援センター（障がい者福祉センター）の充実	-----	43
-3 障害福祉サービスの提供	-----	45

<b>1. 組織運営</b>		
(1) 三役会の開催	.....	47
(2) 理事会の開催	.....	47
(3) 評議員会の開催	.....	48
(4) 監査の概要	.....	48
(5) 各委員会の活動報告	.....	48
(6) 各部会の活動報告	.....	49
(7) 後援名義の使用許可状況	.....	49
(8) 多摩社協活動協力員登録状況	.....	49
<b>2. 連絡調整</b>		
(1) 実習生の受入れ状況	.....	50
(2) 講師の派遣	.....	50
<b>3. 普及・啓発</b>		
(1) 会報「ふくしだより」の発行	.....	51
(2) 福祉バザー	.....	51
(3) 福祉フェスタ	.....	52
(4) 福祉大会	.....	53
(5) メールマガジン配信状況	.....	53
(6) 福祉協力店状況	.....	54
<b>4. 組織強化活動</b>		
(1) 会員賛助金の状況	.....	55
(2) チャリティーゴルフ大会	.....	55
(3) 寄付金の状況	.....	55
<b>5. 助成事業</b>		
(1) 収支の状況	.....	56
(2) 福祉団体補助	.....	56
(3) 老人クラブ連合会事業費補助金	.....	56
(4) 自治会・住宅管理組合ふくし活動助成金	.....	57
(5) 自治会・住宅管理組合車椅子提供事業	.....	57
<b>6. 地域福祉活動の推進事業</b>		
(1) 収支の状況	.....	58
(2) 相談事業「福祉なんでも相談」	.....	58
(3) ふれあい・いきいきサロン推進事業	.....	59
(4) 小地域福祉活動推進事業	.....	65
<b>7. 生活支援体制整備事業</b>		
(1) 契約状況等	.....	72
(2) 収支の状況	.....	72
(3) 生活支援コーディネーターの活動状況	.....	72
<b>8. たすけあい有償活動事業</b>		
(1) 概要	.....	76
(2) 収支の状況	.....	76
(3) たすけあい有償活動実施状況	.....	76
(4) 過去5年間の状況	.....	77
(5) たすけあい有償活動協力員研修会	.....	77
(6) たすけあい有償活動協力員懇談会	.....	77
(7) たすけあい有償活動協力員説明会	.....	77

9. 住民主体による訪問型サービス

(1) 概要	79
(2) 収支の状況	79
(3) 住民主体による訪問型サービス実施状況	79

10. ボランティア・市民活動推進事業

(1) 収支の状況	81
(2) 多摩ボランティア・市民活動支援センター運営委員会及び各種専門委員会の開催	81
(3) ボランティア育成事業	81
(4) 地域出張相談事業	85
(5) 協力事業	85
(6) 地域出前事業	86
(7) ボランティア活動等振興助成金交付事業	88
(8) 販売事務業務委託（市受託事業）	89
(9) 関係機関との連携	89
(10) ボランティア基金・寄附金状況	90
(11) 多摩ボランティア・市民活動支援センターボランティア登録者状況	90
(12) 多摩ボランティア・市民活動支援センター(ヴァータ)利用登録者状況	90
(13) ボランティア相談状況	91
(14) 活動室・会議室利用状況及び機材貸出状況	91
(15) 多摩ボランティア・市民活動支援センター広報状況	92

11. 介護予防ボランティアポイント事業（市受託事業）

(1) 概要	93
(2) 契約状況等	94
(3) 収支の状況	94
(4) 事業実施状況	94

12. 福祉サービス利用援助事業

(1) 概要	96
(2) 地域福祉権利擁護事業（東社協受託事業）	96
(3) 東京都福祉サービス総合支援事業（市補助事業）	97
(4) 成年後見制度利用支援業務（市補助事業）	97
(5) 実施事業	98

13. 資金貸付事業

(1) 生活福祉資金（東社協受託事業）	101
(2) 小口資金	101
(3) 緊急援護事業	102
(4) ひとり親家庭高等職業促進資金貸付事業（東社協受託事業）	102
(5) その他（フードバンク事業）	102

14. 収益事業の実施

15. 老人福祉センター事業（市受託事業）

(1) 概要	104
(2) 契約状況等	104
(3) 収支の状況	105
(4) 利用状況	105

**16. 障がい者地域活動支援センター事業（市受託事業）**

(1) 概要	108
(2) 契約状況等	109
(3) 収支の状況	109
(4) 利用登録状況	110
(5) 実施状況	110

**17. 同行援護事業**

(1) 概要	117
(2) 収支の状況	117
(3) 同行援護活動実績	117
(4) 同行援護従事者研修会	118
(5) 同行援護従事者懇談会	118

**18. 意思疎通支援(手話通訳者派遣)事業（市受託事業）**

(1) 概要	119
(2) 契約状況等	119
(3) 収支の状況	119
(4) 多摩市登録手話通訳者の活動実績	120
(5) 手話通訳者研修会	120

**19. 意思疎通支援(要訳筆記者派遣)事業（市受託事業）**

(1) 概要	121
(2) 契約状況等	121
(3) 収支の状況	121
(4) 要訳筆記者の活動実績	122
(5) 要訳筆記者研修会	122

**20. 共同募金関係**

(1) 赤い羽根共同募金	123
(2) 歳末たすけあい運動募金	123

**21 その他の事業**

(1) 車椅子貸出事業	125
(2) 東日本大震災復興支援事業	125

# 平成30年度 事業報告書

## 本編

## 《事業報告書本編の見方》

- 事業種別→【重点】【新規】【継続】
- 財源→【自主】【補助】【受託】
- 担当係→各係名記載

取り	NO.1-1-1 地域福祉コーディネーターの配置		
内	コミュニティエリアごとに配置し、住民の相談に応じ、多様な分野や業種と連携し、地域課題の解決に向けた取り組みや見守りや居場所づくりなど、住民主体の支え合いの仕組みづくりを支援します。		
事業種別・ 財源・担当係	<b>新規・重点</b>	自主・補助	まちづくり推進係
活動計画 (年次計画)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
	・地域包括支援センターエリアに合わせて配置	・コミュニティエリアに1名ずつ配置	→
事業計画 (実施目標)	・地域包括支援センターと同様の担当係（1名）を1単位につき2コミュニティエリア（地域福祉センター）に地域福祉センター内の地域包括支援センター等の相談に応じ、地域特性に合わせて取り組んでいく。		
取組結果	今年度（平成 30 年度）の事業実施計画		

今年度（平成 30 年度）の計画に対しての取組結果

第4次多摩市地域福祉活動計画の取り組み内容と一致

第4次多摩市地域福祉活動計画で記した、主な3年間の取り組み内容

第4次多摩市地域福祉活動計画の3年間の年次計画

# 平成 30 年度総括

---

平成 30 年度は、社会福祉法の改正が施行され「地域共生社会の創造」への流れがさらに加速された。また、水害や地震など自然災害が多発し、改めて災害への備えがクローズアップされた年度でもあった。

このような中、地域福祉や災害ボランティアを担う社会福祉協議会への期待や責任は年々増大しているものと認識している。

多摩社協にとっては、「誰もが自分らしく、安心して暮らせる福祉のまちづくり」を基本理念とする第 4 次多摩市地域福祉活動計画の前期実施計画の中間年度であった。

小地域福祉活動の分野では、まちづくり推進担当の正職全員を「地域福祉コーディネーター」と「生活支援コーディネーター」との兼務とし、地域福祉推進委員会の活動をとおして災害時要配慮者の避難や見守りなど、住民主体の支え合いの仕組みづくりを支援した。また、サロン活動や「近所 de 元気アップトレーニング」の普及により、居場所づくりや介護予防の取り組みを推進した。

さらに、広くこうした活動への理解をいただけるよう、地域福祉コーディネーターの活動報告書を作成した。

災害ボランティアの分野では、実際の災害時の対応力を高めるため、被災地（倉敷市）の災害ボランティアセンターに職員を研修派遣するとともに、多摩青年会議所との間で「災害時における協力に関する協定書」を締結した。

権利擁護の分野では、将来の成年後見制度の利用者増を見据え、新たに八王子市社会福祉協議会と共催で養成講座を実施し、4 名の市民後見人の養成を行った。

このほか、様々な主体による地域貢献の仕組みの一環として多摩社協が主催している「多摩市内社会福祉法人ネットワーク連絡会」では、各法人のイベント等でのフードドライブ受付窓口の設置や、「車いすステーション（市民への車いす貸し出し拠点）」の設置に積極的に取り組んだ。また、福祉協力店も新規に 7 店舗が登録され 75 店舗となり、「赤い羽根・歳末たすけあい募金仕様の災害用自動販売機」設置や「車いすステーション」も拡充した。

自主財源確保の取り組みとしては、市内公共工事現場への自動販売機の設置をするるとともにチャリティゴルフ大会を年 1 回から 2 回開催にし、増収につなげることができた。他方、市民から寄せられた寄付金の還元策と合わせ、災害時も含め地域で活用できるよう自治会・管理組合等を対象に「車椅子提供事業」を行った。

さらに、生活困窮者支援としては、市内の子ども（誰でも）食堂を運営する団体への支援を行い、フードドライブ事業についても継続・拡大を推進した。

なお、平成 30 年度は法人化 45 周年にあたったことから、例年より規模を拡大して福祉大会を実施し、長年地域福祉に貢献した福祉協力店や自治会・管理組合などを表彰するとともに 2 部では多摩市と共催により、「子どもの貧困」をテーマとした講演会も開催した。



## **新規・重点事業**

---

平成 30 年度は、第 4 次多摩市地域福祉活動計画を遂行していく前期実施計画の中間年度となりました。本計画を踏まえ、平成 30 年度新規・重点事業として、以下の事項を具体的に推進した。

### **1. 地域住民主体の小地域福祉活動の促進**

#### **(1) 【重点】地域福祉コーディネーターの配置**

10 のコミュニティエリアに 12 名配置し、分野や対象を限定せず、横断的に住民の相談に応じ、多様な分野や業種と連携し、地域課題の解決に向けた取り組みや見守り居場所づくりなど、住民主体の支え合いの仕組みづくりを支援した。なお延べ、地域支援 2,449 件、個別相談 129 件の活動をした。また、昨年度の活動を報告書としてまとめた。

#### **(2) 【重点】地域福祉推進委員会の運営支援**

各コミュニティエリアの地域福祉推進委員会が、より充実した活動ができるように、多様な専門機関との連携やコーディネートし、住民主体の運営ができるように伴走支援をした。

#### **(3) 【重点】各エリアの住民ニーズの把握**

各地域福祉推進委員会でのグループワークや、座談会等で参加している地域住民から地域課題の抽出・仕分けをし、ニーズ把握を行った。それらを基に各地域福祉推進委員会の活動へつなげた。

#### **(4) 【重点】各エリア別活動計画の策定**

各地域福祉推進委員会等で抽出した課題を基に、地域福祉推進委員会活動の年間計画を世話人会で作成し、活動実施の支援を行った。計画の作成に関しては、フォーマットの見直しを実施し、可視化に向けて検討していく。

#### **(5) 【新規】コミュニティエリアよりもさらに小エリアでの地域福祉活動の展開支援**

自治会・町会・住宅管理組合等单位での見守りや居場所づくりなど、住民主体の助け合いの仕組みづくりとして、出前サロンを 2 地区（東寺方地区、馬引沢地区）で実施した。また、災害時用配慮者の避難や見守りの図上訓練である「LODE」を関戸、愛宕、豊ヶ丘、百草団地等で実施して小エリアでの地域福祉活動を推進した。

#### **(6) 【新規】活動拠点の整備（地域福祉コーディネーターの拠点）**

地域福祉コーディネーターが、より身近なところで地域住民の相談に応じるこ

とができるよう、その活動拠点の整備に向け、調査・検討をしたが、施設管理等の問題などから課題が多く、今後は民間との連携も含め、市との協議に向けて調整をしていく。

## **2. 生活支援サービスの推進**

### **(1) 【重点】生活支援コーディネーターの配置**

コミュニティエリア(第2層)に生活支援コーディネーターを配置し、地域包括支援センターや高齢支援課等と連携しコミュニティエリアごとの社会資源マップの作成をして配布した。また「近所 de 元気アップトレーニング」を高齡支援課、地域包括支援センター、リハビリ専門職と連携し、27団体の活動の立ち上げ支援をした。

## **3. ボランティア、地域活動者の発掘・育成**

### **(1) 【重点】ボランティア、地域活動への住民参加の促進及び福祉人材の育成**

#### **① 地域活動者の発掘、住民参加の促進**

ア 地域出前事業として地域のニーズに合わせた出前講座を企画・実施し、若い世代からシニア世代等幅広い世代に対して、ボランティア・地域活動に関する普及・啓発、福祉教育、市民学習の機会を提供した(13件)。今後も、地域との連携の下、地域活動者の掘り起こしに力を入れていく。

イ 多摩社協の役員や評議員経験者など地域福祉に理解のある方々が、引き続き地域福祉活動を一緒に推進してもらうため、多摩社協活動協力員制度を構築し、登録している23名の方々が引き続き活動した。

また、無償の活動だけでなく、たすけあい有償活動協力員や福祉サービス利用支援事業で活動する生活支援員など、有償による地域活動者の発掘にも力を入れた。たすけあい有償活動では協力員の少ない地区に協力員の説明会のちらしのポスティングの実施や、近隣の商業施設や老人福祉センター、郵便局などにちらしを配架し、28名の方々が協力員として新規登録した。(登録協力員数166名)

#### **② 地域活動等参加促進プログラムの充実**

地域活動等参加促進プログラムを見直し、学校、ボランティア・地域活動団体、関係機関等と連携し、ニーズに沿った講座や学習会を提供した。

(恵泉女学園大学「ボランティア講座」、セコム株「高齢者の特性、配慮のポイント」等)また、小中高の学校、団体・施設等への事業紹介や連携を通じ、夏のボランティア体験への参加者やボランティアポイント登録者が大幅に増加した。(夏のボランティア体験参加者407名、ボランティアポイント登録者数424名)

今後もさらに、福祉教育・理解の促進を図り、地域でのボランティア人材の発掘につながるよう力を入れていく。

### ③ 活動者へのフォローアップ及びスキルアップ支援

活動者に対して継続した活動へつなげていくために各種専門研修を実施し、フォローアップ体制の充実・強化を図った。また、中高生の若い世代のボランティア活動への参加意識の醸成につながるよう、ボランティアハンドブックを配布した。

## 4. 企業、学校、社会福祉法人等による地域貢献活動の促進

### (1) 【重点】多様な主体の参画の促進と連携・協力体制の構築

#### ① 市内社会福祉法人連携事業の推進

多摩市内に所在する、また多摩市内で福祉施設・事業所を経営する社会福祉法人で構成の「多摩市内社会福祉法人ネットワーク連絡会」を通じて以下の取組を実施した。

##### ◎連携して行う公益的な取組

- ・連絡会法人各事業でのフードドライブ窓口の設置
- ・法人施設への無料貸出用車椅子の設置と、それに伴う受け渡しの実施（連絡会として社協事業への協力）

##### ◎広報啓発

- ・東京医療学院大学「地域の保健医療福祉」の授業に参加
- ・ふくしのしごと就活応援セミナーの開催  
※児童、障がい、高齢の各分野の社会福祉法人の職員が、それぞれ福祉職場の魅力発信に努めた
- ・「子どもの貧困に関する講演会」開催（平成 30 年度福祉大会にて多摩市と共催）
- ・多摩社協ホームページ内にてネットワーク連絡会に関する記事を掲載

##### ◎幹事会・連絡会の開催

相互に情報交換を行いながら、地域ニーズや課題把握に努め、地域における公益的な取り組み内容について検討。全大会では、情報収集の機会として子どもの貧困の現状に関する学習会を実施。

#### ② 市内大学・企業連携事業の推進

多摩市内の企業、大学のボランティア・社会貢献活動の具体的な取り組みにつながる機会となる「企業等情報交換の集い」について、アンケート分析や企業間とのネットワークの検討のスケジュールを踏まえ、平成 31 年度実施予定。地域課題に対して各企業・大学の持つ専門性を活かした具体的な活動に結びつくよう、さらにコーディネート機能強化に努めていく。

#### ③ 福祉協力店の拡充

福祉協力店の協力内容を見直し、新たに「赤い羽根・歳末たすけあい募金仕

様の災害用自動販売機の設置」「貸し出し用車いすの設置」を追加した。結果、以下のとおり福祉協力店を増やすことができ、地域貢献活動を後押しするとともに、本会財源強化を図った。

◎平成 30 年度目標設置数：70 店舗

→ 設置店舗数：75 店舗（うち新規 7 店舗）

#### ④【新規】自治会・町会・住宅管理組合等单位での車いすステーションの設置

自治会・町会・住宅管理組合の集会所に「車いすステーション」を設置し、災害時なども含め、身近な地域で車いすを使用できる環境を整えるべく、申請のあった 48 団体に車いすを提供した。また、提供にあたっては操作説明会を開催し、車いすの活用・メンテナンスについても説明をした。

### (2)【新規】【重点】生活困窮者支援の推進

#### ① NPO等の支援及び連携

市内で子ども（誰でも）食堂を運営する団体に対し、各団体の課題やニーズを確認・把握し、事業運営上で必要な食材・消耗品等の購入支援を行った。フードバンク事業・学習支援等の生活困窮者支援に取り組むNPO・市民活動団体、自治会等の活動状況を把握しながら、必要な活動支援について検討し、制度整備を行う。

#### ② 生活支援とフードバンク等事業の推進

パルシステム東京多摩センターと連携し、市内全組合員にフードドライブ（食料品の寄付）の協力を呼びかけた。また、市内企業の備蓄品の入れ替えに合わせて非常食の寄付を受け、貸付相談者で当座の食料が必要な方々に配布することで、制度の狭間となる課題・問題解決を図った。また、生活困窮者支援を行う団体にも食料を配布し、団体を通じて生活支援を推進した。

「平成 30 年度実績は以下のとおり」

◎食料品の寄付の受付（フードドライブ実績）

寄付件数： 97 件

◎食料品の配布状況（フードバンク実績）

貸付相談者配布件数： 34 件

生活困窮者支援団体への配布件数：77 件

## 5. 権利擁護の推進

### (1)【重点】市民後見人の養成

成年後見制度の利用が増加する中で、地域の受け皿を広げていくために市民後見人の養成を八王子市社会福祉協議会と共催で実施し、4 名が市民後見人の養成を修了した。

## **6. 多様な相談機会の提供**

### **(1) 【重点】相談窓口の拡充**

専門機関等と連携し、相談者のニーズに即した専門相談機能を充実するため、新たに諏訪福祉館でのなんでも相談を開始した。コミュニティエリア内での相談窓口を拡大してより身近な地域で相談できる環境を整えた。

## **【見直し検討・拡充】**

### **1. 自治会・住宅管理組合福祉活動助成金の見直し**

自治会・町会・住宅管理組合で行う、地域内におけるコミュニケーションの活発化を図るための事業等への助成から、団体内の支え合い等の福祉活動に対して助成にするように見直しをした。

### **2. ふれあい・いきいきサロン助成金の見直し**

平成 29 年度に見直し、今年度から施行した。73 団体へ助成した。

### **3. 災害時要配慮者からのメッセージの見直し**

関係団体と協力し、冊子の情報の更新や、冊子改定に向けて市民にアンケートを実施し、見直しに向けての検討を行った。

### **4. 財政基盤の強化**

#### **(1)チャリティゴルフ大会（大会を年1回から2回開催へ）**

桜ヶ丘カントリークラブに加え、新たに府中カントリークラブでもチャリティゴルフ大会を開催。「地域ささえあい・歳末チャリティゴルフ大会」と称し、参加費に歳末たすけあい運動募金を含めて参加者を募集、自己財源の収入増を図った。

#### **(2)福祉協力店（自販機拡充）**

新たに入れ歯回収を福祉協力店の協力内容に入れたほか、自動販売機に関しては、福祉協力店だけにとらわれず、工事現場にも設置した。

#### **(3)他団体助成金（他団体助成金制度の活用）**

### **5. 法人化45周年に伴う事業の拡充**

パルテノン多摩小ホールにて開催。法人化 45 周年事業として、長年地域福祉に貢献した福祉協力店や自治会・住宅管理組合などを表彰対象とし、例年より多く個人・団体に表彰をおこなった。

### **6. 多摩ボランティア・市民活動支援センター登録団体支援内容の拡充**

登録団体の様々な活動に対応できるように活動振興助成金の要綱改正を行なった。また団体同士のネットワークのあり方を検討し、必要性等を含め引き続き検討した。

# 1 みんなが“つながり”“助けあえる”仕組みを広げます

## 1-1 地域住民主体の小地域福祉活動の促進

○コミュニティエリアごとに地域福祉コーディネーターを配置し、地域住民や関係機関からの相談対応や地域福祉推進委員会の運営支援を行うことで、人と人、人とサービスをつなぎ、制度の狭間にある生活課題や地域課題の解決に向けた取り組みを進めていきます。

○たすけあい有償活動やふれあい・いきいきサロン活動の推進を継続し、地域での支え合いの仕組みづくりや居場所づくりに取り組みます。

取り組み	NO. 1-1-1 地域福祉コーディネーターの配置		
内 容	コミュニティエリアごとに配置し、住民の相談に応じ、多様な分野や業種と連携し、地域課題の解決に向けた取り組みや見守りや居場所づくりなど、住民主体の支え合いの仕組みづくりを支援します。		
事業種別・財源・担当係	重点	【自主】*NO. 1-1-2 予算の中で実施	まちづくり推進担当
活動計画 (年次計画)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
	●地域包括支援センターエリアに合わせ配置	●エリア担当の整理・統一	→
平成 30 年度 事業計画 (実施目標)	●地域包括支援センターと同様の担当エリア（1包括につき、2コミュニティエリア）に配置されている地域福祉コーディネーターのエリア担当を整理し、当該エリア内の地域包括支援センター等の関係機関と連携を強化する。また、住民の相談に応じ、地域特性に合わせた課題の解決や支え合いの仕組みづくりを行っていく。		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コミュニティエリア（地域包括支援センターエリア）と合わせて12名を地域福祉コーディネーターとして配置した。</li> <li>●個別相談件数129件、地域支援件数2,449件（延べ件数）（4月から3月）で、地域性に合わせ、課題解決や世代間交流等、子どもから高齢者まで幅広い対象の住民からの相談と活動、仕組みづくりに取り組んだ。</li> </ul>		

取り組み	NO. 1-1-2 地域福祉推進委員会の運営支援		
内 容	10 のコミュニティエリアごとに設置されている「地域福祉推進委員会」の運営を支援します。また、委員会に取り込めていない地域への支援も行います。		
事業種別・ 財源・担当係	重点	【自主】2,440,000円(1,400,000円)	まちづくり推進担当
活動計画 (年次計画)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
	●既設置の地域福祉推進委員会の支援・充実	●和田地区での地域福祉推進委員会の立ち上げ ●一ノ宮地区での取り組み検討	●和田地区にて地域住民懇談会の開催 ●一ノ宮地区にて地域住民懇談会の開催 ●乞田地区での取り組み検討
平成 30 年度 事業計画 (実施目標)	●和田地区では平成 29 年度のコミュニティセンター立ち上げに合わせて住民懇談会を開催し、平成 30 年度の新規委員会立ち上げを目指す。 ●既設置の地域福祉推進委員会については、住民が主体的に運営できるように支援する。同コミュニティエリア内で、委員会に取り込めていない地域に関しては、ニーズ調査等を行いながら地域住民懇談会の開催に向けて準備を進める。(一ノ宮地域等)		
取組結果	●10か所の地域福祉推進委員会では、継続して住民主体の運営支援を実施した。 ●和田地区では、コミュニティセンターの福祉部会等から地域状況のヒアリングを行い、情報収集をした。 ●東寺方地区では、自治会や老人クラブなどと連携し、ミニ懇談会を開催。出前サロン等を実施し、住民主体へ移行していきながら、地域福祉推進委員会開催につなげていけるよう、取り組みを行った。 ●一ノ宮地区に関しては、当該地域のサロンなどへ働きかけ、既存の関戸地域の委員会へつなぎ連携ができる体制づくりを支援した。		



取り組み	NO. 1-1-3 各エリアの住民ニーズの把握		
内 容	地域の座談会やワークショップなど、地域性に合わせた方法で住民ニーズ・課題を把握し、明確化します。		
事業種別・ 財源・担当係	新規	【自主】*NO. 1-1-2 予算の中で実施	まちづくり推進担当
活動計画 (年次計画)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各地域福祉推進委員会と連携し計画</li> <li>●5 エリアでニーズ調査実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●5 エリアでニーズ調査実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●10 エリアでのニーズ調査まとめ</li> </ul>
平成 30 年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各地域福祉推進委員会でのニーズや課題のまとめを行う。グループワーク等の実施、各事業（講座等）で参加者にアンケートを実施し、ニーズや課題を把握し明確化していく。</li> </ul>		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域福祉推進委員会での地域課題出しのグループワークや世話人会等での住民からの意見から、地域ニーズの把握につなげ、地域福祉推進委員会や自治会・管理組合単位での課題解決、居場所づくりへつなげた。</li> </ul>		

取り組み	NO. 1-1-4 各エリア別活動計画の策定		
内 容	各エリアのニーズ調査に基づき、地域課題を抽出し、各エリア地域福祉推進委員会の活動計画の策定に取り組みます。		
事業種別・ 財源・担当係	新規	【自主】*NO. 1-1-2 予算の中で実施	まちづくり推進担当
活動計画 (年次計画)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各地域福祉推進委員会と連携し計画</li> <li>●ニーズ調査に合わせ5 エリアの地域福祉推進委員会で試行的に作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ニーズ調査に合わせ5 エリアの地域福祉推進委員会で作成</li> <li>●フォーマット等の見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全エリアで作成し、事業に反映する（後期実施計画に反映）</li> </ul>

平成 30 年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●明確化した地域課題やニーズを基に、地域福祉推進委員会とも連携し、エリアの特性に合わせた地域活動計画を策定する。</li> <li>●計画策定のモデルエリアとして「永山」「貝取・豊ヶ丘」「愛宕・乞田」「鶴牧・落合・南野」「唐木田・中沢・山王下」の5エリアを想定。</li> </ul>
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コミュニティエリアをより細分化し地域カルテを作成した。抽出した課題を基に、各地域福祉推進委員会の年間計画の作成支援をした。</li> </ul>

取り組み	NO.1-1-5 コミュニティエリアよりもさらに小エリアでの地域福祉活動の展開支援		
内 容	自治会・町会・住宅管理組合等单位（第3層）で地域福祉コーディネーターが相談支援や見守り・居場所づくり、住民主体の支え合いの仕組みづくりなどの支援を行います。		
事業種別・ 財源・担当係	新規	【受託】3,000,000円(3,000,000円)	まちづくり推進担当
活動計画 (年次計画)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
	●自治会、町会、住宅管理組合等の対象検討・ニーズ調査・調整（1～3 団体を選出）	●対象の自治会、町会、住宅管理組合等でエリア担当のコーディネーターが支援開始	●支援の継続と評価 →
平成 30 年度 事業計画 (実施目標)	●地域ニーズや課題の抽出を行う中で、モデルとなる団体（自治会・住宅管理組合等）を選出し、助け合いの仕組みづくりについても当該団体の住民と検討していく。（永山・東寺方・和田地区を想定）		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●永山地域において、自治会・包括・市と連携し、地域での居場所づくりや支え合いの仕組みづくりに向けて意見交換を行い、自治会主体での支え合いの仕組みがスタートした。</li> <li>●馬引沢・諏訪地域福祉推進委員会で出た課題から、馬引沢地域の住民と連携して出前サロンを実施し、馬引沢地域での初めてのサロンが立ち上がった。</li> <li>●東寺方地区では、出前サロンによる居場所づくりを定例的に開催し、地域のつながりや介護予防の体操を実施した。</li> </ul>		

取り組み	NO.1-1-6 活動拠点の整備（地域福祉コーディネーターの拠点）		
内 容	より小地域で住民が相談できる環境づくりや、地域福祉コーディネーターが地域包括支援センターなどの専門機関と連携し、一体となった活動展開をしていくための拠点をコミュニティエリア内に設けます。		
事業種別・ 財源・担当係	新規	まちづくり推進担当	
活動計画 (年次計画)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
	●コミュニティエリア内での地域福祉コーディネーターの拠点を検討・調査・調整	●モデルエリアを設定し、地域福祉コーディネーターを配置協議・検討	●モデルエリアの評価 ●複数エリアへの展開を検討・調整
平成 30 年度 事業計画 (実施目標)	●コミュニティエリア内での地域福祉コーディネーターの拠点を検討・調査・調整し、市と協議していく。 ●和田地区をモデルエリアとし、コミュニティセンター等でコーディネーターが定期的に滞在し、相談時間等の拡大を図る。		
取組結果	●和田地区において、コミュニティセンター運営協議会などと連携し、定期的な活動の場として福祉なんでも相談を開催。その他の地域も継続して関係機関と調整し、地域でのコーディネーターの活動の場の確保を目指している。		

取り組み	NO.1-1-7 自治会・町会・住宅管理組合福祉活動の支援（助成）		
内 容	自治会・町会・住宅管理組合等で行う、地域内におけるコミュニケーションの活発化を図るための事業や、福祉に関する事業に対し助成金を交付します。		
事業種別・ 財源・担当係	継続	【自主】1,632,000円(1,638,000円) 【補助】 2,000円( 11,000円)	まちづくり推進担当
活動計画 (年次計画)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
	●一部見直し、実施	●見直し、実施	●実施
平成 30 年度 事業計画 (実施目標)	●平成 31 年度の実施に向けて、自治会・住宅管理組合ふくし活動助成金について、より地域の福祉活動を支援する事業内容となるよう対象事業や対象経費の見直しの検討を進める。		



取り組み	NO.1-1-9 ふれあい・いきいきサロン等の立ち上げ・運営支援		
内 容	高齢者や子育て中の親子など地域の誰もが楽しく気軽に立ち寄れる仲間づくりの場として、「ふれあい・いきいきサロン」等の立ち上げ・運営支援を行います。サロンの開催回数に応じて助成額を変更し、運営継続支援を行います。		
事業種別・財源・担当係	継続	【自主】1,508,000円(1,189,000円) 【補助】364,000円(362,000円)	まちづくり推進担当
活動計画 (年次計画)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)
	●90か所 ●助成金の見直し	●100か所以上 ●助成額の変更	→
平成30年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市内のサロン100か所を目指す。</li> <li>●サロンの開催回数に応じて助成金額を変更することにより、サロン活動の活性化を促進する。</li> <li>●自治会等と連携し、各エリアの状況に応じてサロンのない地域で出前サロンを実施する。</li> </ul>		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●今年度、新規サロン20箇所が立ち上がり、登録したサロン89団体、連携サロン6団体、ラウンジ活動を含め合計99団体の活動支援した。(活動休止したサロン2団体は除く)</li> <li>●今年度から、登録年数ではなく、開催回数に応じた助成金制度を施行。結果、サロン数だけでなく、開催回数を増やした団体が増加し、月4回以上開催しているサロンは42団体となった。(前年度の月4回以上のサロンは17団体)</li> <li>●サロン説明会を2回開催(8月:10人参加、2月:8人参加)。新規サロンの立ち上げにつながった。</li> <li>●2月に市内全サロンを対象として交流会を開催。(54団体81人参加)サロンの活動動向についての報告とサロンの活動紹介を実施し、その後課題別のグループに分かれ意見交換を行った。各サロンで実施している取り組み内容や工夫点等などの情報交換を行なうことができた。</li> <li>●地区別のサロン交流会を4地区で開催。地区内のサロン同士の交流や情報交換を行い、居場所づくりの重要性を共有する機会となった。(6月:永山地区15人、10月:関戸地区21人、12月:貝取・豊ヶ丘地区20人、3月:連光寺・聖ヶ丘地区24人)</li> <li>●自治会や老人クラブ、民生児童委員、地域包括支援センター等と連携し、サロンがない地域で出前サロンを実施(4~3月:東寺方地区 延べ138人、5~9月:永山地区 延べ70人、2~3月:馬引沢地区 延べ53人)</li> <li>●地域福祉推進委員会や民生児童委員、地域包括支援センターと連</li> </ul>		

携を図り、サロン参加者に福祉情報を提供することで、認知症の方の見守り等ゆるやかな支援につながった。

●サロン通信4回発行。(6月、10月、12月、2月)

※詳細は附属明細書参照

## 1-2 生活支援サービスの推進

○生活支援コーディネーターを配置し、地域包括支援センター等の関係機関や地域住民との連携を図りながら、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるような生活支援・介護予防の基盤づくりに取り組みます。

○介護保険法の介護予防・生活支援サービス事業である「住民主体による訪問型サービス」を実施し、住民主体による生活支援を推進します。

\*平成30年4月より「住民主体による訪問型サービス」に名称が変更

取り組み	NO.1-2-1 生活支援サービス事業の実施		
内 容	「新しい総合事業」に基づく、介護予防・生活支援サービス事業における、住民主体の生活支援に関わる訪問型サービスを実施します。		
事業種別・財源・担当係	継続	【自主】1,851,000円(1,441,000円)	まちづくり推進担当
活動計画 (年次計画)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)
	●継続(訪問型サービスB)	●活動内容の拡大	→
平成30年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●サービス提供については、地域包括支援センターや新規事業所、市役所とも情報共有を図りながら、連携を取り進めていく。</li> <li>●サービスの担い手である協力員の登録数を増やし、新規やみなしから移行してくると想定されるニーズに応えられるサービス体制をつくる。</li> </ul>		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●登録利用者数18名(3月末日現在)</li> <li>●地域包括支援センターや居宅介護支援事業所との連携により利用者が増えた。(今年度14名増加)</li> <li>●平成30年4月より買物同行支援が追加。市で行っている生活サポーター養成講座には買物同行支援の科目が追加された。年2回開催され、受講したサポーターは32名だった。</li> </ul>		

取り組み	NO.1-2-2 生活支援コーディネーターの配置		
内 容	コミュニティエリア(第2層)での高齢者等を対象とした社会資源の把握やサービスの創出を行い、住民同士の支え合いの仕組みづくりに取り組みます。また高齢者の生活支援、介護予防、社会参加を一体的に推進します。		
事業種別・財源・担当係	新規	【受託】7,472,000円(5,000,000円)	まちづくり推進担当

	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
活動計画 (年次計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●多摩市日常生活圏域に合わせて配置 (2 圏域)</li> <li>●居場所づくりや介護予防体操の普及など社会参加の促進を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●多摩市日常生活圏域に合わせて増員配置 (5 圏域)</li> <li>●居場所づくりや介護予防体操の普及など社会参加の促進のほかに、住民同士の支え合いの仕組みづくりの支援を行う</li> </ul>	<p>→</p> <p>→</p>
平成 30 年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生活支援コーディネーターを日常生活圏域（5 圏域）を基に配置し、高齢者の居場所づくりや、介護予防の促進など、地域包括支援センターや他の専門機関とも連携して活動を進めていく。</li> <li>*生活支援コーディネーターの配置については、市と協議していく</li> </ul>		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日常生活圏域（5 圏域）に生活支援コーディネーターを配置。</li> <li>●近所 de 元気アップトレーニング（H31.3 月末時点 27 団体）を活用した介護予防や居場所づくりを行った。実施団体を増やすため、プレゼンを 24 団体へ実施。全市向けの説明会を 1 回実施。</li> <li>●また、地域包括支援センターの開催する、地域ケア会議への参加や多摩市高齢支援課主催のぐっどらいふミーティングに参加し、個別ケースの検討を行った。</li> </ul>		



## 2 みんなで“学びあい”“地域を支える心”を育みます！

### 2-1 福祉を身近に感じる機会の提供

○市民が誰でも参加できる福祉に関わる行事を開催し、福祉活動の意義や重要性の周知や意識の啓発を図ります。

取り組み	NO. 2-1-1 福祉に対する意識の醸成			
内 容	各種福祉イベント等を開催し、子どもから高齢者まで幅広い年代の方々に各種体験などを通じて、楽しみながら身近に福祉やボランティア・市民活動を感じてもらう機会を提供することで、市民一人ひとりの福祉に対する意識の醸成を促進します。			
事業種別・ 財源・担当係	継続	【自主】	1,375,000円 (1,129,000円)	総務係・ボランティア担当
活動計画 (年次計画)	各種福祉イベントの実施	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
		●福祉フェスタの開催 ●ボランティアまつりの開催 ●福祉大会の開催	→	→
平成 30 年度 事業計画 (実施目標)	<p>●福祉フェスタは、「多摩社協が秋に実施するイベント」として地域に定着を図り、福祉に対する意識の醸成を促進するとともに、福祉施設・団体の参加、PR、財源確保につながるよう場を提供する。また、多摩ニュータウン環境組合及び唐木田コミュニティセンター運営協議会並びに大妻女子大学が行うイベント（たまかんフェスタ、菖蒲館まつり、学園祭）と同日開催し、近隣地域内の事業所等とのつながりをさらに深めながら福祉意識を醸成し、理解・促進を図る。</p> <p>●ボランティアまつりは、まちづくり推進担当と協力して、地域活動の紹介・体験等も取り入れて開催する。</p> <p>●福祉大会は、法人化45周年事業として市内公共施設のホールで開催し、広く福祉活動の普及啓発を行う。また、長年協力のある福祉協力店や福祉活動を積極的に行っている自治会など、幅広く表彰を行う。</p>			
取組結果	●福祉フェスタは、平成30年度より大妻女子大学も加わり、近隣4施設で連携（各施設のゆるキャラ大集合、スタンプラリー、ホームセンターでのイベントPR等）して開催した。また、使用会場を広げ（福祉センター4階フロア、6階休憩室を開放）体験企画ブースを増大した他、サンリオピューロランド（キティちゃん）の参加協			

力を得る等、昨年度より内容面での拡充を図った。こどもたちから高齢な方まで幅広い年代が多く各種体験等に参加し、楽しみながら身近に福祉やボランティア活動等に関心をもってもらう機会となった。

●地域活動の担い手になりうるシニア世代を対象を絞った内容に見直し、1月26日(土)に「ボランティア・地域活動見本市」を開催。23の市内活動団体・機関のブース参加とTFPP(フレイル測定)を実施した。

●福祉大会は、法人化45周年事業として2月9日(土)にパルテノン小ホールにて開催。福祉協力店や自治会・住宅管理組合など表彰対象を広げ、234の個人・団体を表彰した。当日は、81の受賞者・団体が出席、その他来賓23人、役員等48人、一般50人が来場。式典後行われた、市との共催の「子どもの貧困に関する講演会」は、当会関係者64人、一般212人、行政関係者8人が来場。

事業種別・ 財源・担当係	継続	【受託】 461,000円(389,000円)		センター係
		平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)
活動計画 (年次計画)	障がい者理解 の促進	●障がい者と共にひとときの和の開催 (年2校)	●学校のニーズに応じた障がい者と共にひとときの和の開催 (年2校)	→ (年2校)
		●障がい者スポーツを通じた理解の促進 (年3回)	●障がい者スポーツ体験をイベント等で実施 (年4回)	→ (年5回)
		●防災訓練や福祉イベント、学校等でのハンディキャップ体験の実施・協力	●防災訓練や福祉イベント、地域、関係機関へのハンディキャップ体験の実施・協力	→
		●関係機関と連携した地域での学習会やミニ理解講座等の開催	●継続	→

		●講演会等の実施 (年2回)	●当事者や家族に役立つ講演会等の実施 (年2回)	(年2回) →
平成30年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「障がい者と共にひとときの和」開催校のニーズに応じたプログラムを実施するとともに関係福祉団体との連携を強化し、障がい者理解を深める内容の充実を図る。</li> <li>●イベント等で障がい者スポーツ体験を実施し、広く地域住民に向けて障がい者理解と普及啓発を行う。</li> <li>●福祉イベントの他、地域や関係機関へのハンディキャップ体験を実施、協力することで支援方法と障がい者理解を深める。</li> <li>●講演会を通じて、当事者や家族、支援者に役に立つ情報を提供することで社会との交流や不安の解消につなげるとともに地域住民における障がい者理解を促進する。</li> </ul>			
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「障がい者と共にひとときの和」を市内小学校2校で開催。福祉団体による講話・体験の他、介助犬講話や当事者の講話、福祉車両体験など開催校のニーズに沿った内容を多く取り入れた。</li> <li>●「ロービジョンフットサル体験会」の開催や福祉フェスタでの「サウンドテーブルテニス(卓球)」「ボッチャ」体験コーナーを実施した。単独での体験会開催は周知方法に更なる工夫が必要であった。イベント開催時の体験コーナーには多くの参加者があり障がい者理解と障がい者スポーツの普及を行うことができた。</li> <li>●失語症パートナーについての講演会とひきこもり家族会立ち上げに向けた講演会をそれぞれ当事者団体やNPO法人と共催で開催した。ひきこもり家族会立ち上げには多くの来場があり関心の高さが反映されていたため、今後も懇談会開催の支援を行っていく。</li> </ul>			

## 2-2 ボランティア・地域活動者の発掘・育成

○ボランティア活動や有償活動等、地域の福祉活動や健康づくり活動に積極的に関わっていく人材を育成します。また、単体組織・団体では解決できない課題等に対応していくため、ボランティア団体、NPO・市民活動団体との連携及び支援を強化していきます。

<p>取り組み</p>	<p>NO. 2-2-1 ボランティア、地域活動への住民参加の促進及び福祉人材の育成</p>			
<p>内 容</p>	<p>地域福祉コーディネーター等による積極的なアウトリーチの展開により、地域のニーズを把握し、ボランティア担当との連携により、多様なボランティア・地域活動情報を市民に向けて発信します。加えて、地域出前事業を充実しながら、若い世代からシニア世代等幅広い世代に対して、ボランティア・地域活動に関する普及・啓発、福祉教育、市民学習の機会を提供し、地域活動者の掘り起こしを行います。</p> <p>また、地域活動等参加促進プログラムを見直し、学校、ボランティア・地域活動団体、関係機関等と連携しながら、ニーズに沿った講座や学習会を提供するとともに、既存のボランティア・地域活動団体、施設等の活動受け入れ先を拡充し、“今あなたが出来ること”が地域活動につながるようコーディネート機能の充実を図ります。</p> <p>さらに、活動者に対して継続した活動へつなげていくために研修会の実施やフォローアップ体制の充実・強化を図ります。</p>			
<p>事業種別・ 財源・担当係</p>	<p>重点</p>	<p>【自主】 4,000円（18,000円） 【補助】 62,000円（62,000円）</p>	<p>ボランティア担当、 まちづくり推進担当、 権利擁護センター、 総務係</p>	
<p>活動計画 (年次計画)</p>	<p>地域活動者の 発掘、住民参 加の促進</p>	<p>平成 29 年度 (2017 年度)</p>	<p>平成 30 年度 (2018 年度)</p>	<p>平成 31 年度 (2019 年度)</p>
		<p>●福祉教育、市民学習に関する地域出前講座、学習会の開催、コーディネート</p>	<p>→</p>	
		<p>●たすけあい有償活動協力員説明会の開催 (年 2 回) (登録者 210 人)</p>	<p>(登録者 220 人)</p>	<p>(登録者 220 人)</p>
		<p>●生活支援員事業説明会の開催 (年 2 回)</p>	<p>→</p>	

	●多摩社協活動協力員の検討・設置	・活動内容精査	・拡充
平成30年度事業計画(実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●団体、学校等と協力して、学校や企業・地域でのボランティアや、障がい者、高齢者理解へつなげる講座や体験を実施する。</li> <li>●たすけあい有償活動の協力員登録説明会を年2回、上半期、下半期各1回実施する。</li> <li>●福祉サービス利用援助事業で活動する生活支援員の人材発掘・登録を行う。</li> <li>●多摩社協活動協力員(*1)と意見・情報交換しながら、活動しやすい環境を整備していく。また、生活支援員やガイドヘルパー経験者などにも協力員活動を紹介し、協力者のすそ野を広げていく。 (*1) 多摩社協の役員や評議員経験者など、地域福祉に理解のある方々が協力員として登録し、地域福祉活動推進の一翼を担っている方々。平成30年2月末現在22名登録。</li> </ul>		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新たに大妻多摩女子中学校でボランティア講座(学生向けハンドブックがきっかけ)や、恵泉女学園大学でのボランティア入門講座、セコムの職員研修で福祉理解講座を実施した。</li> <li>●福祉サービス利用援助事業の生活支援員活動内容について、パンフレットやDVDを用いて説明を行った。(5回実施し参加者20名、うち6名新規登録。H30年度末現在42名登録)</li> <li>●たすけあい有償活動協力員登録説明会を2回実施。参加者は上半期、第1回目は6人、下半期第2回目は14人が参加。その他も含め、今年度新規登録者は28名であった。平成30年度3月末の協力員登録数は166名。</li> <li>●多摩社協活動協力員に活動に関するアンケート調査と懇談会を開催し活動内容、活動時間等の活動環境の整備を行った。(登録者数、平成30年度3月末現在で23名)</li> </ul>		

事業種別・財源・担当係	重点	【自主】1,009,000円(959,000円) 【補助】181,000円(181,000円) 【受託】6,950,000円(6,803,000円)	ボランティア担当、センター係、権利擁護センター	
活動計画(年次計画)		平成29年度(2017年度)	平成30年度(2018年度)	平成31年度(2019年度)
	ボランティア・地域活動者の育成支援(地域活動等参加促進プログラムの見直し、再構築)	●地域活動へつなげるコーディネート方法の再構築	●充実	→
		●市民活動講座の開催(年2講座)		→
●夏のボランティア体験者の拡大(参加者180人)		(参加者190人)	(参加者200人)	

		<ul style="list-style-type: none"> <li>●老人福祉センター「寿大学」、各種学習会の開催 (年 20 講座以上)</li> <li>●地域活動支援センター講座の開催 (年 12 講座)</li> <li>●成年後見に関する講座、学習会の開催 (年 5 回)</li> <li>●多摩市介護予防ボランティアポイント事業の拡充(事業対象活動メニューの拡充等) (登録者 400 人)</li> </ul>	<p style="text-align: center;">→</p> <p>●継続</p> <p style="text-align: center;">→</p> <p style="text-align: center;">→</p> <p style="text-align: center;">→</p> <p>(登録者 400 人)</p>	<p style="text-align: center;">→</p> <p style="text-align: center;">→</p> <p style="text-align: center;">→</p> <p style="text-align: center;">→</p> <p>(登録者 400 人以上)</p>
<p>平成 30 年度 事業計画 (実施目標)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民活動講座や夏のボランティア体験等を実施して、活動・体験後に活動先と協力して講座受講者・体験者が地域で活動できる場をコーディネートすることで、参加者増へつなげていく。</li> <li>●老人福祉センター寿大学「21 講座」うち新規講座 2 講座を予定。</li> <li>●障がいのある方を対象に講座を開催し、社会参加と交流の場を提供する。また、障がい者パソコンボランティア養成講座について関係団体へ協力する。</li> <li>●成年後見制度に関する講座・学習会を開催し制度の普及啓発を行う。</li> <li>●多摩市介護予防ボランティアポイント登録者説明会を毎月実施する。</li> </ul>			
<p>取組結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小中高の学校関係、高齢者団体・施設等への事業紹介や連携を通じ、夏のボランティア体験への参加者が大幅な増加につながった(夏のボランティア体験参加者 407 名)。「特技・芸能ボランティアカタログ」を作成(平成 31 年 1 月)。市内の福祉施設や地域の活動団体(ふれあい・いきいきサロンなど)などから、芸能披露やその他特技のあるボランティア(個人・団体)の紹介の依頼があった際に幅広い提案を実施。ボランティア(個人・団体)の活動の促進にもなった。</li> <li>●法定後見制度・任意後見制度等について弁護士などの専門職から制度の活用方法等について講演を行った。障がい者及びその家族を対象とした「成年後見の集い」ではアンケートより「今後も参加したい」との回答を多数いただいた。(7 回実施、参加者 129 名)</li> <li>●寿大学 21 講座、うち新規に 3 講座(中国語入門、リズムダンス、体幹ストレッチトレーニング)を実施。</li> <li>●体操・陶芸・パソコン教室など身体・知的・精神障がい者を対象に 6 講座を実施し、社会参加を促進した。</li> <li>●毎月第 2 木曜日にボランティアポイント登録者説明会を実施。(今年</li> </ul>			

度登録者数 89 名。全ボランティアポイント登録者数 424 名)。

事業種別・ 財源・担当係	重点	【自主】 107,000 円 ( 83,000 円) 【補助】 273,000 円 (273,000 円) 【受託】 272,000 円 (237,000 円)		ボランティア担当、ま ちづくり推進担当、権 利擁護センター、セン ター係
		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
活動計画 (年次計画)	活動者へのフ ォローアップ 及びスキルア ップ支援	●体験や講座参加 者のフォローア ップの構築	●実施	→
		●たすけあい有償 活動協力員研修 会の開催 (年 2 回)		→
		●生活支援員研修 会の開催 (年 2 回)		→
		●後見人懇談会の 開催 (年 3 回)		→
		●同行援護従事者 懇談会・研修会 の開催 (年 2 回)	●継続	→
		●登録手話通訳 者、要約筆記者 研修会の開催 (年 20 回)	●継続	→

<p>平成 30 年度 事業計画 (実施目標)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●既にボランティア・市民活動をしている方を対象として、スキルアップを図るための講座を実施する。</li> <li>●たすけあい有償活動の協力員に対する研修を年 2 回、上半期、下半期各 1 回実施する。また、初任者向けとステップアップと研修内容を目的に合わせ変更する。</li> <li>●福祉サービス利用援助事業で活動する生活支援員の人材育成のため生活支援員研修会を実施する。</li> <li>●成年後見活動における後見業務について、親族後見人・専門職後見人に対して後見人懇談会を実施する。</li> <li>●同行援護従事者のスキルアップのための技術研修会と、日頃の活動について情報を共有し意見交換を行うための懇談会を開催する。</li> <li>●手話通訳者及び要約筆記者の意見を取り入れながら、技術向上のためのスキルアップ研修を実施する。</li> </ul>
<p>取組結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ボランティアや市民活動を実施している団体が活動の推進・発展につながるよう団体の活性化の支援をするため、三つ折りパンフレット作成講座を開催した（参加者 10 名）。</li> <li>●たすけあい有償活動協力員に対する研修を 5 月に上半期の認知症講座は初任者向講習として 12 名参加し、下半期はステップアップ編として 12 月に車イス操作講習の内容で開催し 11 名の協力員が参加しそれぞれ利用者理解につながる機会となった。</li> <li>●後見人等に対して後見活動における後見業務のポイントを専門職から説明し、その後参加者同士の懇談会を開催した。（3 回実施、参加者 43 名）</li> <li>●生活支援員に対して生活保護制度や障がい者の福祉サービスについて多摩市の職員から説明し、生活支援員のスキルアップを行った。（2 回開催、参加者 39 名）</li> <li>●同行援護従事者研修や懇談会では、利用者の高齢化等に対応できるよう実技や知識を得られるよう車いす操作や権利擁護センターの情報提供などを行った。</li> <li>●手話通訳者及び要約筆記者の意見を取り入れながら、技術向上のためのスキルアップ研修を、手話 12 回・要約筆記 8 回実施した</li> </ul>

<p>取り組み</p>	<p>NO. 2-2-2 ボランティア団体、NPO・市民活動団体支援の拡充</p>
<p>内 容</p>	<p>ボランティア担当登録団体に限らず、ボランティア団体、NPO・市民活動団体と連携を深める場を構築し、課題を共有しながら連携した活動展開を図ります。また、ボランティア活動等の振興及び活性化を図るため、ボランティア登録団体の支援を強化し、ボランティア登録団体への加入及び幅広い市民の地域活動への主体的な参加を促進します。</p>



事業種別・ 財源・担当係	継続	ボランティア担当		
活動計画 (年次計画)		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
	ボランティア 団体、NPO・市 民活動団体同 士のネットワ ークの構築	●ネットワー ク化に向けた 検討・ニーズ 調査	●ニーズ調査 を基に必要に 応じたネット ワーク化	●精査
平成 30 年度 事業計画 (実施目標)	●団体へのニーズ調査を基に、団体同士が必要と感じているテーマに 応じたネットワーク化を図る。 また、様々な活動に対応できるように活動振興助成金の拡充を図り、 ボランティア・市民活動の活動支援につなげていく。			
取組結果	●多摩ボラセン登録団体へのアンケート調査を実施。団体のニーズ を基にネットワーク化を進めるか再度検討。ボランティア活動等 振興助成金は、子ども食堂等以外に多摩ボラセン登録団体 58 団体 中 10 団体へ合計 304,000 円を助成した。			
事業種別・ 財源・担当係	継続	【自主】100,000 円 (100,000 円) 【補助】810,000 円 (810,000 円)	ボランティア担当	
活動計画 (年次計画)		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
	ボランティア 登録団体支援 の強化	●支援内容の 検討	●拡充	→
平成 30 年度 事業計画 (実施目標)	●登録団体の様々な活動やノウハウを生かし、新たなボランティア 活動・プログラムをつくることで、登録団体の活性化を図る。			
取組結果	●多摩ボラセン登録団体へのアンケート調査を実施。アンケート回 答に 25 団体が回答 (回答率約 47%) し、14 団体が地域の団体と連 携をとっているとの結果になった。今後地域での活動を充実してい くための支援 (講座開催等) を検討。			

## 2-3 企業・学校・社会福祉法人等による地域貢献活動の促進

○市内の企業、学校、社会福祉法人等による地域貢献活動に対する支援やコーディネートを行うとともに、民間団体の福祉的活動への支援を推進します。

取り組み	NO.2-3-1 多様な主体の参画の促進と連携・協力体制の構築			
内容	<p>市内社会福祉法人や福祉活動団体、企業等の地域福祉活動への参画を促進し、連携・協働しながら、多様な福祉ニーズや生活課題など、様々な地域課題を解決できるよう取り組みます。</p> <p>たまボランティアギフトの仕組みと企業情報交換の集いの内容を構築し、より参加につながるよう、支援します。</p>			
事業種別・財源・担当係	重点	【自主】100,000円(100,000円) 【補助】300,000円(350,000円) *東社協補助	総務係	
活動計画 (年次計画)		平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)
	市内社会福祉法人連携事業の推進	●法人連携事業の検討(地域ニーズの調査)	●連携事業の実施	●継続
平成30年度事業計画 (実施目標)	<p>●市内社会福祉法人ネットワーク連絡会にて、各法人が連携してできる地域における公益的な取り組みを検討し、実施する。</p> <p>●昨年度作成したガイドブックの内容を精査し、必要に応じて改訂し、各法人が地域で行う公益的な取り組みを促進していく。</p>			
取組結果	<p>●法人の連携による公益的な取組(フードドライブ窓口の設置、地域内での車椅子無料貸出)を開始。9月より10カ所でフードドライブを行い、約330キロの食糧寄付をいただき、フードバンク団体、子ども誰でも食堂運営団体、困窮者世帯にそれぞれ配布した。</p> <p>また、各法人施設における無料貸出用車椅子の設置・受け渡しも開始し、ガイドブック掲載事項として冊子内容の改訂も行った。</p>			

事業種別・ 財源・担当係	重点	【自主】 60,000円 (60,000円) 【補助】 48,000円 (48,800円)	ボランティア担当	
		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
活動計画 (年次計画)	市内大学・企業 連携事業の推 進	<p>参加の方法 ①・周知の機会 ②・連携の場 ③ を設けて、企業等の参加促進を図る。</p> <p>① 参加する仕 組み（たまボ ランティアギ フト）の再構 築</p>	<p>参加する仕組 み（たまボラ ンティアギフ ト）の充実 （活動企業・団 体：5社・団体）</p>	<p>→</p> <p>（活動企業・団 体：10社・団体）</p>
		<p>② 情報周知の 機会・方法の 再構築</p>	<p>情報周知の機 会の充実 ●企業等情報交 換の集いの開 催 （年1回）</p>	<p>→</p>
		<p>③ 企業等の連 携の場（仮 称：企業等連 絡会）の検討</p>	<p>（仮称）企業等 連絡会の設置</p>	<p>→</p>
平成 30 年度 事業計画 (実施目標)	<p>●たまボランティアギフトの見直しとともに、冊子を作成することにより企業や大学にボランティア活動の促進を図る。</p> <p>●企業等の情報交換の集いの内容を見直して開催し、より具体的な活動につながるための機会とする。</p> <p>●現在活動中の企業や、これから活動を希望する企業等が、情報を定期的に共有し、連携や意見交換を行う機会・場として（仮称）企業等連絡会を設置する。</p>			
取組結果	<p>●企業側のニーズや現状を把握するため、約 130 社・団体へアンケート調査を行ない、回答率は 23.8%【3 月末現在】。調査は引き続き実施。</p> <p>●年間取り組みとして「企業等情報交換の集い」の開催を検討したが、上記アンケート分析や、企業間とのネットワークの検討のスケジュールを踏まえ、今年度は開催せず。</p> <p>●企業等連絡会（仮称）の設置については、専門委員会にて、ボランティアギフトの再構築と並行して、設置目的や役割、位置づけ等を検討した。</p>			

事業種別・ 財源・担当係	重点	【自主】 70,000円 (70,000円) 【補助】 40,000円 (40,000円)	総務係	
活動計画 (年次計画)	福祉協力店の 拡充	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)
		●協力内容の見 直し 目標：65店舗 以上	●新規協力店開 拓 目標：70店舗 以上	●拡充  目標：75店舗 以上
平成30年度 事業計画 (実施目標)	・福祉協力店の新規開拓を行う。とりわけ、赤い羽根・地域ささえ あい募金仕様の災害対応型自動販売機設置の協力店を増やし、多 摩市内の企業・事業所の地域貢献活動を後押ししていく。同時に、 自動販売機設置事業を通じて、本会財政基盤の強化を図っていく。			
取組結果	●福祉協力店は、75店舗で内新規は、7店舗であった。新たに入れ 歯回収事業への協力も加わった。自動販売機は、福祉協力店に限 らず、工事現場への設置もした。			
事業種別・ 財源・担当係	新規	【自主】1,600,000円	まちづくり 推進担当	
活動計画 (年次計画)	自治会・町会・ 住宅管理組合 等单位への車 いすの提供	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)
		●車いす提供設 置助成事業の 検討	●実施	●精査
平成30年度 事業計画 (実施目標)	・自治会、町会、住宅管理組合の支援として、災害時等も含め地域 で活用できるよう希望する団体に車いすを提供する。地域福祉特定 基金を活用した単年度事業として実施する。なお、点検等の管理が できることを条件とし、車いす提供に関しては助成の仕組みを検討 する。			
取組結果	●自治会・住宅管理組合48団体に車いすを交付。(自走用13台、介 助用35台)受け渡し時に取り扱いや管理方法に関する説明会を実施した。			

取り組み	NO. 2-3-2 生活困窮者支援の推進			
内 容	<p>基金等を活用した助成金の創設等を検討するなど、子ども食堂・学習支援・フードバンク事業などに取り組むNPO・市民活動団体、自治会等を支援します。</p> <p>また、関係団体と連携し、制度の狭間となるニーズに則した事業を実施します。</p>			
事業種別・ 財源・担当係	新規・ 重点	【自主】 100,000円 (100,000円)	ボランティア ア担当	
活動計画 (年次計画)		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
	NPO等の支 援及び連携	●活動団体の把 握・支援内容 の検討、実施	→	
平成 30 年度 事業計画 (実施目標)	●子ども食堂・フードバンク事業・学習支援等で生活困窮者支援に取り組む団体の活動支援として、現行のボランティア活動等振興助成金要綱で対応できるよう、平成 30 年度夏を目途に検討を行う。			
取組結果	●子ども食堂等への助成を行うため、ボランティア活動等振興助成金要綱を改定し、2 団体の助成交付。さらに検討を進め、次年度に向け、子ども食堂等活動支援金要綱を制定。			
事業種別・ 財源・担当係	重点	【自主】 925,000円 (925,000円) 【委託】 6,624,000円 (6,624,000円) ※東社協委託費	総務係	
活動計画 (年次計画)		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
	生活支援とフ ードバンク等 事業の推進	●貸付事業の実 施 ●関係団体と連 携したフー ドバンク等事 業の推進	→	
平成 30 年度 事業計画 (実施目標)	●資金の貸付事業や地域福祉コーディネーターの取り組みなどを通じて、生活困窮者ニーズの把握を行い、制度の狭間となる課題・問題などに対して、民生委員や関係団体と連携し、フードバンク事業等必要な生活支援を推進していきます。			
取組結果	●生活福祉資金相談件数は 2,114 件、うち貸付に至ったのが 27 件。相談件数は昨年と同程度だったが、貸付件数は半分以下になった。特に教育支援資金の貸付が減ったが、母子福祉資金・日本学生支援			

機構等優先制度の活用が進んだ結果だと思われる。小口資金相談件数は 558 件、うち貸付に至ったのが 13 件。相談件数及び貸付件数は減少が進んでいる。他機関との連携や、フードバンクの利用が進んだことによって貸付件数が減っている。生活保護世帯が貸付件数の 6 割程度を占めるのは変わらない傾向である。

●フードバンク・フードドライブ

パルシステム東京多摩センターと連携し、市内の組合員に物品寄付（フードドライブ）を呼びかけた。また、市内企業より備蓄品の入れ替えに合わせて非常食の寄付を受けた。今年度から多摩市内社会福祉法人ネットワーク連絡会としてもフードドライブを行った。

さらに、子育て総合センター、フードバンク団体と連携し、必要な家庭に食料を配布する取り組みを始めた。

寄付品は、貸付相談を通じて必要な方に配布する他、市内の子ども食堂・だれでも食堂などを運営している団体や、多摩地域で活動しているフードバンク団体に配布した。

・非常食寄付（フードドライブ）：97 件

・非常食配布：貸付利用者等 34 件、生活困窮者支援団体 77 団体

### 3 みんなの暮らしに“安心”を届けます！

#### 3-1 権利擁護の推進

○成年後見制度をはじめとした権利擁護に関する事業の周知・啓発を図るとともに、市民後見人の養成に努めます。

取り組み	NO. 3-1-1 権利擁護センターの運営			
内 容	高齢者や障がいのある人が、住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、福祉サービスの利用支援や、成年後見制度の利用相談等を行います。また、後見活動等の相談や成年後見制度に関わる講演会等を実施し成年後見制度の普及啓発を行います。			
事業種別・ 財源・担当係	継続	【自主】1,393,000円(1,393,000円) 【補助】1,536,000円(1,536,000円) 【受託】13,138,000円(13,007,000円)	権利擁護センター	
活動計画 (年次計画)		平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)
	福祉サービス 利用支援事業 の推進	●新規契約 25 件 ●普及啓発事業 継続	●新規契約 25 件 —————→	●新規契約 25 件
平成30年度 事業計画 (実施目標)	●関係機関と連携し福祉サービス利用支援事業の普及啓発活動を行い、新規契約件数25件を目指す。			
取組結果	●新規契約者35名(内訳:認知症14名、知的5名、精神7名、高次脳2名、要支援高齢3名、身体4名) H31年度末契約者数110件。解約者数31件。 ●福祉サービス事業所、地域包括支援センター、金融機関等と連携し、市民や利用者及びその家族、関係者向けに事業の普及啓発を行った。(9回実施、参加者延べ177名)			
事業種別・ 財源・担当係	継続	【補助】122,000円(122,000円)	権利擁護センター	

		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
活動計画 (年次計画)	成年後見制度 の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●【再掲】 成年後見に関する講座・学習会の開催 (年 5 回)</li> <li>●相談事業継続</li> </ul>	→	→
平成 30 年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●成年後見制度の利用相談から申立支援まで、本人や親族に寄り添いながら相談支援を行う。</li> <li>●成年後見制度に関する普及啓発として講座・講演会を実施する。</li> </ul>			
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●法定後見制度・任意後見制度等について弁護士などの専門職が制度の活用方法等について講演を行った。障がい者及びその家族を対象とした「成年後見の集い」ではアンケートより「今後も参加したい」との回答を多数いただいた。(7 回実施、参加者 129 名)</li> <li>●司法書士会並びに公証人と連携を行い、成年後見制度に関する相談会を実施した。(2 回実施、参加者 9 名)</li> </ul>			

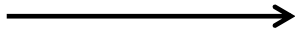
事業種別・ 財源・担当係	継続	【補助】 129,000 円 (129,000 円)	権利擁護センター
活動計画 (年次計画)	後見人等支援 の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●【再掲】 後見人懇談会 の開催 (年 3 回)</li> <li>●相談事業継続</li> </ul>	→
平成 30 年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●後見人等の活動における相談や家庭裁判所への報告書類の確認などの相談支援を行う。</li> <li>●成年後見活動における後見業務について、親族後見人・専門職後見人に対して後見人懇談会を実施する。</li> </ul>		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●後見人等に対して後見活動における後見業務のポイントを専門職から説明し、その後参加者同士の懇談会を開催した。(3 回実施、参加者 43 名)</li> <li>●親族後見人からの後見活動における相談や専門職との複数後見について等、17 件の相談対応を行った。</li> </ul>		



取り組み	NO. 3-1-2 市民後見人の養成		
内 容	地域住民による支え合いを推進するにあたり、市民後見人の養成を行います。また、法人後見監督人となり市民後見人の後見活動等支援を行います。		
事業種別・ 財源・担当係	重点	【自主】 181,000円 (50,000円)	権利擁護センター
活動計画 (年次計画)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
	●市民後見人候補者 選考委員会の設置検 討・要綱整備	●市民後見人の養成 を実施 ●市民後見人および 法人後見監督人とし て受任を目指す(2 件)	●市民後見人の養成 を受けた人に対し てケース受任 ●法人後見監督人と して受任、市民後見 人の支援・監督
平成 30 年度 事業計画 (実施目標)	●市民後見人の養成を行う。 ●2件の市民後見人および法人後見監督人の受任を目指す。		
取組結果	●八王子市社会福祉協議会と共催で市民後見人の養成を行い、4名が市民後見人の養成を修了した。 ●市民後見人の登録に関する要綱が整備中であるため、市民後見人及び法人後見監督人の受任は平成 31 年度予定。		

### 3-2 多様な相談機会の提供

○相談者のニーズに即した専門相談機能を充実するとともに、相談者への包括的支援を目指し、各相談機関及び関係機関との連携を図る体制づくりを進めます。

取り組み	NO. 3-2-1 相談窓口の拡充		
内 容	相談者の多様なニーズに応じるために、専門相談機能を充実させ、さらに身近な地域で相談を受けられる体制を作ります。また、関係機関と連携を図りながら地域福祉コーディネーターと包括的な相談体制を構築します。		
事業種別・ 財源・担当係	<b>重点</b>	【自主】17,000円(17,000円) 【補助】73,000円(73,000円)	まちづくり推進担当、他全係
活動計画 (年次計画)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域で専門相談を実施する体制の検討</li> <li>●地域福祉コーディネーターと連携し、包括的な相談体制の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域で行う専門相談の拡充</li> <li>●精査、見直し、実施</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>●実施</li> </ul>
平成30年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市内8カ所で実施している福祉なんでも相談で、専門機関等と連携しテーマ型の相談を実施するなど充実した相談体制を構築する。</li> <li>●地域福祉コーディネーターと各相談窓口が連携し、ワンストップで相談を受けて様々な専門機関等につないでいく。</li> <li>●福祉何でも相談を実施していない地域のサロン等での出張相談を実施し、相談窓口の拡充を図る。(連光寺・和田地区等)</li> <li>●総合福祉センターで実施していた定期的なボランティア出張相談を終了する。今後はボランティア相談の内容に合わせて、総合福祉センターだけでなく、コミュニティセンター等での出張相談を拡大する。</li> </ul>		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●夏のボランティア体験やボランティアポイント等の受付など、身近な地域で市民が相談や手続きができるようにコミュニティセンターや公民館で出張相談を実施した。</li> <li>●市内11カ所での福祉なんでも相談を地域包括支援センターや地域活動支援センターなどと連携して実施した。今年度は大栗川かるがも館や諏訪福祉館など、今まで実施をしてなかった地域でも実施し、相談窓口の拡充を図った。</li> </ul>		

### 3-3 災害時支援体制の強化

○災害時・緊急時に平常時から備えるとともに、災害時・緊急時には市民同士が助け合えるような仕組み・関係を構築します。

取り組み	NO. 3-3-1 災害ボランティアセンター運営ボランティアの発掘・育成		
内 容	大規模災害時に、災害ボランティアセンターを迅速かつ円滑に設置・運営していくために、講座や活動を通じてボランティアの確保・育成に努めます。		
事業種別・ 財源・担当係	継続	【自主】304,000円（304,000円）	ボランティア担当
活動計画 (年次計画)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●講座を実施して登録者を増やす (登録者数 40 人以上)</li> <li>●登録者研修の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●実施 (登録者数 50 人以上)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(登録者数 60 人以上)</li> </ul>
平成 30 年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●水害などのテーマで災害ボランティア入門講座を実施し、講座をきっかけに災害ボラセンの講座や演習・訓練へ参加者を結びつけ、運営ボランティアを増やす。</li> <li>●運営ボランティア登録者の研修を実施する。</li> </ul>		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●多摩青年会議所と災害に関する協定を締結し、運営ボランティアへの登録も今後会員間で登録することで合意。市役所防災安全課と共催で開催した「市民防災講演会」等でも災害ボラセンや運営ボランティアのPRを実施した。</li> <li>●登録者向け研修としての講座「災害時の困りごと（ニーズ）って何だろう」と「災害ボランティアセンターの機能を知ろう！」を開催（参加者数 1 回目 29 人・2 回目 30 人）</li> </ul>		

取り組み	NO. 3-3-2 「要配慮者からのメッセージ」の改訂及び周知		
内 容	災害時に要配慮者がおかれている状況や支援方法をまとめた冊子の内容を当事者の方の意見を取り入れながら見直すとともに、関係機関と連携して市民への周知を図ります。さらに、地域防災の取り組みでこの冊子を活用することで、地域での要配慮者の支援体制の充実に繋がるよう住民の方々と一緒に考えます。		
事業種別・ 財源・担当係	継続	※次年度改訂のため予算計上なし	ボランティア担当、センター係
活動計画 (年次計画)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
	●関連機関と連携して市民へ周知	●冊子の見直し検討 ●地域の支援体制についての協力	●冊子の改訂・充実 →
平成 30 年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●関係団体と協力し、冊子の見直し検討を行う。</li> <li>●防災訓練や市役所防災安全課と連携して地域の自主防災組織に働きかける。</li> <li>●小学校、中学校の総合学習の時間など、様々な機会を通じて配布、啓発を進める。</li> <li>●中学校の宿泊防災訓練にて配布し、避難所を想定した疑似体験学習を実施する。</li> </ul>		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小中学校や市総合防災訓練、災害ボラセン関連講座や同訓練時などで、市民に 700 部ほど配布し、要配慮者への支援方法の周知を行った。中学校の避難所宿泊訓練にて車イスとアイマスク体験を実施し、要配慮者への理解を図った。次年度の中で、メッセージの改訂を行い、引き続き地域での要配慮者の理解促進を図っていく。</li> </ul>		

### 3-4 情報発信の強化

○ふくしだよりをはじめ、インターネットやSNSなど多様な情報媒体の活用による福祉情報の発信体制を強化します。

取り組み	NO.3-4-1 社協広報媒体の拡充			
内容	多摩社協及びボランティア担当ホームページ、多摩社協発行の各種広報紙、フェイスブックなどのSNS、メールマガジンの配信など、様々な年代の方々、障がいのある方々のニーズに則した広報の充実を図ります。また、地域福祉推進委員会エリアごとの地域情報の充実や災害時に迅速に情報発信できる仕組みを構築します。			
事業種別・財源・担当係	継続	【自主】216,000円(216,000円)		総務係、ボランティア担当
活動計画 (年次計画)	ホームページの充実	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●情報コンテンツの充実</li> <li>●災害時緊急モード設定の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●実施 (スマートフォン対応サイトの構築)</li> <li>●実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●精査</li> <li>●精査</li> </ul>
平成30年度事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ホームページを通じて様々な情報を適宜発信していく。</li> <li>●スマートフォンに対応したサイトを構築する。</li> <li>●災害時に迅速に市民へ情報を発信できるように、画面の構成、内容等を構築する。</li> </ul>			
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●災害ボラセン設置・運営訓練時に、SNSを活用した情報発信を行った。</li> <li>●社協ホームページサイトのスマートフォンに適した閲覧デザインへ変換作業を行った。Facebookのタイムライン表示と合わせて引き続き閲覧者環境に対応したデザイン調整を行う。</li> <li>●災害時用簡易ページの発信内容・記事構成を作成した。幾度か表示テストを行い、災害ボラセン等訓練と並行して情報発信訓練を行っていく。</li> </ul>			

事業種別・ 財源・担当係	継続	【自主】 321,000 円 (315,000 円) 【補助】 81,000 円 (94,000 円)	総務係、まち づくり推進担 当、他全係	
活動計画 (年次計画)	広報紙の拡充	平成 29 年度 (2017 年度) ●ふくしだよりの デイジー化 ●多摩社協発行 各種広報紙の 情報一元化の 検討 ●地域福祉推進 委員会エリア ごとの地域情 報の拡充	平成 30 年度 (2018 年度) ●実施	平成 31 年度 (2019 年度) ●精査
平成 30 年度 事業計画 (実施目標)	<p>●各地域福祉推進委員会で広報紙を発行し、地域情報を充実させ地域に発信していく。</p> <p>●社会資源マップを作成し、地域内のサロンや介護予防教室の情報集約し、地域住民へ周知する。</p> <p>※各種広報紙情報の一元化については、検討した結果、定期的な情報発信については、メールマガジンに一元化して配信することとした。</p>			
取組結果	<p>●全ての地域福祉推進委員会で地域住民と連携し、広報紙を作成。地域のサロン紹介や団体の紹介、地域商店と連携した企画、地域イベントの周知など、地域の特性に合わせた内容で発信した。</p> <p>また、普及啓発講座として、広報紙の作り方をテーマに 2 回講座を実施。地域福祉推進委員会関係者も含め、多くの方が参加し、地域活動の担い手のスキルアップを図った。</p>			

事業種別・ 財源・担当係	継続	【自主】 * NO. 3-4-1 予算の中で実施			総務係
		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)	
活動計画 (年次計画)	SNSの活用	● Facebook 活 用の検討 (シ ステムの整 備・設置)・実 施	●精査	●実施	
		●多摩社協メー ルマガジンの 検討・配信	●精査	●実施	
平成 30 年度 事業計画 (実施目標)	<p>●多摩社協の活動や福祉情報をよりわかりやすく市民に知ってもら うため、活動情報を一元化して、メールマガジンを定期的に配信す る。また、Facebook を通じて、福祉活動情報等をタイムリーに配信 し、同時にホームページへの訪問者も増やしていく。</p> <p>●閲覧者からの情報収集なども行いながら、内容を精査し充実を図っ ていく。</p>				
取組結果	<p>●災害ボラセンの Facebook 管理アカウントの下で、災害ボラセンと 多摩社協の事業用 Facebook ページを開設した。災害ボラセンページ は災害ボラセン設置運営訓練の状況報告後より常設として公開して おり、今後随時の更新を行っていく。</p> <p>●メールマガジンは、多摩社協の広報紙（ふくしだより、ボランテ ィア通信、総合福祉センターだより）を一元化し毎月 15 日に配信し た他、福祉フェスタ開催案内を配信した。</p>				

### 3-5 多様なサービスの提供

○地域住民の福祉ニーズの把握を行い、地域住民が適切なサービスの利用や活動への参加ができるよう、社協受託事業を中心とした福祉サービスの提供体制づくりを推進します。

取り組み	NO. 3-5-1 老人福祉センターの充実			
内容	高齢者が充実した生活を送るために、健康増進・生きがい作り事業を実施するほか、今までの生活で得た知識や経験をボランティア活動や地域活動等に活かせるよう、社会貢献活動の情報提供や活動につながる講演講座等を実施します。			
事業種別・財源・担当係	継続	【受託】4,199,506円(4,176,735円)		センター係
活動計画 (年次計画)		平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)
	高齢者の健康増進・いきがいを目的とした講座の充実	●年間20講座以上、うち新規講座2講座以上	●高齢者の虚弱予防に関する講座を新規に実施	→
平成30年度事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者と専門職がより気軽につながる事業である南なん亭を中心に、高齢者の虚弱に関する取り組みを新規に実施。健康に関する講座や食の栄養に関する講座、支援が必要となったときの予備知識講座などを実施予定</li> <li>●年間21講座、新規講座2講座(中国語、ボイストレーニング)予定</li> </ul>			
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●南なん亭にてフレイル予防の基礎講座を実施。また、終活に関する内容や消費者生活センターからの情報など高齢者が生活するうえで有益な情報発信を行った。「私のこれからノート」(エンディングノート)を館内利用者中心に2,000冊配布した。</li> <li>●寿大学21講座、うち新規3講座(中国語入門、リズムダンス、体幹ストレッチトレーニング)を実施。男性限定の体操講座を単発で行い、寿大学の申込につなげ、男性参加者が増加した。</li> </ul>			



事業種別・ 財源・担当係	継続	【受託】 48,494 円 (40,265 円)		センター係
		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
活動計画 (年次計画)	社会貢献活動 に参画する機 会の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ボランティア活動・地域活動につながる講演講座の実施（年間 2 講座以上）</li> <li>● 同好会（自主活動グループ）のボランティア活動・地域活動支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ボランティア活動・地域活動きっかけ講座の実施。</li> </ul>	<p>→</p> <p>→</p>
平成 30 年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ボランティア・地域活動きっかけ講座として、仮称「お父さんお帰りなさいパーティー」を実施する。</li> <li>● ボランティアポイント、地域福祉推進委員会事業、サロン事業等の周知を強化する。</li> <li>● 同好会におけるボランティア活動支援及びボランティアポイント登録支援を行う。</li> </ul>			
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1/26 にボラセンと連携し、「ボランティア・地域活動見本市」を実施。同好会活動者へ参加を呼びかけ、1 団体がブースを出展した。また、1 月に発行した「特技芸能ボランティアカタログ」への掲載を同好会へ促したところ 2 団体がエントリーし、ボランティア活動へのきっかけとなった。</li> <li>● 3 月に「社協の有償活動合同説明会」を実施。参加者 16 人。うち 5 人が活動者として登録した。</li> </ul>			

取り組み	NO.3-5-2 地域活動支援センター（障がい者福祉センター）の充実			
内 容	地域活動支援センターの充実によるサービスの利用拡大や地域活動への参加を進めるとともに、関係機関と連携した障がい理解の機会の提供を行います。また、また、障がいのある方と家族の安心のために「親なきあと」のことについて一緒に考えます。			
事業種別・ 財源・担当係	継続	【受託】219,000円(260,000円)		センター係
活動計画 (年次計画)		平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)
	利用者のニーズに沿った活動やツールの提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>●音声・拡大読書機やタブレット等の利用支援や窓口での活用</li> <li>●高次脳機能障がい者向けのプログラムの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●継続</li> <li>●継続</li> </ul>	<p>→</p> <p>→</p>
平成30年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●音声・拡大読書機の貸出しと活用する場所を提供し、視覚障がい者の情報取得と社会参加を支援する。</li> <li>●センター窓口でタブレット等を活用することで、意思疎通の向上を目指すと同時に事業を分かりやすく案内し、利用者の利便性を高め、利用の拡大に繋げる。</li> <li>●高次脳機能障がい者を対象として、月1回程度ヨガや調理などのグループ活動を実施し、当事者同士の交流と社会参加を支援する。</li> </ul>			
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●必要に応じて音声・拡大読書器の貸出しと活用する場所の提供を行ったが、利用者拡大に向けてはさらなる周知が必要。</li> <li>●窓口用としてipadを購入したが常時活用には至らず、主に筆談ボードの活用となっており、今後積極的にipadを活用していく。</li> <li>●高次脳機能障がい者を対象としたグループ活動では音楽療法を取り入れメンバーの主体性を尊重した活動を展開することができた。</li> </ul>			

事業種別・ 財源・担当係	新規	【受託】 240,000 円 (120,000 円)		センター係
活動計画 (年次計画)	将来安心した 生活を送るた めの相談会等 の実施	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
		●親なきあと相 談会の検討・ 実施	●親なきあと相 談会の検討・実 施 (年 12 回)	●実施
平成 30 年度 事業計画 (実施目標)	●行政書士を講師として、年間 1 2 回程度の「親なきあと相談会」を 実施する。 ●当事者や家族、支援者に役に立つ情報を提供することで親なきあとの 不安の解消につなげていく。			
取組結果	●年 1 1 回の「親なきあと相談会」を実施。当事者や家族の親なき あとの不安に対する相談を身近な地域で専門家から助言を受ける 機会を設けた。相談内容に応じて、権利擁護センターや相談支援事 業へつなげた。チラシの作成・配布などで周知を行ったが、定員を 満たさない相談日もあったためさらなる周知が必要。			
事業種別・ 財源・担当係	継続	【受託】 125,600 円 (50,000 円)		センター係
活動計画 (年次計画)	プログラムを 通じたボラン ティアの育成 と障がい者理 解の促進	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
		●水浴訓練室等 でのボランテ ィア育成 ●防災訓練や福 祉イベント、 学校等でのハ ンディキャッ プ体験の実 施・協力及び ボランティア の育成 (年 5 回) ●関係機関と連 携した地域で の障がい者理 解の機会の提 供	●継続  ●継続  ●継続	→

平成 30 年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●水浴訓練室等でのボランティア獲得のために、市内公共施設にポスター掲示等、PR活動を充実し、ボランティア講座（年1回）を実施する。</li> <li>●防災訓練や福祉イベント等での障がい者理解の啓発の他、学校等での障がい者理解について、要望に合わせたプログラムを提案し実施する。</li> <li>●当事者や団体等と連携し、高次脳機能障害ミニ講座や当事者による障害者差別解消法の解説など様々なテーマで、地域での障がい理解の機会を提供する。</li> </ul>			
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールボランティア養成講座は4名が受講し、機能訓練や個人貸出で特に必要な実技を中心にプログラムを実施した。</li> <li>●10/20（土）多摩大妻祭にて映画「ちづる」の自主上映会を映画上映委員会の協力を得て実施した。</li> <li>●6月より月1回、唐木田児童館にて幼児を対象とした「ことばの相談」を試行実施、言語聴覚士が出張し保護者とコミュニケーションをとりながらことばに関する相談を受けた。好評を得たため次年度も継続実施する。</li> </ul>			
取り組み	NO.3-5-3 障害福祉サービスの提供			
内 容	同行援護・意思疎通支援等、その人に必要な多様なサービスの提供と、他機関との調整・連携を行います。			
事業種別・ 財源・担当係	継続	【自主】13,362,000円（13,256,000円） 【受託】10,177,000円（9,903,000円）	センター係	
活動計画 (年次計画)		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●同行援護従事者派遣事業の推進</li> <li>●意思疎通支援事業（手話通訳者派遣・要約筆記者派遣）の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●適切なサービスの提供</li> <li>●社会参加の促進</li> <li>●他機関との連携による利用者支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コーディネーター連絡会に参加等情報を得る。</li> <li>●継続</li> <li>●継続</li> </ul>	→
平成 30 年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●技術や制度の現状等の内部研修を実施し、活動者のスキルアップを図り、サービスの質を高める。</li> <li>●派遣調整を行う事業所によるコーディネーター連絡会に参加し、情報交換を行い、適切なサービスを提供していく。</li> </ul>			

取組結果	<ul style="list-style-type: none"><li>●意志疎通支援事業関係職員向け研修、同行援護フォローアップ研修、市主催の居宅系・訪問サービス事業所等連絡会に参加し情報収集を行った。</li><li>●同行援護事業では、利用者契約者 45 人に対し登録従事者 26 人による派遣調整を行った。同行援護従事者登録者の増加を目的に、募集のチラシ作成・配布を年間通じて行い新たに 3 名の登録があった。</li></ul>
------	---

# 平成30年度 事業報告書

## 附属明細書

# 1 組織運営

## (1) 三役会の開催

第1回 (H30. 4. 6)	第7回 (H30. 11. 1)
第2回 (H30. 5. 10)	第8回 (H30. 12. 6)
第3回 (H30. 7. 5)	第9回 (H30. 1. 10)
第4回 (H30. 8. 7)	第10回 (H31. 2. 10)
第5回 (H30. 8. 30)	第11回 (H31. 3. 4)
第6回 (H30. 10. 9)	

平成 31 年 3 月 31 日現在の役員・評議員の状況

	理 事	監 事	評議員
定 数	10～15	2	30～35
現員数	14	2	34

## (2) 理事会の開催

第1回 (H30. 5. 31)	出席者 14 名
【審議事項】	
第 1 号議案	第 23 期評議員選任候補者の推薦について
第 2 号議案	多摩市介護予防・日常生活支援総合事業運営規程の一部を改正する規定の制定について
第 3 号議案	平成 29 年度事業報告について
第 4 号議案	平成 29 年度決算について
第 5 号議案	平成 30 年度補正予算について
第 6 号議案	平成 30 年度第 1 回評議員会（定時評議員会）の招集について
第2回 (H30. 9. 13)	出席者 12 名
第 7 号議案	職員退職手当支給規程の一部改正について
第 8 号議案	嘱託職員雇用等に関する規則の一部改正について
第 9 号議案	自治会・住宅管理組合ふくし活動助成金交付要綱の全部改正について
第 10 号議案	同行援護従事者設置要綱の一部改正について
第 11 号議案	自治会・住宅管理組合車椅子提供事業実施要綱の制定について
第 12 号議案	法人後見監督実施要綱の制定について
第3回 (H30. 11. 23)	出席者 15 名
第 13 号議案	ボランティア活動等振興助成金交付要綱の一部改正について
第 14 号議案	平成 30 年度職員勸奨退職実施要綱の制定について
書面決議(H30. 12. 22)	同意 理事 14 名、監事 2 名
第 15 号議案	平成 30 年度福祉大会被表彰者の決定の件
第4回 (H31. 1. 17)	出席者 16 名
第 16 号議案	給与規程の一部改正について
第 17 号議案	常務理事の報酬等に関する規程の一部改正について
第 18 号議案	福祉協力店設置要綱の一部改正について
第 19 号議案	平成 30 年度補正予算について
第 20 号議案	平成 30 年度第 2 回評議員会の招集について

第5回 (H31. 3. 14) 出席者 14 名	
第 21 号議案	就業規則の一部改正について
第 22 号議案	嘱託職員雇用等に関する規則の一部改正について
第 23 号議案	臨時職員雇用規則の一部改正について
第 24 号議案	給与規程の一部改正について
第 25 号議案	一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する規程の一部改正について
第 26 号議案	子ども食堂等活動支援金実施要綱の制定について
第 27 号議案	ボランティア活動等振興助成金交付要綱の一部改正について
第 28 号議案	同行援護従事者設置要綱の一部改正について
第 29 号議案	福祉サービス利用支援事業の利用料不能欠損処理について
第 30 号議案	平成 30 年度補正予算について
第 31 号議案	平成 31 年度(2019 年度)事業計画について
第 32 号議案	平成 31 年度(2019 年度)予算について
第 33 号議案	平成 30 年度第 3 回評議員会の招集について

### (3) 評議員会の開催

第 1 回 (H30. 6. 25)	出席者 32 名
第 2 回 (H31. 2. 6)	出席者 28 名
第 3 回 (H31. 3. 25)	出席者 28 名

### (4) 監査の概要

- 第 1 回 (平成 29 年度決算監査) (H30. 5. 15) 出席者 監事 2 名  
特別な改善事項の指摘はなし。
- 第 2 回 (平成 30 年度中間決算監査) (H30. 11. 9) 出席者 監事 2 名  
特別な改善事項の指摘はなし。

### (5) 各委員会の活動報告

地域福祉活動計画推進委員会			
開催状況	第 1 回 (31. 1. 18)	出席者	10 名
	第 2 回 (31. 3. 8)	出席者	10 名

多摩ボランティア・市民活動支援センター運営委員会			
開催状況	第 1 回 (30. 5. 15)	出席者	10 名
	第 2 回 (30. 6. 19)	出席者	8 名
	第 3 回 (30. 7. 31)	出席者	9 名
	第 4 回 (30. 10. 19)	出席者	11 名
	第 5 回 (31. 1. 18)	出席者	10 名
	第 6 回 (31. 2. 26)	出席者	7 名

権利擁護センター運営委員会			
開催状況	第 1 回 (30. 7. 13)	出席者	6 名
	第 2 回 (30. 12. 14)	出席者	5 名
	第 3 回 (31. 2. 8)	出席者	6 名



役員選考委員会				
開催状況	第1回	(30. 6. 25)	出席者	5名

苦情解決第三者委員会				
開催状況	第1回	(30. 9. 4)	出席者	3名

(6) 各部会の活動報告

総務部会				
開催状況	第1回	(30. 7. 12)	出席者	8名
	第2回	(30. 9. 27)	出席者	6名
	第3回	(31. 1. 24)	出席者	7名

広報広聴部会				
開催状況	第1回	(30. 4. 23)	出席者	8名
	第2回	(30. 6. 26)	出席者	7名
	第3回	(30. 8. 20)	出席者	8名
	第4回	(30. 10. 22)	出席者	9名
	第5回	(30. 12. 18)	出席者	7名
	第6回	(31. 2. 18)	出席者	9名
	第7回	(31. 3. 18)	出席者	8名

イベント推進部会				
開催状況	第1回	(30. 6. 7)	出席者	9名
	第2回	(30. 10. 4)	出席者	11名
	第3回	(31. 1. 10)	出席者	9名

地域福祉まちづくり部会				
開催状況	第1回	(30. 6. 28)	出席者	14名
	第2回	(30. 8. 7)	出席者	11名
	第3回	(30. 10. 30)	出席者	10名
	第4回	(31. 3. 8)	出席者	10名

部会連絡会				
開催状況	第1回	(31. 12. 13)	出席者	8名

(7) 後援名義の使用許可状況

年度	26	27	28	29	30
後援名義使用許可件数	36件	33件	23件	25件	24件

(8) 多摩社協活動協力員登録状況

年度	29	30
登録者数	23人	23人

## 2 連絡調整

### (1) 実習生の受入れ状況

年度	人数	期間	学校名
26	5	H26. 8. 1～9. 12 (24日) 2人	大妻女子大学
		H27. 1. 29～3. 6 (24日) 1人	大妻女子大学
		H27. 2. 16～2. 24 (8日) 2人	大妻女子大学
27	6	H27. 8. 3～9. 11 (24日) 2人	大妻女子大学
		H27. 8. 3～9. 1 (18日) 1人	大妻女子大学
		H27. 10. 2～11. 10 (24日) 1人	明星大学
		H28. 2. 1～3. 7 (24日) 2人	大妻女子大学
28	5	H28. 8. 1～9. 8 (24日) 2人	大妻女子大学
		H28. 10. 3～11. 15 (24日) 2人	明星大学、武蔵野大学
		H29. 2. 1～3. 8 (24日) 1人	大妻女子大学
29	5	H29. 8. 1～9. 6 (24日) 2人	大妻女子大学
		H29. 10. 5～11. 27 (25日) 2人	明星大学、武蔵野大学
		H30. 2. 7～3. 15 (24日) 1人	大妻女子大学
30	5	H30. 8. 6～9. 8 (24日) 2人	大妻女子大学
		H30. 10. 1～11. 25 (25日) 2人	明星大学、武蔵野大学
		H31. 2. 5～3. 11 (24日) 1人	大妻女子大学

### (2) 講師の派遣

年度	日数	テーマ	学校名
26	1	社会福祉協議会における仕事	大妻女子大学
	1	ボランティア活動について	東京医療学院大学
	2	多摩市社会福祉協議会の歴史的背景と役割、今後の課題	
	1	社会福祉協議会の役割とボランティア通信での連携について	多摩大学(中村その子ゼミナール)
	1	ふくしだよりを通じた社会福祉協議会の活動について	
27	1	社会福祉協議会における仕事	大妻女子大学
	1	ボランティア活動について	東京医療学院大学
	2	多摩市社会福祉協議会の歴史的背景と役割、今後の課題	
28	1	ボランティア活動について	東京医療学院大学
	2	多摩市社会福祉協議会の歴史的背景と役割、今後の課題	
29	1	ボランティア活動をはじめるとあたって	東京医療学院大学
	2	地域の保健医療福祉	
30	1	ボランティア入門	東京医療学院大学
	2	地域の保健医療福祉	

### 3 普及・啓発

#### (1) 会報「ふくしだより」の発行

単位：円

年度	発行数	配布方法	内 容	広告収入	発行経費
26	年 6 回 発行 (5・7・9・ 11・1・3 月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスティングによる全戸配布（平成 25 年度から実施）</li> <li>・公共施設、郵便局、駅、福祉協力店等に配架</li> <li>・声のふくしだよりの送付（録音テープ、デジ版（29 年度より実施）を視覚障がい者に送付）</li> </ul>	タブロイド版 70,000 部	375,000	3,402,395
27				543,000	4,601,876
28				397,000	3,674,987
29				300,000	3,408,749
30				455,000	4,793,591

#### (2) 福祉バザー

単位：円

年度	日時	場所	バザー等収入	バザー経費	収益額	備考
26	27.1.24(土)、 2.18(水) ～21(土) 10:00 ～15:00	ヴィータ 及び総合 福祉セン ター	470,362 (404,870)	88,599	381,763	ボランティアまつり、春の発表会、福祉大会の開催日に合わせて実施
27	27.10.18(日)、 28.2.24(水) ～27(日) 10:00 ～15:00	総合福祉 センター	678,401 (643,711)	41,256	638,645	福祉フェスタ、春の発表会、福祉大会の開催日に合わせて実施
28	28.10.16(日)、 29.2.22(水) ～25(土) 10:00 ～15:00		734,905 (570,365)	64,984	669,921	
29	29.10.15(日)、 30.2.21(水) ～24(土) 10:00 ～15:00		693,265 (673,915)	83,392	609,873	
30	30.10.21(日)、 30.2.20(水) ～22(金) 10:00 ～15:00		612,131 (599,331)	20,038	592,093	

※バザー等収入額は、バザー出店参加費、飲み物販売、寄附金等その他収入を含む。

( ) 内の数字はバザーのみの収入額

(3) 福祉フェスタ

年度	日時	場所	来場者数	内容	備考
27	27. 10. 18(日) 10:00 ～16:30	総合福祉 センター およびア クアブル ー多摩	約 4,000 人 ※天候：晴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たまかんフェスタ、からきだ菖蒲館まつりとの同日開催（共同企画スタンプラリー等実施）</li> <li>・福祉団体等による販売、体験、発表、展示</li> <li>・福祉バザー、チャリティけんちん</li> <li>・東日本大震災復興支援フェア</li> <li>・特別企画「被災地復興の現状について」（講演：石巻元気復興センター）、「ライブ手話ソング」（出演：水戸真奈美氏）</li> </ul>	協賛・協力：32 団体 参加：54 団体 協力者（ボランティア）74 人
28	28. 10. 16(日) 10:00 ～15:30		約 4,500 人 ※天候： くもり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たまかんフェスタ、からきだ菖蒲館まつりとの同日開催（共同企画スタンプラリー等実施）</li> <li>・福祉団体等による販売、体験、発表、展示</li> <li>・福祉バザー、チャリティけんちん</li> </ul>	協賛・協力：27 団体 参加：63 団体 協力者（ボランティア）62 人
29	29. 10. 15(日) 10:00 ～15:00		約 4,200 人 ※天候：雨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たまかんフェスタ、からきだ菖蒲館まつりとの同日開催（共同企画スタンプラリー等実施）</li> <li>・多摩市共催 地域福祉フォーラム</li> <li>・福祉団体等による販売、体験、発表、展示</li> <li>・福祉バザー、チャリティけんちん</li> </ul>	協賛・協力：28 団体 参加：65 団体 協力者（ボランティア）71 人
30	30. 10. 21(日) 10:00～15:00		約 4,300 人 ※天候：晴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たまかんフェスタ、からきだ菖蒲館まつり、大妻多摩祭との同日開催（共同企画スタンプラリー、キャラクターの交流事業実施）</li> <li>・就活応援セミナー、フードドライブ受付</li> <li>・福祉団体等による販売、体験、発表、展示</li> <li>・福祉バザー、チャリティけんちん</li> </ul>	協賛・協力：15 団体 参加：55 団体 協力者（ボランティア）63 人

#### (4) 福祉大会

年度	日時	場所	内容	参加者
26	27. 2. 21(土) 10:00 ～16:30	総合福祉センターおよびアクアブルー多摩	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉バザー、福祉団体等の自主製品販売、模擬店、福祉体験コーナー、発表等</li> <li>式典（表彰状:個人 27 人、感謝状:個人 9 人、11 団体）</li> <li>多摩市長による講演会「多摩市版地域包括ケアシステムについて」、社協会長との対談</li> </ul> 協力：2 団体、参加：30 団体、協賛：6 団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>受賞者 31 人</li> <li>来賓者 18 人</li> <li>来場者 3,000 人</li> </ul>
27	28. 2. 27(土) 10:00 ～16:30		<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉バザー、福祉団体等の自主製品販売、模擬店、福祉体験コーナー、発表、無料映画上映会</li> <li>式典(表彰者：個人 20 人、感謝状：個人 5 人、18 団体、東京都共同募金会多摩地区協力会感謝状：4 団体)</li> <li>多摩市医師会会長(田村豊氏)による講演：「医療と福祉の連携～いつまでも元気で楽しく暮らしていくには～」</li> </ul> 協力：1 団体、参加：21 団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>受賞者 38 人</li> <li>来賓者 19 人</li> <li>来場者 1,800 人</li> </ul>
28	29. 2. 25(土) 10:00 ～16:00		<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉バザー、福祉団体等の自主製品販売、模擬店、福祉体験コーナー、発表</li> <li>式典(表彰者：個人 30 人、6 団体) 感謝状：個人 8 人、14 団体)</li> <li>第 4 次地域福祉活動計画概要報告</li> <li>映画「無念」チャリティ上映会</li> </ul> 協力：1 団体、参加：32 団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>受賞者 39 人</li> <li>来賓者 20 人</li> <li>来場者 1,800 人</li> </ul>
29	30. 2. 24(土) 10:00 ～15:00	総合福祉センターおよびアクアブルー多摩	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉バザー、福祉団体等の自主製品販売、模擬店、福祉体験コーナー、発表</li> <li>バリアフリー映画上映会</li> <li>式典(表彰者：個人 27 人、4 団体) 感謝状：個人 5 人、16 団体)</li> <li>平成 29 年度事業報告</li> <li>フラダンス同好会ステージ発表</li> </ul> 協力：1 団体、参加：25 団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>受賞者 36 人</li> <li>来賓者 21 人</li> <li>来場者 1,000 人</li> </ul>
30	31. 2. 9(土) 13:00 ～16:45	パルテノン多摩小ホール	「法人化 45 周年平成 30 年度福祉大会」 <ul style="list-style-type: none"> <li>福祉功労者の表彰式典及びミニコンサート(表彰者：個人 26 人、10 団体) 感謝状：個人 31 人、204 団体)</li> <li>子どもの貧困に関する講演会 講師:首都大学東京子ども・若者貧困研究センター長 阿部 彩 氏 役員等研修参加者 64 人、一般参加者 212 人、行政職員等 8 人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受賞者 81 人</li> <li>来賓者 23 人</li> <li>式典/講演会延べ来場者 486 人</li> </ul>

#### (5) メールマガジン配信状況

年度	29	30
登録者数	810 人	815
配信回数	6	12

※原則毎月 15 日に配信。そのほか不定期に配信

※平成29年10月より配信開始

(6) 福祉協力店状況

年度		29	30
店舗数		66	75
協力 内容	募金箱	53	57
	広報紙	60	63
	自販機	7	6
	車椅子	4	4
	入歯回収	-	3

※平成29年度より協力内容に新たに災害用自動販売機（自販機）及び車椅子設置を追加

※平成30年度より協力内容に新たに入歯回収ボックスの設置を追加

※協力内容（内訳）の件数は延べ数

## 4 組織強化活動

### (1) 会員賛助金の状況

会費及び賛助金の単位：円

区分・単価 (円)	26年度		27年度		28年度		29年度		30年度	
	件数	会費	件数	会費	件数	賛助金	件数	賛助金	件数	賛助金
個人会員 @500以上	2,559	1,279,500	3,497	2,377,547	3,320	2,287,211	3,302	2,457,118	3,465	2,561,440
団体会員 3,000以上	126	428,500	134	463,500	151	504,000	168	559,500	178	585,500
賛助会員 1,000以上	793	961,000								
特別会員 10,000以上	86	975,000	95	1,075,000	102	1,245,000	120	1,385,000	118	1,467,000
合計	3,564	3,644,000	3,726	3,916,047	3,573	4,036,211	3,590	4,401,618	3,761	4,613,940

### (2) チャリティーゴルフ大会

年度	日にち	場所	参加者	参加費 収入	協賛 収入	大会 経費	収益額	備考
26	26.6.23 (月)	桜ヶ丘カントリークラブ	176人	455,000	587,498	381,696	660,802	協賛： 45団体、個人3人
27	27.6.29 (月)		143人	302,000	417,200	68,768	650,342	協賛： 40団体、個人5人
28	28.6.27 (月)		162人	332,000	371,400	70,987	632,413	協賛： 41団体、個人4人
29	29.6.19 (月)		165人	340,000	399,000	75,751	663,249	協賛： 46団体、個人4人
30	30.6.18 (月)	桜ヶ丘カントリークラブ	158人	332,000	370,600	72,497	630,103	協賛： 43団体、個人2人
	30.12.3 (月)	府中カントリークラブ	118人	592,500	234,600	374,450	452,650	協賛： 18団体、個人4人

### (3) 寄付金の状況

単位：円

区分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
一般寄付		1,332,287	6,467,146	1,209,746	2,028,021	1,270,461
指定 寄付	ボランティア 基金	68,810	61,000	15,285	9,557	31,353
	ボランティア・ 市民活動支援	365,377	595,245	181,347	244,688	231,430
	小地域 福祉活動	-	11,122	100,000	95,000	45,879
合計		1,651,021	6,995,062	1,743,933	2,779,266	1,579,123

## 5 助成事業

### (1) 収支の状況

#### ① 収入の状況

単位：円

区分	平成30年度			平成29年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	6,950,000	5,916,057	85.1	4,909,000	4,490,500	91.5

#### ② 支出の状況

単位：円

区分	平成30年度			平成29年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	6,950,000	5,167,876	74.4	4,909,000	3,854,683	78.5

### (2) 福祉団体補助

#### ①平成30年度実績

目的	団体へ補助することで、地域福祉の充実と発展を図る。	
補助団体	13 団体	
	① おしゃべりノササゲの会	(パーキンソン病患者と家族の会)
	② くぬぎ	(知的障がい児者の会)
	③ サンクラブ多摩	(精神障がい者の家族会)
	④ 多摩市失語症友の会こだま	(失語症当事者の会)
	⑤ 多摩市視覚障害者福祉協会	(視覚障がい者当事者の会)
	⑥ 多摩市手をつなぐ親の会	(知的障がい児者と保護者の会)
	⑦ 多摩市遺族会	(遺族会)
	⑧ 多摩市身体障害者福祉協会	(身体障がい者当事者の会)
	⑨ 多摩市手をつなぐ育成会	(全日本手をつなぐ育成会加入団体)
	⑩ 多摩市聴覚障害者協会	(聴覚障がい者当事者の会)
	⑪ 多摩草むらの会	(精神障がい者と家族の会)
	⑫ プレイルームゆづり葉の家	(知的障がい児者の会)
⑬ 多摩市ひとり親家庭の会ほほえみ	(ひとり親家庭の会)	
補助金額	総額 2,197,282 円	

#### ②過去5年間の状況

単位：円

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
補助団体	14 団体	14 団体	14 団体	15 団体	13 団体
補助総額	2,801,927	2,406,958	2,464,440	2,509,712	2,197,282

### (3) 老人クラブ連合会事業費補助金

連合会が行う事業に要する経費の一部を補助することにより、高齢者間の交流や親睦、連合会の活動の活発化を図る。

補助団体：多摩市老人クラブ連合会

補助金額：150,000 円(年額) ※事業費(芸能大会、車椅子講習、体力測定会等)に充当



**(4) 自治会・住宅管理組合ふくし活動助成金**

自治会・住宅管理組合が行う地域での福祉活動（地域のまつり、敬老事業、防災・文化活動等）に関する事業に対して助成することで、地域の福祉の振興を図る。

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
対象団体	自治会	94 団体	94 団体	93 団体	94 団体	92 団体
	管理組合	101 団体	101 団体	105 団体	102 団体	100 団体
	計	195 団体	195 団体	198 団体	196 団体	192 団体
助成団体	自治会	26 団体	31 団体	36 団体	33 団体	30 団体
	管理組合	31 団体	34 団体	35 団体	34 団体	35 団体
	計	57 団体	65 団体	71 団体	67 団体	65 団体
助成総額		1,117,700	1,286,750	1,407,550	1,175,293	1,154,341

単位：円

※上限額：1 団体 2 万円

※申請受付期間：4 月 1 日～6 月 30 日（交付決定 8 月）

**(5) 自治会・住宅管理組合車椅子提供事業**

自治会・住宅管理組合に車椅子を提供することにより、地域で車椅子を活用し、災害時等を含め、お互いに助け合う地域づくりを推進する。（地域福祉特定基金を活用した単年度事業として実施）

①交付実績

		30 年度
提供団体	自走用	13 団体
	介助用	35 団体
	合計	48 団体
助成総額		1,086,240 円

②車椅子引き渡しおよび説明会

日時	第 1 回 平成 31 年 2 月 25 日（月）14:00～15:00 第 2 回 平成 31 年 2 月 25 日（月）15:30～16:30 第 3 回 平成 31 年 3 月 5 日（火）14:00～15:00
会場	第 1 回 二幸産業・NSP 健福祉プラザ 704 研修室 第 2 回 二幸産業・NSP 健福祉プラザ 704 研修室 第 3 回 二幸産業・NSP 健福祉プラザ 702・703 研修室
参加者	第 1 回 20 団体 31 人 第 2 回 11 団体 12 人 第 3 回 6 団体 8 人

※説明会欠席団体（11 団体）については、2/26（火）～3/2（土）の間で多摩ボランティア・市民活動支援センターにて個別に説明・引き渡しを実施。

## 6 地域福祉活動の推進事業

### (1) 収支の状況

#### ① 収入の状況

単位：円

区分	平成30年度			平成29年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	6,221,000	4,442,349	71.40	4,892,000	3,503,611	71.61

#### ② 支出の状況

単位：円

区分	平成30年度			平成29年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	7,059,000	4,127,156	58.47	4,892,000	3,389,535	69.28

### (2) 相談事業「福祉なんでも相談」

#### ①平成30年度実績

開催会場 開催日時	① 愛宕かえで館 第2木曜日 (午後2時～4時・10回実施) ② ひじり館 第3金曜日 ( " " ・11回実施) ③ 貝取こぶし館 第1月曜日 (午後1時30分～3時・12回実施) ④ わいわいショップ第2火曜日 (午後2時～4時・11回実施) ⑤ 百草団地 第4水曜日 (午後1時30分～3時・10回実施) ⑥ トムハウス 第2火曜日 (午後12時30分～午後1時30分・9回実施) ⑦ からきだ菖蒲館 第3火曜日 (午後2時～4時・10回実施) ⑧ 桜ヶ丘(サロン内) 第4木曜日 (午後2時～4時・11回実施) ⑨ 連光寺福祉館 偶数月第4火曜日 (午後2時～3時30分・6回実施) ⑩ 大栗川かるがも館 第4火曜日 (午後2時～4時・10回実施) ⑪ 諏訪福祉館 奇数月第3火曜日 (午前9時30分～11時・1回実施)
内 容	地域住民の身近な相談を関係する団体等と適切につなぐことで、問題の早期発見と予防に努めるとともに、本協議会や福祉サービスの情報提供及びPRを図る。 地域活動支援センターあんどや権利擁護センターと連携し、専門相談への対応を図る。
対 象 者	市民全般
相談件数	相談件数75件(高齢66件、障がい2件、その他7件) 事業参加者564人 *前年度同期86件(高齢69件、障がい5件、その他12件) 事業参加者226人
連 携 者 (団体)	コミュニティセンター運営協議会、地域包括支援センター 多摩市役所都市整備部都市計画課、高齢支援課、地域活動支援センターあんど 権利擁護センター

#### ②過去5年間の状況

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
相談件数	114	99	58	86	75

### (3) ふれあい・いきいきサロン推進事業

#### ①平成30年度実績

内 容	小地域福祉活動推進にあたり、住民主体で行う地域でのサロン活動の推進と支援を行う。 登録団体への支援内容 <活動方法・内容等の相談、情報提供、人材紹介、保険料の負担> <活動費の補助・・設立助成金 20,000円、活動助成金 月1回実施 5,000円、月2回または3回実施 10,000円、月4回以上または週1回以上実施 15,000円> ・保険加入団体89団体
対象団体	市内の任意の市民団体
連携者 (団体)	サロン活動団体、地域包括支援センター、多摩市、民生・児童委員

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
登録団体数	43	52	63	72	89
助成団体数	20	23	54	60	73
助成総額 (単位：円)	175,000	275,000	475,000	470,000	815,000

#### ③ふれあい・いきいきサロン説明会

開催日時	第1回 平成30年 8月 1日 (火) 午前10時～11時30分 第2回 平成31年 2月19日 (火) 午前10時～11時30分
会 場	第1回 永山公民館 視聴覚室 第2回 関戸公民館 第2学習室
内 容	ふれあい・いきいきサロン・近所de元気アップトレーニングの概要、登録の流れについて説明 サロン活動体験談 第1回 なごやか健幸体操の会 第2回 たまりばらんど
対象者	多摩市民
参加者	第1回 10人 第2回 8人

#### ④サロン交流会

開催日時	平成31年 2月 6日 (水) 午後2時～4時
会 場	総合福祉センター 7階研修室、704研修室、705会議室、ボランティア活動室
内 容	平成31年度サロン登録および助成金申請の手続きに関する説明 サロン交流会 (サロン活動の動向、サロン活動紹介・情報交換)
対象者	多摩市民
参加者	サ ロ ン 54団体 81人 関係機関 10人 (高齢支援課・地域包括支援センター・介護予防による地域づくり推進員・多摩市第1層コーディネーター)

平成30年度ふれあい・いきいきサロン等活動状況一覧

ア) 本協議会登録サロン

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	助成金交付
1	①	サロン河原倶楽部	関戸河原クラブ集会所 (関戸2丁目)	毎月第2土曜日	H21	無
2		この指とまれ	ポロン(関戸4丁目)	毎週月・水・金曜日、 第1火曜日、第3木 曜日、第1土曜日	H21	無
3		関戸みのり会	関戸第一クラブ集会所 (関戸5丁目)	隔月第1木曜日	H25	無
4		一ノ宮けやきサロン	一ノ宮集会所	毎週水曜日	H27	有
5		関戸さくら会	関戸河原クラブ集会所 (関戸2丁目)	毎月第1月曜日	H27	有
6		にぎやか喫茶	関戸河原クラブ集会所 (関戸2丁目)	毎月第3土曜日	H28	有
7		たまりばらんど	個人宅(一ノ宮4丁目)	毎月第3火曜日	H28	有
8		3丁目かわせみ会	関戸3丁目集会所	毎月第3月曜日	H28	無
9		ボランティアの会スプ ーン	関戸河原クラブ集会所 (関戸2丁目)	毎月第3月曜日	H29	有
10		サロン・フランヴィー ヴル	フランヴィーヴル聖蹟桜 ヶ丘2階カフェ	毎月第3金曜日	H29	有
11		サロンまちの縁側	関戸河原クラブ集会所 (関戸2丁目)	毎週木曜日	H30	有
12	②	連光寺志学サロン	連光寺志学サロン (連光寺2丁目)	①毎月5日・20日 ②毎週木曜日	H20	有
13		京王一ノ宮サロン	京王一ノ宮集会所 (連光寺4丁目)	毎月第4木曜日	H21	有
14		にじの会	向ノ岡集会所 (連光寺1丁目)	毎月10日	H21	有
15		ふれあいサロン 「すずめのお宿」	エステート聖ヶ丘-3集 会所	毎月第3木曜日	H22	有
16		聖ヶ丘2丁目東サロン “気まま会”	エステート聖ヶ丘2丁目 東団地集会所	毎週火・水・金・日 曜日、毎月第4土曜 日	H22	無
17		聖ヶ丘灯火サロン	聖ヶ丘4丁目集会所	①毎週月曜日 ②毎月第4土曜日	H23	有
18		サロン・ボンジュール	聖ヶ丘2丁目集会所	毎週水・日曜日、毎 月第1.4木曜日、第 3火曜日	H24	有
19		いきいきローズ	木の実公園集会所 (連光寺3丁目)	毎週水曜日	H27	有
20		木の実サロン	木の実公園集会所 (連光寺3丁目)	毎月第2火曜日	H27	有
21		ハマナスの会	聖ヶ丘3丁目南集会所	毎月第3金曜日	H27	無

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	助成金交付
22		聖ヶ丘ふれあいサロン	多摩ニュータウン聖ヶ丘団地集会所（聖ヶ丘1丁目）	毎週火曜日	H28	有
23		連光寺東部健幸サロン わわわ（我和輪）	連光寺東部集会所（連光寺6丁目）	毎週木曜日	H29	有
24		ひなの会	連光寺志学サロン（連光寺2丁目）	毎月第1・3水曜日	H30	有
25		♪くらら	①連光寺志学サロン（連光寺2丁目） ②個人宅（聖ヶ丘2丁目）	毎週月曜日	H30	有
26		ふらっと亭	ゆいま〜る聖ヶ丘（聖ヶ丘2丁目）	毎週木曜日	H30	有
27	③	桜が丘まちネット にこにこサロン	桜ヶ丘集会所（桜ヶ丘1丁目）	毎週木曜日	H24	有
28		コスモスの会	あいクリニック（貝取）	毎週金曜日	H30	有
29		もぐさ井戸端サロン	三方の森コミュニティ会館	毎月第2水曜日	H15	無
30	④	三方の森ふれんど広場	三方の森コミュニティ会館	毎月第2土曜日	H28	有
31		ラダー三方の森	三方の森コミュニティ会館	毎月1.3火曜日	H30	有
32		ふらっと東寺方	東寺方地区市民ホール	毎週水曜日	H30	有
33		いきいきサロン和田	和田集会所（和田3丁目）	①毎週水曜日 ②毎月第4日曜日	H22	有
34	⑤	サロンかいどりやま	グリーンヒル貝取1-40 団地集会所	①毎週水曜日 ②毎月第2土曜日	H23	有
35		あたご村いどばた会	愛宕2丁目住宅管理組合 集会所	毎月第3木曜日	H26	有
36		愛宕第一住宅サロン	愛宕第一住宅集会所（愛宕1丁目）	毎週水・土曜日	H26	有
37		夢サロン	小規模多機能ホームすみれ	毎月第1日曜日	H28	有
38		やまももの会	ホームタウン諏訪集会所	毎月第3土曜日	H16	有
39		ひまわりの会	個人宅（諏訪2丁目）	毎月第2・3木曜日	H26	有
40	⑥	F棟みまもりサポート	諏訪2-4F棟	毎月第3木曜日	H28	無
41		ブリリア諏訪2丁目 イキイキ健賢会	諏訪2-4C棟	毎月第1・3火曜日	H29	有
42		クローバー	諏訪2-4B棟 諏訪第2公園	毎月第1・3日曜日	H29	有
43		軽々体操	諏訪5丁目会館	毎週月曜日	H29	有
44		なごやか健幸体操の会	グリーンメゾン諏訪集会所（諏訪3丁目）	毎週火・木曜日	H30	有

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	助成金交付
45		はなみずき近トレクラブ	タウンハウス諏訪集会所 (諏訪3丁目)	毎週月曜日	H30	有
46		ふれあい元気サロン 来夢	諏訪福祉館	毎週木曜日	H30	無
47		永山3-1ふれあい	永山3-1集会所	毎月第3木曜日	H15	有
48		健康麻雀友の会	東永山複合施設	毎週火・木・土・日曜日	H17	有
49		瓜生サロン	瓜生集会所 (永山6丁目)	毎月第3火曜日 毎月5日	H21	有
50		いきいきサロン・メゾ ネット永山	メゾネット永山5団地集 会所	毎月第1火曜日	H24	有
51		サロン5-21	タウンハウス永山5集會 所	月1回(不定期)	H27	有
52	⑦	ネットワーク永山 「体操サロン」	東永山複合施設	毎月第2水曜日	H28	無
53		たまデフサロン	東永山複合施設、総合福 祉センターほか	毎月第3月曜日	H29	有
54		さくらカフェ	永山3-2集会所	毎月第1月曜日	H30	有
55		すいすいサロン	永山東集会所(永山4丁 目)	毎週水曜日	H30	有
56		Ma y uサロン	多摩市音訳グループ繭 事務所(永山2丁目)	毎月第4土曜日	H30	有
57		ラウンジ永山	永山西集会所Eラウンジ (永山4丁目)	毎週火曜日	H30	有
58		瓜生元気アップトレーニ ング	瓜生集会所(永山6丁目)	毎週月曜日	H30	有
59		いきいきサロン夢の会	東永山複合施設304	毎週火・水・日曜日	H30	有
60		月曜会	グリーンメゾン貝取2集 会所	毎月第1・3月曜日	H1	有
61		豊ヶ丘5-3懇話会	豊ヶ丘5-3集会所	良い曜日を選んで 開催	H9	有
62		碁楽会	豊ヶ丘市民ホール	毎週月・水・金・土 曜日	H15	有
63	⑧	豊ヶ丘4-1ふれあい おしゃべりサロン	豊ヶ丘4-1集会所	毎月第2水曜日	H16	無
64		ふれあいサロン 『木の葉』	豊ヶ丘5-1集会所	毎月第3週1回	H18	有
65		みのりの会	貝取2-10団地集会所	毎月第1木・第3金 曜日	H18	有
66		豊ヶ丘3-3ふれあ い会	豊ヶ丘3-3集会所	毎月第1月曜日	H19	有
67		ふれあいサロン貝取4 -4	貝取4-4集会所	毎月第2土曜日	H21	有
68		サロン・コスモ	コスモフォーラム多摩 コミュニティ棟内 (豊ヶ丘3丁目)	毎月第3金曜日	H24	無

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	助成金交付
69		茶ロン つむぎ	エステート貝取-2住宅管理組合集会所	1か月前にスタッフ会議で決定	H25	有
70		南野カフェ	パルシステム東京 多摩センター交流ルーム	毎週月曜日	H28	有
71		いきいきサロン「げんき会」	貝取・豊ヶ丘集会所	毎月第3土曜日	H28	有
72		サロン・ふれあい貝取	貝取こぶし館	不定期（月1回）	H29	有
73		コスモ近トレ	コスモフォーラム多摩コミュニティ棟内（豊ヶ丘3丁目）	毎週水曜日	H30	有
74	⑨	グリーンメゾン鶴牧3環の会	グリーンメゾン鶴牧3集会所	毎週木曜日	H15	有
75		三々五々の会	落合3-3集会所	毎月第1水曜日、月1回（不定期）	H19	無
76		ブリリアシアの会	ブリリア多摩センターパーティールーム（鶴牧3丁目）	毎月第3水曜日	H20	有
77		落合4の3園芸有志会	落合4-3集会所	毎月第1・3土曜日、第2・4日曜日	H22	有
78		鶴三会	タウンハウス鶴牧3集会所	毎月第3木曜日	H24	有
79		木曜サロン	落合3-4集会所	毎週木曜日	H25	有
80		鶴5東町会親睦会	鶴牧5丁目集会所	毎月第2月曜日	H25	有
81		落合4の3おはなし会	落合4-3集会所	毎月第2・4火曜日	H27	有
82		「喫茶くすのき」	タウンハウス鶴牧4集会所	毎月第4木曜日	H27	有
83		ふれあい サロン 結	落合4-4集会所	毎週水曜日	H27	有
84		おしゃべり広場	グリーンコープ落合団地集会所	毎月1回（不定期）	H28	有
85		南野3丁目ふれあいサロン	南野3丁目集会所	毎月第3土曜日（状況により臨時開催）	H28	有
86		落合3-5自治会コミュニティサロンあいあい	落合3丁目住宅集会所	毎週木曜日	H30	有
87		ツル4近トレ会	タウンハウス鶴牧4集会所	毎週水曜日	H30	有
88	⑩	ハイライズ親睦の会	ハイライズタウン鶴牧集会所	毎月第2日曜日	H19	有
89		アルテ体操	アルテヴィータマンション内コミュニティリビング（鶴牧1丁目）	毎週水曜日	H30	無

イ) 連携サロン(社協サロン登録をおこなわず活動しているサロン。社協は、サロン活動における相談支援・サロン交流会などにおける情報交換の機会の提供などの連携を図っている)

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	備 考
1	②	日の出サロン	木の実公園集会所(連光寺3丁目)	毎月第3木曜日	H28	
2	⑥	カレーの日(馬引沢団地ボランティアクラブ)	馬引沢団地自治会集会所	第2水曜日	H9	
3		歌の輪サークル	グリーンメゾン諏訪集会所	第2火曜日	H23	元社協登録サロン
4	⑦	エステート永山-3 “ふれあいサロン”	エステート永山3集会所	①毎週金曜日 ②毎月最終土曜日	H19	
5		永山ハイツ体操クラブ	永山ハイツ集会所	毎週月曜日	H30	
6	⑨	落合3-2自治会ふれあいサロン	落合3-2自治会集会所	毎週火曜日	H8	

ウ) 諏訪支部によって実施されているサロン

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	備 考
1	⑥	茶話会(諏訪2丁目)	諏訪2丁目住宅管理組合集会所	第1火曜日	H17	
2		茶話会(諏訪5丁目)	諏訪5丁目自治会集会所	第1木曜日	H18	
3		茶話会(諏訪1丁目)	永山ハウス	第3木曜日	H20	
4		茶話会(諏訪4丁目)	諏訪4-1談話室	第4木曜日	H24	

エ) ラウンジ

(サロン活動の中で、毎週1回以上の開催、小イベントの実施など一定の条件を満たす活動)

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	備 考
1	⑥	諏訪4丁目 ふらっとラウンジ	諏訪4丁目自治会 談話室とその周辺	毎週月曜日、 第1・3・5金曜日、 第2・4土曜日	H19	
2		諏訪5丁目 ぶらっとラウンジ	諏訪5丁目集会所と その周辺	毎週土曜日	H21	



(4) 小地域福祉活動推進事業

地域住民ニーズの把握や住民自らが福祉課題を共有化し、それぞれの地域の個別課題の解決に向けて協議する場として、コミュニティエリア内の自治会・住宅管理組合、民生委員、地域包括支援センター、福祉団体ボランティア、コミュニティセンター運営協議会や社協役員とともに「地域福祉推進委員会」を設置し、地域住民がさまざまな地域課題解決に取り組めるよう支援する。

① 平成30年度実績（小地域福祉活動状況）

エリア名	小地域福祉活動の進捗状況
<p>第1エリア (関戸・一ノ宮)</p>	<p>&lt;関戸エリア&gt;  <b>■まち育てネットワーク・関戸</b>  <b>*委員会</b>：6回開催  ：延べ70団体98人参加  <b>*世話人会</b>：6回開催  <b>[定例の委員会内での取り組み]</b>  ※定例の委員会では、事業の進捗確認と情報交換を実施  <b>[委員会企画事業]</b>  &lt;交流事業&gt;  ・ホテル狩り交流会（真堂が谷戸）[6月]:30人参加  ・世代間交流事業：流しそうめん[8月]:多摩中との連携  ・多摩中学校避難所宿泊訓練への参加協力[10月]  ・つむぎ館まつり出展[11月]:まちの縁側  ・世代間交流事業：芋煮会[12月]:多摩中との連携。100人参加  ・第10回ボランティアまつり出店[1月]:まちの縁側  ・せきどしゃべり Ba[3月]:矢田浩明氏によるコレクティブハウスの話。12人参加  &lt;まち歩き&gt;  ・関戸まち歩き百草園コース実施[5月]:14人参加  ・関戸まち歩き西府中コース実施[11月]:16人参加  &lt;防災企画&gt;  ・防災企画第3弾「災害図上訓練LODE」[12月]:28人参加。  <b>*広報紙</b>：「まちネット・関戸だより」  第8号 [8月] 600部発行  第9号 [3月] 600部発行  <b>*多摩第一小学校放課後教室ボランティア協力</b>：8回実施  多摩第一小学校 PTA との打ち合わせ：1回実施  <b>*サロン交流会</b>  関戸・一ノ宮（第1エリア）初となるサロン交流会を関・一つむぎ館にて開催。  11サロン21人が参加。[10月]  <b>*サロン登録</b>：「サロンまちの縁側」  <b>*地域事業（関戸楽縁祭）への参加及び協力</b>  11月に地域住民有志により企画・実施された地域交流事業「関戸楽縁祭」への参加及び協力。楽縁祭の来場者は200人。  &lt;一ノ宮エリア&gt;  <b>*地域事業（ふれあい・おとなりサンデー）への参加及び協力</b>  登録サロン「たまりばらんど」が4月に企画・実施した地域交流事業「おとなり・ふれあいサンデー」への参加及び協力。来場者は53人。</p>

<p>第2エリア (連光寺・聖ヶ丘)</p>	<p><b>■連光寺・聖ヶ丘地域福祉推進委員会</b>  <b>*委員会</b>：6回開催  ：延べ148団体238人参加  <b>*世話人会</b>：11回開催  <b>*オリエンテーション</b>：1回開催 7人参加  <b>[定例の委員会内での取り組み]</b>  2018年度テーマ「世代間交流」を進めるために5グループに分かれて、討議・活動（イベント企画、学校連携、子育て支援、高齢者支援、自治会）  &lt;イベント企画グループ&gt;  ・新緑の中を歩こう会 [5月] 17人参加  ・連光寺でへイケボタルを見る会 [7月] 16人参加  ・秋の収穫体験とバーベキュー [11月] 43人参加  ・連光寺、聖ヶ丘地域サロン交流会 [3月] 10サロン 24人  &lt;学校連携グループ&gt;  ・さくら運送 ～多摩桜の丘学園・ビッグエー連携買い物支援プロジェクト～ 総件数84件  ・スマホ相談会 [11月] 相談者2人  ・地域スマホなんでも相談 [1月] 相談者7人  &lt;子育て支援グループ&gt;  ・多摩桜の丘学園夏祭り～昔遊びコーナー～ [7月] 延べ222人参加  ・「連光寺・聖ヶ丘子ども祭り～みんなで遊ぼう昔遊び～」実施 [3月] 80人参加（幼児5人・小学生41人・大人34人）  &lt;高齢者支援グループ&gt;  ・委員会内での情報交換  &lt;自治会グループ&gt;  ・委員会内での情報交換</p> <p><b>*各部会の活動</b>  ○広報部会  ・広報紙「ふくしポスト」  第19号 [5月] 4,000部発行  第20号 [9月] 4,000部発行  第21号 [1月] 4,000部発行  ○事業部会  ・テーマ「40代からはじまる怖い脳梗塞のお話」 [12月]  講師：新百合ヶ丘総合病院 大内崇弘氏  参加者 96人</p> <p><b>*聖ヶ丘コミュニティセンター運営協議会との連携</b>  ・福祉なんでも相談の実施（ひじり館） 11回実施  ・福祉なんでも相談の実施（連光寺福祉館） 6回実施  <b>*サロン登録</b>：「ひなの会」「♪くらら」「ふらっと亭」</p>
<p>第3エリア (桜ヶ丘)</p>	<p><b>■桜ヶ丘まちネット</b>  <b>*委員会</b>：3回開催  ：延べ61団体63人参加  <b>*世話人会</b>：11回開催  <b>[定例の委員会内での取り組み]</b>  ※定例の委員会では情報交換・地域課題討議等を実施  <b>[委員会企画事業]</b>  <b>*普及啓発講座</b>：  「いつまでも若々しい私でいるために～口腔ケアと健康の話～」 [10月]  講師：健康センター職員  共催：桜ゆうゆう会</p>

	<p>参加者：36人</p> <p>*<b>広報紙</b>：「さくらの丘だより」  第14号 [5月] 2,900部発行  第15号 [7月] 2,900部発行  第16号 [12月] 2,900部発行 ※委員会参加団体を紹介、拡大号として発行</p> <p>*<b>サロン活動にこにこサロン</b>（毎週木曜）43回開催 延べ約1,090人参加  ・福祉なんでも相談の実施（にこにこサロン内）：11回実施  （連携：西部地域包括支援センター）</p> <p>*<b>桜ヶ丘コミュニティセンター運営協議会との連携</b>  ・「ゆう桜ヶ丘夏祭り」への運営の協力</p>
<p>第4エリア  （東寺方、和田、百草、落川）</p>	<p>&lt;百草団地周辺エリア&gt;</p> <p>■<b>三方の森ふれんど</b></p> <p>*<b>委員会</b>：6回開催  ：延べ68団体134人参加</p> <p>*<b>世話人会</b>：11回開催  <b>[委員会企画事業]</b></p> <p>*<b>第1回三方の森ふれんどまつり</b>：延べ200人参加  共催：東寺方児童館、特別養護老人ホーム愛生苑</p> <p>*<b>定例食事会</b>：40人定員</p> <p>*<b>広報紙</b>：「三方の森ふれんど広場だより」  第4号 [10月] 1,500部発行  第5号 [3月] 1,500部発行</p> <p>*<b>サロン活動 三方の森ふれんど広場</b>（第2土曜日）10回実施  「司法書士による終活講座」[2月]</p> <p>*<b>新たなつながりづくり</b>：もみじ散策  ～旧多摩聖蹟記念館と大谷戸公園路線バスの旅～ [11月] 18人参加</p> <p>*<b>その他</b>  ・福祉なんでも相談の実施（三方の森コミュニティ会館）：10回実施  （連携：西部地域包括支援センター）  ※高齢者を対象の脳トレ、「おたっしや21」、「認知症について」「権利擁護センター」紹介</p> <p>&lt;東寺方エリア&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会夏祭り参加</li> <li>・東寺方福祉館の元気アップ体操参加</li> <li>・ざっくばらん座談会4回実施</li> <li>・出前サロン実施 4回 延98人参加</li> </ul> <p>&lt;和田エリア&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大栗川かるがも館運営協議会利用者懇談会参加</li> <li>・福祉なんでも相談（運協共催・連携：西部包括支援センター）  10回実施 脳トレ・体操実施</li> </ul>
<p>第5エリア  （愛宕・乞田）</p>	<p>&lt;愛宕エリア&gt;</p> <p>■<b>ほほえみネットワーク・愛宕</b></p> <p>*<b>委員会</b>：4回開催  ：延べ42団体123人参加</p> <p>*<b>世話人会</b>：12回開催  <b>[定例の委員会内での取り組み]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まち歩き「まち歩き&amp;カレー」（大塚公園、愛宕かえで館）[4月] 43人</li> <li>・講座&amp;住民懇談会「知って安心！認知症のいろは」[9月] 31人。</li> </ul> <p>訪問看護ステーションは～とふる多摩センター（愛宕4丁目）に講師を依頼。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まち歩き「まち歩き&amp;りんご狩り」(日向園) [11月] 29人</li> <li>・グループワーク(住民懇談会) [3月] 20人</li> </ul> <p><b>[委員会企画事業]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おむすびプロジェクト 実施 あたご第4ブロック集会所 [3月] 25人</li> <li>・アーケードカフェ 実施(会場:愛宕第一住宅商店街) 第1回 9月18日 25人 第2回 10月16日 24人 第3回 11月20日 20人 ※全て第3火曜日</li> <li>・ほほえみカフェ 実施(会場:愛宕五番街自治会集会所) [5月] 19人</li> </ul> <p><b>*広報紙:「ほほえみ通信」</b> 第4号 [8月] 3,500部発行 第5号 [3月] 3,500部発行</p> <p><b>*愛宕コミュニティセンター運営協議会との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉なんでも相談の実施:10回実施</li> <li>・かえで館まつりへの参加[10月] ※たまゆら針灸整骨院の協力により、健康セミナーを実施</li> </ul> <p><b>*その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あたご連協夏祭り参加[7月]</li> <li>・あたご連協運営委員総会 出席[5月] ※地域での取り組みについて事業報告</li> <li>・あたご地区自治連合協議会「新年情報交換会」出席[1月] ※地域での取り組みについて事業報告</li> <li>・愛宕児童館「みんなdeランチ」への協力【7月・8月、12月、3月】</li> <li>・コンセボール21多摩住宅管理組合の防災訓練にて、LODEを実施 [11月] 32人</li> </ul>
<p>第6エリア (馬引沢・諏訪)</p>	<p><b>■馬引沢・諏訪地域福祉推進委員会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>*委員会:6回開催</b> :延べ103団体171人参加</li> <li><b>*世話人会:13回開催</b> [定例の委員会内での取り組み]</li> <li><b>*本年度のテーマ</b> 「馬引沢・諏訪地域の連携強化 ～共有から協働へ～」</li> <li>・馬引沢・諏訪地域の子どもの現状と地域との連携 諏訪児童館・のびのびっこ保育園から情報提供と意見交換 [4月]</li> <li>・各地域の現状と課題 [6月]</li> <li>・馬引沢通りウォークラリー実施に向けて[8月][10月] ※企画委員会開催・店舗依頼・ルート検討等</li> <li>・馬引沢通りウォークラリー振り返り</li> <li>・30年度振り返りと31年度に向けて [2月]</li> </ul> <p><b>[委員会企画事業]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・馬引沢通りウォークラリー [12月] 36人参加(地域住民24人、自立ステーションつばさ6人、諏訪中学生6人)</li> <li>・見守りウォーキング [毎月第3木曜日] 11回実施</li> </ul> <p><b>*広報紙:「ささえ愛」</b> 第9号 [8月] 3,500部発行 第10号 [2月] 4,000部発行</p> <p><b>*諏訪福祉館との連携:</b> 福祉なんでも相談の実施 1回(H31年度から定例実施予定)</p> <p><b>*サロン登録:「なごやか健幸体操の会」「はなみずき近トレクラブ」</b> 出前サロン実施「のんびり馬引沢」</p>

<p>第7エリア (永山)</p>	<p><b>■福祉のネットワーク永山</b>  <b>*委員会</b>：6回開催  ：延べ74団体141人参加  <b>*世話人会</b>：12回開催  <b>[定例の委員会内での取り組み]</b>  ・社会資源マップづくり [5月]  ・食品ロスとフードバンクの取り組み [7月]  ・消費者被害の現状と対策 [9月]  ・障がい者理解と地域交流 [11月]  ・永山版エンディングノート「マイノート」づくり [1月]  ・30年度振り返りと31年度に向けて [3月]  <b>[委員会企画事業]</b>  ・「永山地区サロン交流会」開催 [6月] 8団体15人参加  <b>*交流</b>  ・「まち歩き」開催 (毎月第2火曜日：11回開催)  ・「さんぽ会」 (毎月第1・3水曜日)  <b>*見守り</b>  ・見守りウォーキング (毎月第2・4月曜日)  <b>*健康づくり</b>  ・ネットワーク永山「体操サロン」 (毎月第2水曜日)  <b>*広報紙</b>：「ふくしのネットワーク永山だより」(季刊発行)  春号 [4月] 1,500部発行  夏号 [8月] 1,700部発行  秋号 [10月] 1,000部発行  冬号 [12月] 1,200部発行  <b>*ネットワークづくり</b>  ○「瓜生小地区防災組織担当者連絡会」7回開催  ・避難所運営訓練実施 [11月]：177人参加  ○「永山小・多摩永山中地区防災情報連絡会」6回開催  ・永山地区合同防災訓練実施 [10月]：184人参加  <b>*その他</b>  ・終活基礎講座 [11月]  ・福祉のネットワーク永山バス旅懇親会 [10月]  ・福祉なんでも相談の実施 (永山商店街 わいわいショップ)：11回実施  (連携：中部地域包括支援センター)  ※脳トレの実施：延べ89人参加  <b>*サロン登録</b>：「さくらカフェ」「すいすいサロン」「Mayuサロン」  「ラウンジ永山」「瓜生元気アップトレーニング」</p>
<p>第8エリア (貝取・豊ヶ丘)</p>	<p><b>■ネットワーク貝取・豊ヶ丘きずな</b>  <b>*委員会</b>：6回開催  ：延べ96団体172人参加  <b>*世話人会</b>：11回開催  <b>[定例の委員会内での取り組み]</b>  ・「もっと知ろう～私たちのまち～」社会資源マップづくり (テーマ：居場所、  防災、防犯) [5月]  ・「安心・安全なまち～これってどうなの?～」駐在所駐在員による講話と情  報交換 [7月]  ・「地域で取り組む見守り活動」中部高齢者見守り窓口の機能・役割、団地単  位で取り組む地域の見守りについて情報交換 [9月]  ・「そのときどうする?～明日のために今できること～」簡易トイレ・プライ  ベートルームの組み立て、グループワーク [11月] ※青陵中学校で開催</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「団地ごとの防災・交流の取り組み」地域の活動事例紹介と情報交換 [1月]</li> <li>・「平成30年度総括と平成31年度に向けて」平成31年度の取り組み内容について、参加者を交えて意見交換を実施 [3月]</li> <li><b>*広報紙：「きずな通信」</b> 第2号 [1月] 2,000部発行</li> <li><b>*貝取コミュニティセンター運営協議会との連携</b></li> <li>・福祉なんでも相談の実施（貝取こぶし館）：12回実施 （連携：中部地域包括支援センター） ※冒頭30分で「ちょこっと講座」を実施：延べ45人参加</li> <li>・元気チェックへ協力（貝取こぶし館）：12回実施 （主催：中部地域包括支援センター） ※体操・レクリエーションの後に血圧・握力・酸素飽和度の測定を実施</li> <li><b>*その他：</b></li> <li>・「貝取・豊ヶ丘地区サロン交流会」開催 [12月] 10団体20人参加</li> <li><b>*サロン登録：「コスモ近トレ」</b></li> </ul>
<p>第9エリア (鶴牧・落合・南野)</p>	<p><b>■ふれあいトムとも</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>*委員会：6回開催</b> ：延べ119団体 176人参加</li> <li><b>*世話人会：11回開催</b> 〔定例の委員会内での取り組み〕</li> <li>・鶴牧・落合・南野地区の地域情報&amp;ふれあいトムともの活動、多摩センター地域包括支援センターの役割、民生委員の役割、鶴牧・落合・南野地域の福祉団体紹介[6月]</li> <li>・「防災と見守りの地域づくり～多摩市の防災について～」 [7月]</li> <li>・「要配慮者お手伝いを必要とされる方」への理解～東日本大震災時の実際の様子を交えて」、当事者体験（白内障・緑内障の見え方、車椅子体験） [9月]</li> <li>・防災まち歩き 車椅子体験グループ・視覚障害体験グループに分かれてまち歩き、防災食のレシピ紹介 [11月]</li> <li>・「トムともの見守りとは」見守りについてグループディスカッション[1月]</li> <li>・今年度の取り組みの振り返り、「若い世代からみた地域課題・見守りについて」 [3月] ※毎回前半に上記の話聞き、後半グループ別意見交換</li> <li><b>*広報紙：「トムともだより」</b> 第10号[10月] 3,500部発行</li> <li><b>*鶴牧・落合・南野コミュニティセンター運営協議会との連携</b></li> <li>・福祉なんでも相談の実施（トムハウス）：9回実施 （連携：多摩センター地域包括支援センター） ※脳トレ等の実施</li> <li>・トムハウス主催の食事懇談会で福祉なんでも相談&amp;脳トレ用紙配布をPR</li> <li>・トムハウスまつりへの参加[10月] ※多摩センター地域包括支援センターと連携して、脳トレを実施</li> <li><b>*サロン登録：「落合3-5自治会コミュニティサロンあいあい」「ツル4近トレ会」</b></li> </ul>
<p>第10エリア (唐木田・中沢・山王下)</p>	<p><b>■ほっとネットしょうぶ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>*委員会：6回開催：延べ85団体127人参加</b></li> <li><b>*世話人会：11回開催</b></li> <li>〔委員会企画事業〕</li> <li>・今年度の取り組みについてグループ検討[4月]</li> <li>・今後の委員会の方向性についてグループミーティング[6月]</li> <li>・広報紙について検討、「大妻女子大学との連携」「居場所作り」「防災」に</li> </ul>

	<p>ついてグループ検討 [8月] ・「大妻女子大学との連携」「居場所作り」「防災」について内容のグループ検討[10月]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居場所づくり「赤飯おむすびパーティ」検討、「大妻女子大連携企画「桜まつり」検討[12月]</li> <li>・大妻女子大連携企画「多摩さくら坂」検討、今年度の取り組みの振り返り、次年度の取り組みについて検討[2月]</li> </ul> <p><b>【全体】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大妻女子大学文化祭での防災ブースのお手伝い[10月]</li> <li>・防災まち歩き下見[11月]</li> <li>・防災まち歩き施設巡り 大妻女子大学～多摩ニュータウン環境組合→ゆいま～の中沢[12月]</li> <li>・赤飯おむすびパーティ[2月]</li> <li>・大妻女子大連携企画「多摩さくら坂」（大妻女子大学内の桜並木観賞イベント）[3月]</li> </ul> <p><b>*広報紙：ほっとネットしょうぶ通信 第2号2,000部[12月]</b></p> <p><b>*唐木田コミュニティセンター運営協議会との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉なんでも相談の実施（からきだ菖蒲館）：10回実施 （連携：多摩センター地域包括支援センター）※脳トレ等の実施</li> </ul> <p><b>*青木葉地域連絡会との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の自治会、マンション管理組合、青少年問題協議会、小学校からなる青木葉地域連絡会（4回参加）に出席し、管理組合が抱える課題を情報共有</li> </ul> <p><b>*サロン登録：「アルテ体操」</b></p>
--	---

※地域福祉推進委員会の主なメンバー（民生委員、地域包括支援センター、自治会・住宅管理組合、コミュニティセンター運営協議会、サロン、老人クラブ、青少年問題協議会地区委員会、地域防犯・防火活動組織、大学（企業）、事業所など）

地域福祉推進委員会情報交換会 (地域福祉推進委員会連絡会)	開催日時	平成30年12月18日(火)午後14時～16時
	会 場	多摩市総合福祉センター 7階研修室
	内 容	地域に広げるネットワーク
	対 象 者	各地域福祉推進委員会世話人
	参 加 者	世話人 30人
地域福祉普及啓発講座	開催日時	第1回：平成31年1月30日（水）14:00～16:30 第2回：平成31年2月13日（水）14:00～16:00
	会 場	関戸公民館 大会議室
	内 容	広報講座「読者に効果的に伝えるには」2回連続講座 第1回：広報紙づくりの基本 第2回：広報紙の取材と校正
	対 象 者	多摩市民 地域福祉推進委員会世話人
	参 加 者	(2回延べ人数) 地域福祉推進委員会 22人 一般 54人

## 7 生活支援体制整備事業

### (1) 契約状況等

	平成30年度	平成29年度
契約年月日	平成30年4月1日	平成29年4月1日
契約金額	10,472,000円	8,000,000円

### (2) 収支の状況

#### ① 収入の状況 単位：円

区分	平成30年度			平成29年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	10,472,000	10,472,000	100	8,000,000	8,000,000	100

#### ② 支出の状況 単位：円

区分	平成30年度			平成29年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	10,472,000	9,058,399	86.5	8,000,000	7,319,239	91.5

### (3) 生活支援コーディネーターの活動状況(H30.4～H31.3)

#### ① 活動件数

	平成29年度	平成30年度
個別支援	157	129
地域支援	1,656	2,449

#### ② 相談・対応・事業内容

	居場所	見守り	防災・防犯	介護予防	生活支援	認知症	地域行事	制度	その他	
個別支援	29年度	22	19	4	23	83	15	4	27	10
	30年度	19	12	2	24	64	25	1	18	10
地域支援	29年度	771	674	381	529	312	291	191	43	63
	30年度	1,200	1,055	462	817	364	341	415	63	147

#### ③ 連携先・繋ぎ先

	多摩市	警察消防	専門機関	包括	協議体	企業社福	学校関係	地域団体	コミセン	民生委員	NPO・ボラ	社協内	その他	
個別支援	29年度	19	0	11	57	1	6	0	13	5	11	3	30	3
	30年度	14	1	13	47	7	2	1	7	4	3	5	12	2
地域支援	29年度	267	24	209	333	55	201	190	486	242	388	326	77	44
	30年度	476	35	247	486	120	302	258	821	295	526	403	150	53



④ 具体的な取り組み内容

※地域福祉コーディネーターと兼務のため、地域福祉推進委員会での活動は上記参照

ア) 介護予防

○近所de元気アップトレーニング(近トレ) H30年度 活動状況一覧(平成31年3月31日現在)

NO	エリア	団体名	場 所	日 時	近トレ 登録年 度	助成金交 付
1	①	一ノ宮けやきサロン	一ノ宮集会所(一ノ宮1丁目)	毎週水曜日 13:30~15:00	H30	有
2		サロンまちの縁側	関戸河原クラブ集会所(関戸2丁目)	毎週木曜日 14:00~15:30	H30	有
3		桜ヶ丘近トレ	あいフィットネスさくら(関戸1丁目)	第火曜日 14:00~15:00	H30	無
4	②	連光寺東部健幸サロン わわわ(我和輪)	連光寺東部集会所(連光寺6丁目)	毎週木曜日 13:00~15:00	H30	有
5		連光寺志学サロン	連光寺志学サロン(連光寺2丁目)	毎週木曜日 13:30~15:00	H30	有
6		ハマナスの会	聖ヶ丘3丁目南集会所	毎週水曜日 10:30~11:30	H30	有
7		聖ヶ丘灯火サロン	聖ヶ丘4丁目集会所	毎週月曜日 8:45~9:15	H30	有
8		♪くらら	連光寺志学サロン(連光寺2丁目)	毎週月曜日 13:30~15:00	H30	有
9		金聖会	聖ヶ丘2丁目集会所	毎週金曜日 10:00~11:30	H30	無
10	③	コスモスの会	あいクリニック(貝取)	毎週金曜日 14:00~16:00	H30	有
11	④	ふらっと東寺方	東寺方地区市民ホール	毎週水曜日 14:00~16:00	H30	有
12	⑤	いきいき元気アップ教室(いきいきサロン和田)	和田集会所(和田3丁目)	毎週水曜日 10:00~11:00	H30	無
13		サロンかいどりやま	グリーンヒル貝取1-40団地集会所	第1・3・4水曜日 9:30~11:30 第2土曜日 14:00~16:00	H30	無
14	⑥	はなみずき近トレクラブ	タウンハウス諏訪集会所(諏訪3丁目)	毎週月曜日 10:30~12:00	H30	有
15		なごやか健幸体操の会	グリーンメゾン諏訪集会所(諏訪3丁目)	毎週火・木曜日 10:00~12:00	H30	有
16	⑦	ラウンジ永山	永山西集会所Eラウンジ(永山4丁目)	毎週火曜日 14:00~16:00	H30	有
17		すいすいサロン	永山東集会所(永山4丁目)	毎週水曜日 10:30~11:30	H30	有
18		瓜生元気アップトレーニング	瓜生集会所(永山6丁目)	毎週月曜日 10:30~12:00	H30	有
19		永山ハイツ体操サロン	永山ハイツ集会所(永山2丁目)	毎週月曜日 13:30~15:00	H30	無
20		いきいきサロン夢の会	東永山複合施設A棟304	毎週火曜日 14:00~16:00	H30	有
21	⑧	南野カフェ	パルシステム東京多摩セ	毎週月曜日	H30	有

			ンター交流ルーム (南野1丁目)	13:30~14:30		
22		コスモ近トレ	コスモフォーラム多摩コミュニティ棟内 (豊ヶ丘3丁目)	毎週水曜日 10:00~11:00	H30	有
23	⑨	落合3-5自治会コミュニティサロンあいあい	落合3-5集会所	毎週木曜日 10:00~12:00	H30	有
24		ツル4近トレ	タウンハウス鶴牧4集会所	毎週水曜日 10:30~12:00	H30	有
25		Dグラフィート煉瓦坂サロン	落合2-38マンション内	毎週月曜日 11:00~12:00	H30	無
26		みんなで元気はつらつ会	タウンハウス落合5集会所	毎週金曜日 10:30~11:30	H30	無
27	⑩	アルテ体操	鶴牧1-17マンション内コミュニティリビング	毎週水曜日 10:00~11:00	H30	有

## ②活動・助成の状況

	30年度
活動団体数	27
助成団体数	20
助成総額 (単位:円)	300,000

## イ) 生活支援

エリア	事業名	対象	担い手	連携先	内容
②	さくら運送	地域住民 ※店舗から 20分圏域	多摩桜の丘学園高等部	多摩桜の丘学園 ビッグ・エー 連光寺・聖ヶ丘地域 福祉推進委員会	「買い物支援(主に高齢者)」 年間:84件活動 ビッグ・エーで買い物したものを、利用者と一緒に多摩桜の丘学園の生徒が自宅まで運ぶ。
④	定例食事会	百草団地 周辺住民	地域住民 愛生苑	愛生苑 三方の森コミュニティ会館 三方の森ふれんど (百草団地地域地域 福祉推進委員会)	「食を通したつながりづくり」 「交流のきっかけづくり」 三方の森コミュニティ会館を会場に愛生苑で調理した食事を、住民がスタッフとなり、提供。
⑦	カレーの日	地域住民	地域住民	永山団地自治会 民生児童委員 中部地域包括支援 センター 見守り協力員	「高齢者の孤食への対応」 「地域での居場所づくり」 永山地域連絡会の課題から「食を通した居場所づくり」として「カレーの日」を住民有志で企画、実施。約120人参加
	永山団地サポートセンター	永山団地自治会 会員	永山団地自治会 会員	中部地域包括支援 センター	「地域での支え合いの仕組み」 自治会内での助け合いの仕組みとして、サポーターを自治会だよりで募集、希望者を募り、マッチングを行う。

ウ) ネットワーク構築・ニーズ把握

事業	回数
地域ケア会議	4
ぐっとらいふミーティング	31
地域活動・支えあいリストの更新	1 計16,500部
地域包括支援センター代表者会議	12
地域包括支援センター地区連絡会	8
第1層協議体との連携	
まるっと協議体	3
居場所分科会	7
生活支援分科会	6
移動分科会	15
道路交通課ワークショップ	6

## 8 たすけあい有償活動事業

### (1) 概要

実施日時	月曜日～土曜日
内 容 利用料金	住民同士の支えあいの仕組みづくりも含めた地域福祉の観点から、地域ニーズに柔軟に対応できるサービス提供をめざしている。 生活援助サービス・・・家事全般、簡単な身の回りの世話、手続き代行、薬の受取、趣味活動などの外出補助 (1時間900円、時間外1,100円) 介助サービス・・・車イス、通院の付き添いなどの身辺介助 (1時間1,000円、時間外1,200円) その他のサービス・・・換気扇掃除、窓拭き、草むしり、簡単な模様替えなど (1時間900円、時間外1,100円) 時間外・・・早朝(7時～8時) 夜間(17時～20時) 及び日曜・祝日は割増料金
対象者	多摩市在住で、上記内容を本人または家族ができない方
連携者 (団 体)	市、地域包括支援センター、介護保険事業所、シルバー人材センター他

### (2) 収支の状況

#### ① 収入の状況

単位：円

区 分	平成30年度			平成29年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	4,641,000	4,009,378	86.4	5,202,000	4,392,390	84.4

#### ② 支出の状況

単位：円

区 分	平成30年度			平成29年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	4,641,000	3,432,339	74.0	5,202,000	3,699,580	71.1

### (3) たすけあい有償活動実施状況

単位：人

	利用者		協力員			利用状況			
	人数	月末登録者数	新規登録者	活動者数	援助		介助		
					日中	時間外	日中	時間外	
4月	86	150	0	57	78	1	7	0	
5月	82	153	0	57	72	4	6	0	
6月	85	148	10	58	78	2	4	1	
7月	77	150	2	55	73	1	3	0	
8月	76	150	0	53	72	1	3	0	
9月	76	150	0	53	71	1	4	0	
10月	93	150	0	58	84	2	7	0	
11月	89	150	0	55	79	4	6	0	
12月	93	150	0	58	82	4	7	0	
1月	82	160	10	50	77	1	4	0	

2月	81	160	0	51	76	1	4	0
3月	82	166	6	52	75	4	3	0
月平均	83.5	153.1		54.8	76.4	2.2	4.8	0.1
昨年度 月平均	77.9	169.3		55.9	72.5	0.6	4.8	0.5

(新規利用者：64人 新規登録協力員：28人)

#### (4) 過去5年間の状況

単位：人

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
利用者数(月平均数)		68.2	71.2	84.8	77.9	83.5
協力員	登録者数	195	215	212	153	166
	うち新規登録者数	50	54	42	32	28
	活動者数(月平均)	48.1	47.5	56	55.9	54.8

#### (5) たすけあい有償活動協力員研修会

開催日時	第1回 平成30年 7月10日(火) 午後2時～4時 第2回 平成30年12月12日(水) 午後2時～4時
会場	第1回 永山公民館 視聴覚室 第2回 関戸公民館 第2学習室
内容	第1回 認知症サポーター養成講座、ロールプレイ「認知症の気付きとサポート」(初任者研修) 第2回 PTによる高齢者の身体的特徴・移動介助講座(車椅子操作含む)、実技講座(ステップアップ研修)
対象者	たすけあい有償活動協力員
参加者	第1回 12人 第2回 11人
連携者(団体)	第1回 なし 第2回 あいフィットネスサロンさくら

#### (6) たすけあい有償活動協力員懇談会

開催日時	第1回 平成30年7月23日(月) 午前10時～11時30分 第2回 平成31年2月12日(水) 午後2時～3時45分
会場	第1回 永山公民館 視聴覚室 第2回 関戸公民館 創作室
内容	懇談することにより、協力員がお互いに情報を共有し、日頃の活動における疑問や課題を解決する機会とする。 第1回 ミニ講座「脱水予防」 第2回 事例検討
対象者	たすけあい有償活動協力員
参加者	第1回 6人、第2回 14人

#### (7) たすけあい有償活動協力員説明会

開催日時	第1回 平成30年6月20日(水) 午前10時～11時30分 第2回 平成31年1月31日(木) 午前10時～11時30分
会場	第1回 永山公民館 視聴覚室 第2回 関戸公民館 第1学習室
内容	たすけあい有償活動事業説明 実際の活動内容を協力員と職員による対談形式で発表 協力員登録手続き
対象者	18歳以上の市民及び近隣地区住民

参加者	第1回 14人	第2回 9人
-----	---------	--------

## 9 住民主体による訪問型サービス

### (1) 概要

実施日時	月曜日～土曜日
内 容 利用料金	<p>多摩市介護予防・日常生活支援総合事業において多摩市社会福祉協議会で実施する訪問型サービス。(平成28年5月より指定) たすけあい有償活動の協力員登録者のうち、多摩市が実施する研修を受けた協力員が担い手となる。地域包括支援センターもしくはケアマネジャーの作成するケアプランに基づき、介護予防支援のため生活支援を実施するもの。</p> <p>内容・・・家事支援(掃除・洗濯・食事の準備・買い物代行等)、買物同行支援 頻度・・・1週間に1日まで 家事支援 1回60分以内、買物同行支援 1回90分以内 利用料・・・家事支援1,500円/回 ※利用者負担(一律2割負担)300円 買物同行支援2,250円/回 ※利用者負担(一律2割負担)450円 活動費・・・家事支援1,100円/回 買物同行支援1,650円/回 ※交通費相当含む キャンセル料・・・当日キャンセルの場合 家事支援1,100円 買物同行支援1,650円</p>
対象者	多摩市在住 介護保険の認定が要支援1、2 もしくは事業対象者の認定がある方
連携者 (団 体)	市、地域包括支援センター、介護保険事業所、シルバー人材センター他

### (2) 収支の状況

#### ① 収入の状況

単位：円

区 分	平成30年度			平成29年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	1,851,000	1,359,301	73.4	1,441,000	822,000	57.0

#### ② 支出の状況

単位：円

区 分	平成30年度			平成29年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	1,851,000	1,092,800	59.0	1,441,000	574,000	39.9

### (3) 住民主体による訪問型サービス実施状況

単位：人

	協力員			利用状況		
	月末 登録者数	新規 登録人数	活動者数	相談数	新規 利用者数	利用者数
4月	48	0	16	0	2	25
5月	48	0	16	4	0	24
6月	43	0	15	2	1	24
7月	43	0	14	3	0	21
8月	52	9	14	2	3	21
9月	52	0	14	2	0	20
10月	52	0	13	1	0	20
11月	52	0	14	3	2	21
12月	52	10	17	2	2	23
1月	52	0	17	1	2	23

2月	52	0	15	4	1	19
3月	52	0	13	2	2	18
月平均	49.8	1.6	14.8	2.2	1.3	21.6
昨年度 月平均	45.3	1.2	9.1	3.8	2.0	12.6

(昨年度：新規利用者 24人 新規登録協力員 14人)

(今年度：新規利用者 14人 新規登録協力員 19人)



## 10 ボランティア・市民活動推進事業（多摩ボランティア・市民活動支援センター）

### (1) 収支の状況

#### ① 収入の状況

単位：円

区分	平成30年度			平成29年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	10,580,000	10,493,744	99.2	14,921,000	13,211,198	88.5

#### ② 支出の状況

単位：円

区分	平成30年度			平成29年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	10,580,000	7,617,142	72.0	14,921,000	10,699,145	71.7

### (2) 多摩ボランティア・市民活動支援センター運営委員会及び各種専門委員会の開催

委員会名	委員数	開催日	出席者数
運営委員会	13名	H30.5.15	10名
		H30.6.19	8名
		H30.7.31	9名
		H30.10.19	11名
		H31.1.18	10名
		H31.2.26	7名
企業等連携強化専門委員会	6名	H30.6.13	4名
		H30.7.24	4名
		H30.8.28	4名
		H30.9.27	3名
		H30.10.29	4名
		H30.12.10	6名
		H31.1.21	5名
		H31.3.4	4名
災害ボランティアセンタースタッフボランティア育成専門委員会	8名	H30.6.29	8名
		H30.7.18	4名
		H30.9.26	5名
		H30.10.25	5名
		H30.12.17	5名

### (3) ボランティア育成事業

#### ① 市民活動入門講座

傾聴ボランティア養成講座(4回連続講座)

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
①H31.2.13 ②H31.3.6 ③H31.3.13 ④H31.3.20	35人	多摩市総合福祉センター7階研修室	①傾聴の基本 ②ボランティアと傾聴 ③傾聴の実践 ④傾聴の心得	アクティヴリッスン代表、NHK学園「傾聴講座」監修者 澤村直樹氏

②ボランティア・市民活動団体支援講座

デザイナー直伝!!「団体のおもい・魅力が伝わる三つ折りパンフレット作成のコツ」

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H30. 11. 16	10人	関戸公民館 第2学習室	①パンフレット作成のための3つのステップ ②ワークショップ	小さなNPOを応援するグラフィックデザイナー 林田全弘氏

③ボランティア体験

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H30. 5. 3、4、5、6、26、6. 16、23、7. 7、15、8. 4、18、9. 8、16	延べ 54人	ガーデンシティ多摩センターこどもまつり2018 及び東京ヴェルディホームゲーム会場等全3箇所	東京医療学院大学学生ボランティア体験	東京ヴェルディ男性ボランティア会議
H30. 7. 21～8. 31	407人	市内・近隣の福祉施設等全88箇所	夏のボランティア体験2018	市内・近隣の高齢者、障がい者施設・団体、保育園、児童館、学童クラブ、NPO・ボランティア団体、コミュニティセンター

④災害ボランティア育成

ア) 市民活動入門講座 (災害ボランティア編)

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H30. 9. 1	33人	関戸公民館 8階 大会議室	災害ボランティア活動の種類や心構え、安全管理や注意すべき点、災害時に市から発信される情報について	災害 NGO ラブ&アース 代表 橋之口みゆき氏

イ) 災害ボランティアセンタースタッフボランティア活動体験 (全3回)

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H30. 10. 4	29人	多摩市総合福祉センター7階研修室	①災害ボランティアセンターとは ②水害発生後の市民の困りごと(ニーズ)についてのワークショップ開催	災害救援ボランティア推進委員会

H30. 10. 25	30 人	多摩市総合福祉センター7階研修室	災害ボランティアセンターの機能である、ニーズ受付と現地巡回についてワークショップを開催	災害救援ボランティア推進委員会
H30. 11. 25	74 人	多摩市総合福祉センター	多摩市災害ボランティアセンター設置・運営訓練	

※上記参加者には社協職員を含む（職員研修を兼ねているため）

※スタッフボランティアとして48人が登録

⑤ チャリティイベント（ブリザーブドフラワーをつくろう）

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H31. 3. 9	20 人	多摩ボランティア・市民活動支援センター打合せコーナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブリザーブドフラワーの壁飾り</li> <li>※参加費をボランティア・市民活動の振興の財源に充てる</li> <li>・チャリティ金 30,000 円</li> </ul>	恵泉女学園大学

⑥ ボランティアまつり

回	実施日	来場者	場所	内容	協力団体等
第6回	H27. 1. 24	4,000 人	関戸公民館各フロア、さくら広場、多摩ボランティア・市民活動支援センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種発表、体験</li> <li>・福祉施設等による販売</li> <li>・被災地復興支援フェア等</li> <li>・着ぐるみによるグリーンティング等</li> <li>・チャリティイベントの売上額46,600円</li> <li>・協賛金額 260,000円</li> </ul>	協賛企業等 41 団体、ボランティア 91 人(実行委員 11 人、財源確専門委員会委員 3 人含む) ※企画運営：第 6 回ボランティアまつり実行委員会
第7回	H28. 1. 23	4,000 人		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別企画：「私のボランティア体験～東日本大震災を通して～」</li> <li>パネルディスカッション「未来へつなぐ はじめの一步」（パネリスト：多摩中・東愛宕中・和田中の生徒）</li> <li>・各種発表、体験</li> <li>・福祉施設等による販売</li> <li>・被災地復興支援フェア等</li> <li>・着ぐるみによるグリーンティング等</li> <li>・チャリティイベントの売上額80,900円</li> <li>・協賛金額 225,000円</li> </ul>	協賛企業等 42 団体、ボランティア 63 人(実行委員 11 人、財源確専門委員会委員 3 人含む) ※企画運営：第 7 回ボランティアまつり実行委員会
第8回	H29. 1. 29	3,500 人		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別企画：映画「みんなの学校」の上映、市内4中学</li> </ul>	協賛企業等 39 団体、ボランティア

				校の生徒（多摩中学校・東愛宕中学校・和田中学校・鶴牧中学校）によるトークセッション「私のボランティア体験」 ・各種発表、体験 ・福祉施設等による販売 ・被災地復興支援フェア等 ・着ぐるみによるグリーティング等 ・チャリティイベントの売上額 127,500 円 ・協賛金額 308,000 円	35 人（実行委員 10 人、財源確専門委員会委員 4 人含む）  ※企画運営：第 8 回ボランティアまつり実行委員会
第 9 回	H30. 1. 27	3,000 人		・防災啓発体験企画「自分にもできる防災」（VC 運営委員会・NPO 法人シーズネットワーク共催企画） ・「たまたま多摩にいる人交流おそうじ」（NPO 法人グリーンバード中央大学チーム共催企画） ・各種発表、体験 ・福祉施設等による販売 ・被災地復興支援フェア等 ・着ぐるみによるグリーティング等 ・チャリティイベントの売上額 20,500 円 ・協賛金額 278,000 円	協賛企業等 34 団体、ボランティア 23 人（運営委員・財源確専門委員会委員 9 人含む）
第 10 回	H31. 1. 26	100 人		・ボランティア・市民活動の活動紹介、体験、相談コーナー ・多摩フレイル予防プロジェクト（TFPP）の実施 ・協賛金額 175,000 円	参加協力団体・機関：28、協賛企業等 16

⑦ 第 14 回地域ふれあいフォーラム TAMA

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H31. 1. 27	延べ 50 人	関戸公民館各フロア、さくら広場多摩ボランティア・市民活動支援センター	・鉄道模型運転体験の実施	東京都ボランティアリーダー会グループ

⑧ たまボランティアギフト マatchingギフト合計金額 98,500 円

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H30. 4. 8	4 人	聖蹟桜ヶ丘	第 37 回せいせき桜まつり	多摩市社会福祉協議会職員共済会

H30. 5. 3～5. 5	4人	多摩センター駅	ガーデンシティ多摩センターこどもまつり2018	
H30. 7. 17～20	25人	多摩センター駅(2回)・永山・聖蹟桜ヶ丘駅	「西日本大雨災害募金」街頭活動	
H30. 7. 27～8. 23	10人	市内の福祉施設やボランティア団体など	夏のボランティア体験	東京海上日動システムズ(株)
H30. 9. 11～14	12人	多摩センター・永山・聖蹟桜ヶ丘駅	「北海道胆振東部地震災害義援金」街頭活動	多摩市社会福祉協議会職員共済会

#### (4) 地域出張相談事業

実施日	来所者	場所	内容	協力団体等
H30. 4. 13～7. 4 全12日	延べ68人	市内コミュニティセンター5箇所、永山公民館	平成30年度ボランティア保険加入受付、夏のボランティア体験申込受付、ボランティア・市民活動の情報提供、相談等	市内コミュニティセンター運営協議会、ボランティア相談員延べ10人
H31. 3. 8～3. 19 全5日	延べ28人	市内コミュニティセンター4箇所、永山公民館	平成31年度ボランティア保険加入受付、にゃんともTAMARボランティアポイント登録受付。ボランティア・市民活動の情報提供、相談等	市内コミュニティセンター運営協議会、ボランティア相談員延べ5人
毎月第4木曜日 全12日	延べ43人	老人福祉センター	ボランティア・市民活動の情報提供、相談対応、ボランティア保険受付、夏のボランティア体験申込受付等	

#### (5) 協力事業

	団体	実施日	実施・協力内容	協力団体等
1	多摩ボランティア・市民活動支援センターパソコン研修室利用登録団体(4団体)	H30. 4. 1～H31. 3. 31	<ul style="list-style-type: none"> <li>パソコン教室の開催(全103回)</li> <li>パソコン研修室の貸出、広報</li> </ul>	
2	東京ヴェルディ1969フットボールクラブ(株)	H30. 4. 7～H31. 3. 30	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京ヴェルディホームゲームでの車イス来場者の付添、会場案内等(参加者申込受付、広報)</li> </ul>	

3	第37回せいせき桜まつり実行委員会	H30.4.8	・東日本大震災復興支援フェア出店	元気いしのまき、多摩市災害復興支援ボランティアの会
5	南多摩日本語の会	H30.4.8～5.27(全7回・初級)、H30.6.3～7.22(全8回・中級)	・ボランティア日本語講師養成講座(広報、参加者申込受付)	
6	多摩市手話サークル「クローバー」	H30.8.1～8.3(全3回)	・夏休み手話教室(参加者申込受付、永山分室会議室の貸出、広報)	
7	福寿草	H30.12.16	・傾聴入門講座(広報、参加者申込受付)	
8	多摩市要約筆記サークル	H30.12.8	・「聞こえにくさへの理解とコミュニケーションのコツ」講座(広報、参加者申込受付)	
9	NPO法人シニアサポート多摩	H30.10.27、30	・おひとり様・おふたり様の安心終活講座(広報、参加申込受付)	
10	貝取こぶし館	H30.7.27	「福祉講座高齢者擬似体験」(講師協力)	
11	京王電鉄(株)	H31.3.21	駅ボランティア体験講習会(当日講習会の協力)	多摩市視覚障害者福祉協会、公益社団法人東京都盲人福祉協会、特別養護老人ホーム愛生苑
12	映画フォーラム実行委員会	H30.4.7, 6.9, 7.21, H31.2.26, 3.23	チケット代行販売(販売手数料収入3,800円)	※ボランティア登録団体
13	What's jazz 実行委員会	H30.6.1, 9.7, 11.21, H31.3.8	チケット代行販売(販売手数料収入177,100円)	※ボランティア登録団体

## (6) 地域出前事業

	学校・団体	実施日	実施・協力内容	協力団体等
1	東京医療学院大学	H30.4.9	講師派遣 ①ボランティア・市民活動についての話 ②多摩ボランティア・市民活動支援センターの取り組みについて	
2	永山高校	H30.5.9	講師派遣 ①ボランティア・市民活動についての話 ②夏のボランティア体験	

			2018 の説明	
3	恵泉女学園大学	①H30. 5. 11 ②H30. 10. 26	講師派遣 ①高齢者の身体機能 ②高齢者疑似体験	
4	大妻多摩中学校	H30. 6. 16	講師派遣 ①ボランティア・市民活動についての話 ②夏のボランティア体験 2018 の説明	
5	北諏訪小学校	①H30. 5. 25 ②H30. 7. 13	①視覚障がい者理解、点字体験 ②聴覚障がい者理解、手話体験	①多摩市視覚障害者福祉協会 渡部龍太、パソコン点訳サークルこがめ ②多摩市聴覚障害者協会、特定非営利活動法人多摩市聴覚障がい者情報活動センター、多摩市手話サークル「クローバー」
6	多摩市老人クラブ連合会	H30. 8. 14	車いす講習会	男性ボランティア会議
7	南鶴牧小学校 おやじの会	H30. 9. 22	「エコスポ祭り」内での子ども向け車イス利用体験、高齢者疑似体験	
8	永山小学校	①H30. 9. 21 ②H30. 10. 12 ③H30. 10. 19	①点字体験 ②視覚障がい者の方のお話 ③聴覚障がい者理解、手話体験	①パソコン点訳サークルこがめ、多摩市点訳サークル「トータス」 ②多摩市視覚障害者福祉協会 田口和明 ③多摩市聴覚障害者協会、特定非営利活動法人多摩市聴覚障がい者情報活動センター、多摩市手話サークル「クローバー」
		H31. 2. 8	身体障がい者理解、車椅子講習	平田真利恵、愛生苑
9	豊ヶ丘小学校	①H30. 10. 11 ②H30. 10. 12	①視覚障がい者の方のお話 ②聴覚障がい者理解、手話体験	①多摩市視覚障害者福祉協会 瀬尾敏也、パソコン点訳サークルこがめ ②多摩市聴覚障害者協会、特定非営利活動法人多摩市聴覚障がい者情報活動センター、多摩市手話サークル「クローバー」

10	多摩第二小学校	H30. 11. 2	聴覚障がい者理解、手話体験	多摩市聴覚障害者協会、特定非営利活動法人多摩市聴覚障がい者情報活動センター、多摩市手話サークル「クローバー」
11	大松台小学校	①H30. 11. 16 ②H30. 11. 21 ③H30. 11. 22	①聴覚障がい者理解、手話体験 ②視覚障がい者理解 ③点字体験	①多摩市視覚障害者福祉協会 山田正義 ②多摩市聴覚障害者協会、特定非営利活動法人多摩市聴覚障がい者情報活動センター、多摩市手話サークル「クローバー」 ③パソコン点訳サークルこがめ
12	南鶴牧小学校	①H30. 11. 27 ②H30. 11. 28	①聴覚障がい者理解、手話体験 ①視覚障がい者理解	①多摩市聴覚障害者協会、特定非営利活動法人多摩市聴覚障がい者情報活動センター、多摩市手話サークル「クローバー」 ②多摩市視覚障害者福祉協会 有松靖温
13	多摩市立子育て総合センター たまっこ	H30. 11. 30	講師派遣 「平成 30 年度子育て・子育て支援者養成講座」での市民活動の紹介と役割について	
14	セコム(株)	H31. 1. 17	講師派遣 高齢者の特性、配慮のポイント～疑似体験の実施～	
15	貝取小学校	①H31. 2. 4 ②H31. 2. 5 ③H31. 2. 12	①点字体験 ②身体障がい者理解 ③車椅子講習	①パソコン点訳サークルこがめ ②平田真利恵 ③愛生苑
16	東京海上日動システムズ(株)	H31. 3. 6	社員向け障がい者理解講座 ・ボッチャ体験	日本ユニバーサルボッチャ連盟 渡辺美佐子、秋元妙美

(7) ボランティア活動等振興助成金交付事業

① 平成 30 年度実績

団体名	事業内容	助成金額 (単位：円)
傾聴ボランティアグループ「福寿草」	市民を対象にした傾聴入門講座の開催	30,000



うたごえランド	「うたごえランド」の開催	30,000
多摩市音訳グループ繭	担い手を増やすための新人養成講座開催	30,000
マジックエコー	担い手発掘のためのマジック講習会開催	30,000
NPO法人 シニアサポート多摩	主に独居・夫婦のみ世帯の高齢者に向けた法務と福祉の相談会	30,000
多摩市手話サークル「クローバー」	ろう者（聴覚障害者）の講師による手話での講演会	30,000
風船隊バルバル	会員のスキルアップと会の活性化のための講習会を開催	20,000
多摩市要約筆記サークル	聞こえに不便を感じている人や、その家族等を対象に、難聴者とのコミュニケーションに役立つ知識についての講座を開催	24,000
聖ヶ丘子どもおとしより見守り実行委員会	地域での防犯活動の範囲拡大や、地域の様々なボランティア活動の担い手を発掘するための普及啓発事業を行う	30,000
多摩市テキスト化サークル「おんきやら」	これからサークルを拡大するために必要となる音訳化ソフト等の購入	50,000
特定非営利活動法人 アピュイ	みなのは だれでも食堂	20,000
自主活動グループ メルティング・ポット	メルティング・ダイニング（誰でも食堂）	20,000
合計（12団体）		344,000

## ② 過去5年間の状況

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
登録団体数	64	69	64	58	58
助成団体数	12	17	14	12	12
助成総額(円)	417,500	651,642	499,600	424,470	344,000

## (8) 販売事務業務委託（多摩市受託事業）

委託件名	事業内容	収入金額 (単位：円)
多摩市印刷物有償頒布事務業務委託	多摩市印刷物の有償頒布に係る業務（販売）※委託料は販売価格の20%	5,604
学校施設等使用券売払事務業務委託	学校施設等使用券の販売及び収納業務 ※委託料は販売価格の5%	134,650
合計		140,254

## (9) 関係機関との連携

会議名	実施回数	備考
多摩ボランティア・市民活動支援センター登録団体等連絡会	月1回	構成：24団体
たま食ねっと。	年12回	構成：多摩市（児童青少年課、健幸まちづくり推進室、子育て支援課、文化・市民協働課）、子ども食堂等の活動をしている市民団体、恵泉

		女学園大学等
市区町村ボランティア・市民活動センター長会議	年 4 回	
市区町村ボランティア・市民活動推進事務局連絡会	年 4 回	
市区町村社協南多摩ブロック職員の会ボランティア担当者会議	年 7 回	構成：八王子市、町田市、日野市、稲城市、多摩市の 5 市社協 ※会議の他、メーリングリストを作成し、情報交換を行っている。

(10) ボランティア基金・寄附金状況

① ボランティア基金（平成31年3月末現在高 11,196,564円）

単位：円

	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
寄附金額	68,810	61,000	15,285	9,557	31,353

※平成28年度寄附金のうち、1,111,571円はふるさとTAMA応援寄附金。次年度4月期に基金への積立を行うため平成29年3月末現在高には含まれず

② 指定寄附金（ボランティア・市民活動推進）

単位：円

	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
寄附金額	365,377	595,245	181,347	244,688	231,430

※ 商品券による寄附 100,000 円を含む

※ 平成 26 年度の寄附金のうち、26,000 円は「たまボランティアギフト」による寄附金

※ 平成 27 年度の寄附金のうち、91,200 円は「たまボランティアギフト」による寄附金

※ 平成 28 年度の寄附金のうち、98,600 円は「たまボランティアギフト」による寄附金

※ 平成 29 年度の寄附金のうち、72,500 円は「たまボランティアギフト」による寄附金

※ 平成 30 年度の寄附金のうち、98,500 円は「たまボランティアギフト」による寄附金

(11) 多摩ボランティア・市民活動支援センターボランティア登録者状況

	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
個人登録者数	304 人	475 人※1	505 人※1	551 人※1	651 人※1
団体加盟者数	2,764 人	3,023 人※2	2,296 人※2	1,853 人※2	2,074 人※2
V 保険登録者数	2,787 人	3,002 人	3,012 人	2,224 人	3,032 人
登録団体数	64 団体	69 団体	64 団体	58 団体	58 団体

※1 個人登録者数のうち、424 人は介護予防ボランティアポイント登録者  
また、災害ボランティアやヴェルディボランティアで重複あり

※2 延べ人数。複数の団体に所属して活動しているボランティアがいるため

(12) 多摩ボランティア・市民活動支援センター（ヴィータ）利用登録者状況

	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
個人利用登録者数	732 人	890 人	955 人	1,037 人	1,107 人
来館者数	18,152 人	12,800 人	12,704 人	12,750 人	11,540 人

(13) ボランティア相談状況

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
ボランティア希望	153	159	158	147	125
ボランティア要請	111	96	97	91	77
マッチング(紹介)	66	75	87	86	55
情報提供	77	63	46	34	22
協力依頼	38	34	29	41	55
その他	1	4	11	27	28
計	380	356	341	340	307

※介護予防ボランティア登録者の数は含まない。

※マッチング(紹介)は、ボランティア要請に対しての紹介数のため合計数に含まず。

(14) 活動室・会議室利用状況及び機材貸出状況

① 活動室利用状況

ヴィータ(本センター) 打ち合わせコーナー 定員30人  
 総合福祉センター ボランティア活動室 定員15人  
 永山分室 ボランティア活動室 定員20人 会議室 定員50人  
 ( )内は前年度

利用月	ヴィータ(本センター)		総合福祉センター分室		永山分室	
	延団体数	利用人数	延団体数	利用人数	延団体数	利用人数
H 30. 4	38 (58)	211 (305)	18 (20)	138 (251)	61 (57)	846 (902)
H 30. 5	50 (53)	259 (341)	11 (16)	99 (149)	50 (50)	828 (850)
H 30. 6	38 (55)	214 (324)	13 (13)	120 (138)	60 (65)	1,084 (1,133)
H 30. 7	51 (44)	270 (256)	14 (14)	119 (125)	60 (60)	1,071 (1,011)
H 30. 8	43 (43)	185 (194)	11 (18)	100 (143)	33 (44)	436 (357)
H 30. 9	47 (35)	222 (228)	15 (18)	128 (152)	54 (55)	937 (727)
H 30.10	42 (42)	214 (250)	16 (15)	127 (118)	57 (50)	879 (809)
H 30.11	51 (46)	295 (306)	13 (11)	95 (95)	59 (60)	1,069 (886)
H 30.12	37 (36)	171 (256)	13 (18)	113 (155)	52 (47)	872 (767)
H 31. 1	33 (34)	201 (249)	8 (11)	56 (78)	39 (38)	612 (639)
H 31. 2	32 (41)	157 (313)	14 (19)	114 (191)	50 (52)	810 (802)
H 31. 3	25 (52)	150 (335)	12 (13)	133 (112)	63 (66)	810 (965)
合計	487 (539)	2,549 (3,359)	158 (186)	1,342 (1,710)	638 (590)	10,254 (9,848)

② 機材貸し出し状況

印刷機、コピー機(白黒・カラー)、拡大コピー機、メールボックス、ロッカー、車いす、高齢者疑似体験セット、視覚障がい体験セット、アイマスク、白杖、点字練習器、図書等、ボランティア・市民活動に必要な機材・用具の貸出を行った。(一部有料)

貸出機材	貸出件数合計 ( )内は前年度
ロッカー	30 (34)
メールボックス	15 (15)
多目的ボックス	33 (33)
車いす	22 (28)
高齢者疑似体験セット	20 (16)
視覚障がい体験セット	2 (2)
アイマスク	7 (15)
点字練習器	5 (6)
女性センターライブラリー図書	66 (71)

(15) 多摩ボランティア・市民活動支援センター広報状況

① 「ボランティア通信」発行状況（月1回発行）

発行部数(月別)	総発行部数	設置・送付箇所数	主な設置・送付場所
2,500部	30,000部	379箇所	市内公共施設（コミュニティセンター含む）、市内郵便局、駅構内、市内企業・店舗（福祉協力店含む）、学校等

② 多摩ボランティア・市民活動支援センター専用ホームページ開設状況

（ ）内は前年度の数

ア) 平成30年度実績

月	訪問者数	一日平均アクセス数
H30. 4	1,039(1,342)	35(43)
H30. 5	1,331(1,348)	43(44)
H30. 6	1,978(2,411)	66(80)
H30. 7	1,637(2,022)	53(65)
H30. 8	1,118(1,433)	36(36)
H30. 9	805(1,156)	27(39)
H30.10	786(1,036)	25(33)
H30.11	1,011(1,138)	34(38)
H30.12	835(966)	27(31)
H31. 1	787(1,162)	26(37)
H31. 2	1,009(1,050)	36(38)
H31. 3	849(1,199)	28(39)
合計	13,185(16,263)	37(45)

イ) 過去5年間の状況

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
訪問件数	18,652	20,754	18,036	16,263	13,185
一日平均アクセス件数	51	56	49	45	37

③ 多摩ボランティア・市民活動支援センターメールマガジン配信状況

ア 配信日：第1木曜日。その他、不定期に配信。

イ 登録件数：617人（平成31年3月末日現在）

ウ 配信回数：12回

エ 過去5年間の状況

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
登録件数	648	611	632	625	617

## 1 1 介護予防ボランティアポイント事業（多摩市受託事業）

### (1) 概要

目的	多摩市介護予防ボランティアポイント事業実施要綱に基づき、介護保険法（平成9年法律第123号）第115条の45第1項第1号に規定する介護予防事業として、高齢者のボランティア活動実績を「ポイント」として評価することにより、介護予防を促進し、もって元気な高齢者が地域に貢献できるような取り組みを推進することを目的とする。
事業開始	平成26年7月7日（受託事業開始）
事業概要	<p>(1) 事業内容</p> <p>①制度根拠：介護保険法第115条の45第1項第1号、地域支援事業実施要綱、多摩市介護予防ボランティアポイント事業実施要綱</p> <p>②介護予防ボランティア：多摩市在住の介護保険第1号被保険者（あらかじめ管理機関へ登録が必要）</p> <p>③介護予防ボランティア活動（多摩市長が指定する介護予防ボランティア事業及び活動）</p> <p>ア) 事業 ●介護保険対象施設 ●多摩市が実施する地域支援事業（介護予防事業）</p> <p>イ) 活動 ●レクリエーション等の指導、参加支援 ●お茶だしや食堂内の配膳・下膳などの補助 ●散歩、外出、館内移動の補助 ●模擬店、会場設営、利用者の移動補助、芸能披露などの行事の手伝い ●話し相手 ●その他施設職員と共に行う軽微かつ補助的な活動（例—草刈、洗濯物の整理、シーツ交換など） ●その他</p> <p>④活動実績の把握：介護予防ボランティアが持参する介護予防ボランティア手帳に活動確認スタンプを押印。</p> <p>⑤評価ポイントの付与：介護予防ボランティア手帳に押印されたスタンプの数に応じて最大5,000ポイントの評価ポイントを付与。</p> <p>⑥評価ポイント転換交付金：介護予防ボランティア手帳を添えて、評価ポイント活用を申し出る。交付額は年間最大で5,000円。</p> <p>⑦その他：介護保険料の未納又は滞納の場合、適用しない。</p> <p>(2) 業務内容</p> <p>①介護予防ボランティア登録対象者向け説明会・研修会及び受入機関向け説明会の実施</p> <p>②受入機関の登録に関する事務</p> <p>③介護予防ボランティアの登録及び介護予防ボランティア手帳の交付に関する事務</p> <p>④介護予防ボランティア活動評価ポイントの付与及び管理に関する事務</p> <p>⑤介護予防ボランティアポイント交付金交付申請に関する事務</p> <p>⑥介護予防ボランティアポイント登録者に対する受入機関及び活動内容等の紹介に関する事務</p>

## (2) 契約状況等

単位：円

	平成30年度	平成29年度
契約年月日	平成30年4月1日	平成29年4月1日
契約金額	1,948,000円	1,906,000円

## (3) 収支の状況

### ① 収入の状況

単位：円

区分	平成30年度			平成29年度		
	予算現額	収入済額	執行率(%)	予算現額	収入済額	執行率(%)
合計	1,948,000	1,948,000	100.0	1,906,000	1,906,000	100.0

### ② 支出の状況

単位：円

区分	平成30年度			平成29年度		
	予算現額	支出済額	執行率(%)	予算現額	支出済額	執行率(%)
合計	1,948,000	1,688,174	86.7	1,906,000	1,689,945	88.7

## (4) 事業実施状況

### ① ボランティア登録者数

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
登録者数	91人	187人	255人	343人	424人

### ② 登録施設数

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
登録施設数	35	36	39	45	51

### ③ 登録者向け説明会

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H30.4.12 ~ H31.3.14 (毎月第一木曜日)	30人	多摩ボランティア・市民活動支援センター 打合せコーナー	・にゃんともTAMARボランティアポイントについて ・登録手続きについて	

### ④ 研修会

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H30.8.22	20人	関戸公民館大会議室	高齢者に対するコミュニケーション方法及び身体機能について	ハンディキャブ ゆづり葉 杉本 依子氏

### ⑤ 施設向け説明会

実施日	参加者	場所	内容	備考
H31.1.23	3施設 3人	関戸公民館第1学習室	・にゃんともTAMARボランティアポイントについて ・登録手続きについて	当日不参加だった他3施設は訪問し説明。

⑥ 施設ボランティア受入れ担当者情報交換会と研修会

実施日	参加者	場所	内容	備考
H31. 2. 15	13 施設 18 人	多摩市総合福祉センター7 階研修室	ボランティアが集まるプログラム作りのコツを学ぶ。	東海大学健康科学部教授 妻鹿ふみ子氏

## 12 福祉サービス利用援助事業

### (1)概要

目的	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等に対し、本人との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行うことにより、安心して自立した生活が送れるようにする。
対象者	1 認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者 2 支援が必要な高齢者、身体障がい者
内容	①福祉サービス利用援助(情報提供、手続き援助、利用料の支払い等) ②日常的金銭管理サービス(年金や手当の受領手続き、日常生活上の支払い手続き、払い戻し等) ③書類等の預かりサービス(年金証書、預貯金通帳、権利証、実印等) ④成年後見制度に関する相談及び利用支援

### (2)地域福祉権利擁護事業(東京都社会福祉協議会受託事業)

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
相談件数	4,325	4,620	3,998	4,009	3,292
契約件数	21	24	19	16	28
解約件数	7	18	10	18	23
年度末契約件数	71	77	86	84	89

#### 収支状況(人件費を除く)

##### 収入の状況

単位:円

区分	平成30年度			平成29年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	3,776,000	3,451,115	91.4	3,664,000	3,663,010	99.9

##### 支出の状況

区分	平成30年度			平成29年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	3,776,000	3,353,833	88.8	3,664,000	3,659,439	99.8



(3)東京都福祉サービス総合支援事業（多摩市補助事業）

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
相談件数	992	1,088	980	747	715
契約件数	3	4	7	4	7
解約件数	5	7	6	4	8
年度末契約件数	24	21	22	22	21

福祉サービス利用援助事業 平成30年度末契約総数 110件 (89件+21件)

収支状況（人件費を除く）

収入の状況

単位：円

区分	平成30年度			平成29年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	1,894,000	1,791,771	94.6	1,894,000	1,845,106	97.4

支出の状況

区分	平成30年度			平成29年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	1,894,000	1,473,358	77.8	1,894,000	1,539,217	81.3

(4) 成年後見制度利用支援業務

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
相談件数	397	224	134	183	185
申立支援件数	4	5	4	7	9

※平成21年10月1日より業務開始

※申立支援件数は、(2)および(3)の契約者に対して申立支援を行った件数。

収支状況（人件費を除く）

収入の状況

単位：円

区分	平成30年度			平成29年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	970,000	850,884	87.7	877,000	787,000	90.0

支出の状況

区分	平成30年度			平成28年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	970,000	725,819	74.8	877,000	595,182	67.9

(5)実施事業

広報・説明会	<p>1 社協および市広報紙、ホームページの掲載。独自パンフレットの配布。</p> <p>2 社協職員による成年後見制度及び福祉サービス利用援助事業説明会の実施。</p> <p>① 市民向け事業説明会 平成30年 9月25日(火) 48人、平成30年10月18日(木) 29人、 平成30年10月20日(土) 20人、平成31年 2月24日(日) 8人、 平成31年 2月27日(水) 20人、平成31年 3月29日(金) 10人</p> <p>② 事業所向け事業説明会 平成30年 9月 5日(水) 20人、平成31年 2月21日(木) 9人 平成30年12月17日(月) 13人</p> <p>③ 生活支援員募集事業説明会 平成30年 5月31日(木) 5人、平成30年 8月30日(木) 5人、 平成30年11月29日(木) 5人、平成31年 2月14日(木) 1人、 平成31年 3月18日(月) 4人 合計20人</p>
ふくし法律 相談	<p>実施日：毎月、第3木曜日 午後1時30分～3時30分 場 所：総合福祉センター内 弁護士：第二東京弁護士会所属 弁護士 増田径子氏 対象者：高齢者、障がい者及びその家族等 相談人数および件数：16人、20件 相続について(4件) 財産管理について(4件) 遺言について(3件) 成年後見制度について(3件) その他(6件)</p>
講演会	<p>事業名：「司法書士による任意後見制度と遺言について」(2回シリーズ) 日 時：①平成30年6月6日(水)、②平成30年6月7日(木) いずれも午前10時～12時 場 所：関戸公民館 大会議室 講 師：司法書士 相田浩和氏 目 的：市民を対象に任意後見制度と遺言についての普及啓発を行う。 講演会を通じて権利擁護業務に必要な司法書士との連携の充実を図る。 内 容：司法書士より任意後見と遺言の制度概要や活用方法について連続して講演を行 った。 参加者：延べ34人</p> <p>事業名：「市民のための成年後見講座」 日 時：平成30年6月23日(土) 午前10時～12時 場 所：消費生活センター 講座室 講 師：弁護士 秋野達彦氏 目 的：市民を対象に成年後見制度の普及啓発を行う。 内 容：成年後見制度の活用(基礎編)について講演を行った。 参加者：25人</p> <p>事業名：「成年後見人等懇談会」 日 時：平成30年6月23日(土) 午後2時～4時 場 所：ベルブ永山3階 講座室 講 師：司法書士 森山哲也氏 目 的：後見業務における疑問等の解決を図り、合わせて後見人・保佐人・補助人及び 受任予定の市民の交流を促進することで、後見人等の支援を行う。 内 容：「成年後見人等としての活動のポイント」についての講演と情報交換会を行 った。</p>

	<p>参加者：8人</p> <p>事業名：「障がいのある方とその家族のための成年後見の集い」  日 時：平成30年7月9日（月）午前10時30分～12時30分  場 所：消費生活センター 講座室  講 師：行政書士 渡部伸氏  目 的：「障がいのある方」と「その家族」を対象に、成年後見制度の普及を図るとともに、制度に関する疑問等に対応することで利用を促進する。  内 容：障がい者の成年後見活用について講演を行った。  参加者：10人</p> <p>事業名：「司法書士による市民のための成年後見相談会」  日 時：平成30年7月9日（月）午後1時30分～4時40分  場 所：消費生活センター 講座室  相談員：（公社）成年後見センターリーガルサポート東京支部所属 司法書士3名  中村伸介氏、北村智史氏、吉村護氏  目 的：市民を対象に成年後見制度や遺言等の普及啓発を図る。  内 容：司法書士による成年後見制度や遺言に関する相談会を行った。  相談者数：2人</p> <p>事業名：「公証人による遺言と任意後見制度に係る相談会」  日 時：平成30年10月2日（火）・3日（水） いずれも午後2時40分～5時  場 所：多摩市総合福祉センター7階 705会議室  講 師：多摩公証役場公証人 長久保守夫氏  目 的：市民を対象に遺言や任意後見制度についての相談会を行う。  内 容：多摩公証役場の公証人より遺言や任意後見制度についての相談会を行った。  参加者：7人</p> <p>事業名：「成年後見人等懇談会」  日 時：平成30年11月30日（金）午後7時～9時  場 所：ベルブ永山3階 講座室  講 師：司法書士 入沢修自氏  目 的：後見業務における疑問等の解決を図り、合わせて後見人・保佐人・補助人及び受任予定の市民の交流を促進することで、後見人等の支援を行う。  内 容：「後見業務終了時の手続き」についての講演と情報交換会を行った。  参加者：19人</p> <p>事業名：「消費者被害予防講座—消費生活トラブルから身を守ろう—」  日 時：平成30年12月1日（土）午前10時～12時  場 所：ベルブ永山3階 講座室  講 師：落語家 立川がじら氏  多摩市消費生活センター相談員 大谷和子氏  目 的：高齢者・障がい者の消費生活トラブルを防ぐための注意点、トラブルの対応方法や権利擁護事業を用いた再発防止策について講演会を行う。  内 容：市民を対象に落語を交えながら詐欺や架空請求などのトラブル防止や成年後見制度について講演を行った。  参加者：26人</p> <p>事業名：「障がいのある方とその家族のための成年後見の集い」  日 時：平成31年1月11日（金）午前10時00分～12時00分  場 所：ベルブ永山3階 講座室</p>
--	---

	<p>講 師：弁護士 日高絢子氏      目 的：「障がいのある方」と「その家族」を対象に、成年後見制度の普及を図るとともに、制度に関する疑問等に対応することで利用を促進する。      内 容：精神障がい者の成年後見活用について講演を行った。      参加者：21人</p> <p>事業名：「市民のための成年後見講座」      日 時：平成31年3月9日（土）午前10時～12時      場 所：消費生活センター 講座室      講 師：弁護士 岡垣豊氏      目 的：市民を対象に成年後見制度の普及啓発を行う。      内 容：成年後見制度の活用（基礎編）について講演を行った。      参加者：20人</p> <p>事業名：「成年後見人等懇談会」      日 時：平成31年3月9日（土）午後2時～4時      場 所：ベルブ永山3階 講座室      発話者：司法書士 相田浩和氏      目 的：後見業務における疑問等の解決を図り、合わせて後見人・保佐人・補助人及び受任予定の市民の交流を促進することで、後見人等の支援を行う。      内 容：「被後見人等に係る支出範囲について」の講演と情報交換会を行った。      参加者：16人</p>
<p>専門研修会</p>	<p>事業名：生活支援員研修会      「生活保護制度について」      日 時：平成30年7月30日（月） 午後2時～4時15分      場 所：総合福祉センター7階 研修室      説明者：多摩市生活福祉課 職員      目 的：生活保護制度について学び、生活支援員、職員の知識の向上を図り、以て福祉サービス利用援助事業の質を向上させる。      内 容：多摩市生活福祉課職員から「生活保護制度について」の講演、その後意見交換・情報交換を行った。      対象者：生活支援員・職員      参加者：生活支援員21人、職員7人 計28人</p> <p>事業名：生活支援員研修会      「障害に係る福祉サービスについて」      日 時：平成31年1月31日（木）午後1時30分～3時30分      場 所：総合福祉センター7階 研修室      説明者：多摩市障害福祉課 職員      目 的：障害に係る福祉サービスについて学び、生活支援員、職員の知識の向上を図り、以て福祉サービス利用援助事業の質を向上させる。      内 容：多摩市障害福祉課職員から「障害に係る福祉サービスについて」の講演、その後意見交換・情報交換を行った。      対象者：生活支援員・職員      参加者：生活支援員18人、職員6人 計24人</p>

### 1 3 資金貸付事業

#### (1) 生活福祉資金（東京都社会福祉協議会受託事業）

単位：円

資金種別		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
相談総件数		952件	1,446件	1,628件	2,137件	2,114件
資金種別ごとの貸付内容	①福祉資金	3,748,360 (8件)	305,480 (4件)	3,330,000 (5件) ※辞退 2,023,000	58,000 (1件)	308,000 (2件)
	②緊急小口資金	200,000 (2件)	530,000 (7件)	200,000 (2件)	350,000 (4件)	100,000 (1件)
	③教育支援資金	8,850,000 (8件) ※辞退 1,365,000	26,470,000 (23件) ※辞退 5,660,000	67,587,000 (44件) ※辞退 3,372,000	79,202,500 (57件) 辞退 9,036,000	27,689,500 (23件) 辞退 10,000
	④総合支援資金		-	246,000 (1件)		420,000 (1件)
	⑤要保護世帯向け 不動産担保型 生活福祉資金		-	-	-	-
	合計	12,798,360 (18件)	27,305,480 (34件)	71,363,000 (52件)	79,610,500 (62件)	28,507,500 (27件)

#### (2)小口資金（多摩市社会福祉協議会独自事業）

不慮の出来事で、その出費に急を要するものに2万円を限度に資金を貸し付ける。

単位：円

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
相談件数		579件	869件	764件	688件	558件
貸付金額		486,000 (26件)	644,000 (36件)	505,000 (26件)	347,000 (23件)	250,000 (13件)
償還状況	当年度貸付分 償還金	292,000 (48件)	339,000 (55件)	372,000 (64件)	201,000 (29件)	164,000 (22件)
	過年度貸付分 償還金	279,000 (51件)	506,000 (97件)	315,000 (82件)	276,000 (62件)	158,000 (28件)

### (3)緊急援護事業（多摩市社会福祉協議会独自事業）

生活困窮者に対して、2,000円を限度に金品等を援助する。

単位：円

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
支給件数	19件	15件	10件	8件	4件
支給金額	10,500	1,500	2,000	4,500	1,000

※ 業務の一部は、多摩市健康福祉部生活福祉課に依頼して実施

※ 多摩市健康福祉部生活福祉課で、2件合計1,000円支給。残り2件は返還済。

### (4)ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業（東京都社会福祉協議会受託事業）

ひとり親の修学を支援し、資格取得と資格を活かした就職を促進して一人親家庭の自立を図る（平成28年12月開始）。

		28年度	29年度	30年度
相談件数		30件	16件	29件
貸付件数	① 入学準備金	1,000,000円 (2件)	500,000円 (1件)	—
	② 就職準備金	200,000円 (1件)	—	200,000円 (1件)
	合計	1,200,000円 (3件)	500,000円 (1件)	200,000円 (1件)

### (5)その他（フードバンク事業）

生活困窮者に対して、食糧を配布する。

	27年度	28年度	29年度	30年度
支給件数	20件	19件	31件	111件

※上表は貸付相談者に対して食糧を配布した件数

※30年度実績

◎食料品の寄付の受付（フードドライブ実績）

寄付件数：97件

◎食料品の配布状況（フードバンク実績）

貸付相談者配布件数：34件、生活困窮者支援団体への配布件数：77件

#### 14 収益事業の実施

一本杉公園、多摩東公園、資源化センター建物内、多摩市シルバー人材センター敷地内、福祉協力店（エリアティ、魚勇、新井歯科医院、K&K、チャットボックス、ポロン、高西寺）工事現場（西落合小学校改修工事現場、中沢都営住宅建設工事現場）に、自動販売機を設置し売上の一部が収益金となる。

単位：円

設置場所	ロケーションマージン額				
	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
一本杉公園（2台）	589,556	694,324	598,780	655,284	791,636
多摩東公園（1台）	372,756	419,400	395,752	366,936	363,216
資源化センター（1台）	260,348	238,296	240,648	202,076	201,216
シルバー人材センター(1台)	52,844	48,888	37,588	43,000	30,924
魚勇（1台）	-	-	-	322	4,157
新井歯科医院（1台）	-	-	-	12,649	27,443
K&K（1台）	-	-	-	75,159	181,476
チャットボックス（1台）	-	-	-	15,098	31,361
ポロン（1台）	-	-	-	1,120	15,207
高西寺（1台）	-	-	-	1,790	23,227
エリアティ（1台）	-	-	-	2,915	25,365
西落合小学校改修工事現場					64,237
中沢都営住宅建設工事現場					9,372
ジャパンビバレッジ					112
合計	1,275,504	1,400,908	1,272,768	1,376,349	1,768,949

※ ロケーションマージン額：平成26年度より販売品売上単価の1%～40%（設置場所により異なる）を販売手数料としており、商品により1本当たり1円～60円の収益がある。

※ 平成30年度より西落合小学校改修工事現場に平成30年7月設置、中沢都営住宅建設工事現場平成30年10月設置。上記売り上げは、設置月からの金額

※ 自動販売機の管理会社は、西都ヤクルト販売㈱、コカ・コーライーストジャパン㈱、東京キリンビバレッジ㈱

## 15 老人福祉センター事業（多摩市受託事業）

### （1）概要

目的	市内在住の満60歳以上の方に、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションなどの事業を実施するとともに、高齢者団体の活動を支援し、健康で明るい生活を過ごしていただく。
事業開始	平成9年4月1日（受託事業開始）
対象	市内在住の満60歳以上の方（H31.3.31現在、50,094人）
実施場所	多摩市総合福祉センター内
内容	<p>① 業務日時</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●月曜日から土曜日[年末年始・日曜日・祝日・第2土曜日を除く日]の午前9時から午後5時まで</li> </ul> <p>② 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●趣味、教養、健康増進などの教室・講座 陶芸 英会話 折り紙 書道 ペン字 料理 絵手紙 キーボードちぎり絵 オカリナ 俳句 バルーンアート パソコン らくらく運動 からだのしくみと簡単体操 太極拳 健身気功 がんばりすぎない健康体操 体幹ストレッチヨガ 3B体操 水中運動 等</li> <li>●行事等の開催 春の発表会 囲碁の日 カラオケの日 世代間交流事業 将棋大会 囲碁大会 南なん亭 元気チェック、映画の日等</li> </ul>

### （2）契約状況等

区分	平成30年度		平成29年度	
	内容	備考	内容	備考
契約年月日	平成30年4月1日		平成29年4月1日	
概算契約金額	38,647,000円		37,558,000円	
契約変更年月日	平成31年1月7日		平成30年1月9日	
変更契約金額	37,188,000円		35,558,000円	



### (3) 収支の状況

#### ① 収入の状況

単位：円

区 分	平成30年度				平成29年度			
	予算現額	収入済額	予算残額	執行率 (%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率 (%)
受託金収入	37,188,000	35,463,170	1,724,830	95.3	35,558,000	33,843,546	1,714,454	95.2
参加費収入	560,000	523,188	36,812	93.4	488,000	492,900	△4,900	101.0
利用料収入	455,000	446,800	8,200	98.2	449,000	453,150	△4,150	100.9
受取利息配当金収入	15,000	276	14,724	1.8	15,000	256	14,744	1.7
合計	38,218,000	36,433,434	1,784,566	95.3	36,510,000	34,789,852	1,720,148	95.3

#### ③ 支出の状況

単位：円

区 分	平成30年度				平成29年度			
	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)
人件費	30,445,000	28,939,738	1,505,262	95.0	28,910,000	27,669,215	1,240,785	95.7
事業費	5,263,000	5,124,465	138,535	97.4	5,054,000	4,817,770	236,230	95.3
事務費	600,000	475,715	124,285	79.2	623,000	422,736	200,264	67.9
退職積立金	1,895,000	1,893,240	1,760	99.9	1,908,000	1,879,875	28,125	98.5
拠点区分間繰入金	15,000	276	14,724	1.8	15,000	256	14,744	1.7
合計	38,218,000	36,433,434	1,784,566	95.3	36,510,000	34,789,852	1,720,148	95.3

### (4) 利用状況

#### ①平成30年度実績

単位：人

	平成30年度（平成29年度）							月別合計
	施設利用者	寿大学 (文化・教養)	寿大学 (健康推進)	その他事業	同好会活動	老人クラブ	相談業務	
4月	3,444 (3,702)	0 (0)	25 (47)	47 (18)	2,836 (2,916)	176 (184)	15 (4)	6,543 (6,871)
5月	3,521 (3,550)	434 (358)	237 (206)	75 (53)	2,420 (2,325)	190 (207)	13 (21)	6,890 (6,720)
6月	3,681 (3,845)	480 (476)	233 (232)	60 (41)	2,738 (2,670)	162 (152)	12 (46)	7,366 (7,462)
7月	3,460 (3,610)	503 (372)	270 (201)	78 (101)	2,510 (2,634)	111 (107)	9 (24)	6,941 (7,049)
8月	3,660 (3,729)	178 (197)	255 (248)	112 (118)	2,014 (2,027)	177 (158)	7 (33)	6,403 (6,510)

9月	3,009 (2,601)	345 (388)	173 (206)	128 (82)	2,398 (2,624)	84 (73)	10 (23)	6,147 (5,997)
10月	3,626 (3,002)	520 (556)	313 (214)	226 (215)	2,510 (2,606)	142 (132)	3 (14)	7,340 (6,739)
11月	3,394 (3,648)	435 (404)	295 (245)	130 (76)	2,472 (2,553)	335 (194)	9 (27)	7,070 (7,147)
12月	3,293 (3,456)	308 (284)	213 (158)	161 (268)	2,399 (2,473)	131 (115)	7 (45)	6,512 (6,799)
1月	3,291 (3,243)	503 (336)	206 (176)	152 (89)	2,069 (1,906)	150 (161)	3 (16)	6,374 (5,927)
2月	3,316 (3,445)	328 (247)	185 (109)	2,421 (2,170)	1,984 (1,742)	247 (417)	7 (33)	8,488 (8,163)
3月	3,546 (3,717)	214 (86)	207 (132)	73 (66)	2,629 (2,528)	70 (71)	6 (6)	6,745 (6,606)
事業別 合計	41,241 (41,548)	4,248 (3,704)	2,612 (2,174)	3,663 (3,297)	28,979 (29,004)	1,975 (1,971)	101 (292)	82,819 (81,990)

②過去5年間の状況

単位：人

区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
施設利用者	51,277	49,615	49,381	41,548	41,241
寿大学（文化・教養）	3,929	3,887	3,329	3,704	4,248
寿大学（健康推進事業）	3,060	3,276	3,070	2,174	2,612
その他事業	2,928	2,736	3,022	3,297	3,663
同好会活動	29,076	29,828	29,330	29,004	28,979
老人クラブ	1,471	1,629	1,867	1,971	1,975
相談業務	50	50	55	292	101
合計	91,791	91,021	90,054	81,990	82,819

※平成29年度、浴室ろ過清掃で計12日間浴室と休憩室を閉鎖。その間の施設利用実績減。

③平成30年度事業詳細

事業	内容
寿大学	<p>(1) 文化・教養</p> <p>【通年】英会話入門、書道入門、キーボード（ピアノ）入門、中国語入門(新規)</p> <p>【前期】折り紙、絵手紙、バルーンアート</p> <p>【後期】オカリナ、ちぎり絵、ペン字、俳句</p> <p>【前期・後期】料理（男性限定）、陶芸入門、</p> <p>【短期】パソコン講座、(初めてのパソコン、ワード・エクセル初級 他)</p>

	<p><b>【世代間交流事業】</b>  バルーンアート（参加者 13 人）、陶芸教室（参加者 10 人）（新規）</p> <p><b>【生活に役立つ講座】</b>  フレイル予防について（参加者 21 人）  認知症サポーター養成講座（参加者 27 人）  エンディングノート活用法（参加者 47 人）  高齢者の見守り（参加者 7 人）  認知症はじめて教室（全 3 回 参加者のべ 134 人）（新規）  社協の有償活動合同説明会（参加者 16 人）（新規）</p> <p>（2）健康推進</p> <p><b>【前期】</b> らくらく運動（自彊術）、太極拳、健身気功、  体幹ストレッチヨガ</p> <p><b>【後期】</b> 3B 体操、ヨガ、体幹ストレッチトレーニング（新規）、  リズムダンス（新規）</p> <p><b>【短期】</b> ハツラツ教室（水中運動・延べ 419 人が参加）</p> <p><b>【健康に関する講座】</b>  体幹筋力&amp;深呼吸トレーニングを学ぼう！（男性限定）（参加者 27 人）</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・囲碁の日（毎月第 3 月曜日・午後 1 時 15 分から 3 時 30 分）</li> <li>・囲碁大会（参加者 24 人）</li> <li>・映画の日（毎月第 1・3 火曜日・午後 1 時 30 分）</li> <li>・バリアフリー映画上映会（10 月・1 月実施 来場者数 74 人）</li> <li>・カラオケの日（毎月第 1 金曜日・午前）</li> <li>・おしゃべりサロン（毎月第 2 木曜日・午前）</li> <li>・元気チェックの実施（合計 6 回実施 第 4 水曜日・午前）</li> <li>・春の発表会（来場者数 2,544 人）</li> <li>・将棋大会（参加者 23 人）</li> <li>・ビリヤードの日（毎月第 3 金曜日・午後）（新規）</li> </ul>
同好会	<p>64 団体（うち 3 団体新規）</p> <p>① 健康 20 団体（ダンス、体操、卓球、太極拳など）</p> <p>④ 文化 44 団体（英会話、編み物、キーボード、カラオケ、パソコンなど）</p>

## 16 障がい者地域活動支援センター事業（多摩市受託事業）

### (1)概要

目的	市内在住の障がいのある方や家族等を対象とした事業の実施、情報提供、福祉サービス利用の援助を行い、障がいのある方の社会参加、自立への援助を図る。
事業開始	平成24年4月1日（受託事業開始）
対象	市内在住の障害者手帳所持者(※)と家族、市内の障がい者団体 障害者手帳所持者数 7,038人 (身体4,339人 知的1,076人 精神1,623人) 平成31年3月末日現在
実施場所	多摩市総合福祉センター内
内容	<p>① 業務日時 月曜日から土曜日まで〔第2土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始を除く〕の午前8時30分から午後5時まで</p> <p>② 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●基礎的事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・趣味や生きがい活動の支援（教養講座など）</li> <li>・在宅障がい者デイサービス事業</li> <li>・社会との交流の場の提供（同好会活動、カラオケの日、言語グループ活動など）</li> </ul> </li> <li>●機能強化事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援事業（福祉サービスの利用援助等）</li> <li>・各種相談事業（パソコン相談など）</li> <li>・水浴訓練室事業（水中機能訓練など）</li> <li>・入浴サービス（通所入浴・訪問入浴）</li> <li>・普及啓発事業（障がい者と共にひとときの和、講演講座など）</li> </ul> </li> <li>●高次脳機能障害者支援促進事業（平成28年9月より事業開始） <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援</li> <li>・関係機関との連携</li> <li>・社会資源の把握・開拓</li> <li>・広報・普及啓発</li> </ul> </li> <li>●その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルプカードの配布、疑似体験学習への協力など</li> </ul> </li> </ul>

(2) 契約状況等

単位：円

	平成30年度				平成29年度			
区分	内容				内容			
契約年月日	平成30年4月1日				平成29年4月1日			
	地域活動支援センター				地域活動支援センター			
	基礎的 事業	機能強化 事業	高次脳機能 障害者支援 促進事業		基礎的 事業	機能強化 事業	高次脳機能 障害者支援 促進事業	
契約金額	90,508,000	28,377,000	58,029,000	4,102,000	89,113,000	28,445,000	56,566,000	4,102,000
契約変更日	平成31年1月15日				平成30年1月15日			
変更契約金	87,308,000	27,377,000	55,829,000	4,102,000	87,913,000	28,295,000	55,516,000	4,102,000

(3) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

	平成30年度				平成29年度			
区分	予算現額	収入済額	予算残額	執行率 (%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率 (%)
受託金収入	87,308,000	81,865,118	5,442,882	93.7	87,913,000	83,969,920	3,943,080	95.5
参加費収入	22,000	16,700	5,300	75.9	22,000	18,500	3,500	84.0
利用料収入	444,000	121,944	322,056	27.4	429,000	126,916	302,084	29.5
計画相談支援給付費	4,000,000	6,509,964	△2,509,964	162.7	4,000,000	6,890,638	△2,890,638	172.2
合計	91,774,000	88,513,726	3,260,274	96.4	92,364,000	91,005,974	1,358,026	98.5

② 支出の状況

単位：円

	平成30年度				平成29年度			
区分	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)
人件費	72,428,000	70,343,245	2,084,755	97.1	72,335,000	70,170,774	2,164,226	97.0
事業費	13,039,000	9,682,289	3,356,711	74.2	13,509,000	11,856,898	1,652,102	87.7
事務費	1,943,000	1,616,883	326,117	83.2	2,188,000	1,757,054	430,946	80.3
退職積立金	2,664,000	2,661,345	2,655	99.9	2,632,000	2,630,610	1,390	99.9
拠点区分間繰入金	1,700,000	4,209,964	△2,509,964	247.6	1,700,000	4,590,638	△2,890,638	268.4
合計	91,774,000	88,513,726	3,260,274	96.4	92,364,000	91,005,974	1,358,026	98.5

(4) 利用登録状況

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
登録人数		—	—	—	105人	121人
	(内訳) 身体	83人	143人	161人	72人	70人 <small>(身体・知的重複4人含む)</small>
	知的	5人	25人	29人	12人	18人
	精神	14人	17人	25人	4人	5人
	手帳無	12人	21人	41人	17人	32人
※H26-28は登録延人数の内訳				※年度の登録人数の内訳		
登録延人数		114人	200人	240人	273人	318人
利用延人数		12,598人	12,289人	13,442人	14,984人	5,460人

※登録延人数・内訳ともに平成27年度以降は重複有

※登録人数・内訳ともに平成29年度より年度の人数に変更

(5) 実施状況

【基礎的事業】

① 趣味や生きがい活動の支援（教養講座など） \*参加延人数

・パソコン教室 延べ36回開催 90人参加

コース	内容	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	年間
木曜コース 年3回 (各4回) 延12回	身体、精神障がい、視覚障がい者を対象にレベルに応じて基礎から指導	5/10～31 9人 ワードで チラシ作成	7/5～26 8人 エクセルでカ レンダー作成	10/4～25 6人 年賀状	1/19～ 2/16 11人 エクセルでカ レンダー作成	54人
土曜コース 年3回 (各4回) 延12回		6/2～30 12人 ワードで チラシ作成		11/17～ 12/15 8人 年賀状		
視覚障がい コース 年3回 (各4回) 延12回	音声機能付きソフトで文 章作成やインターネット の操作方法等		9/6～27 12人 マイエデ ィット	11/15～ 12/6 15人 年賀状	2/14～ 3/7 9人 ネットリーダ ー	36人

・体操教室 延べ40回開催 451人参加

成人向け 体操教室 前期・後期 各10回 延20回	・ボール、タオルを使い椅子に座りながらの体操 ・身体、精神障がい者が参加し、無理なく身体を動かすことで機能の維持向上と交流を図る	前期 5月～9月 105人 第1四半期 39人 第2四半期 66人	後期 10月～2月 109人 第3四半期 76人 第4四半期 33人	214人
親子体操 教室 前期・後期 各10回 延20回	・心身の発達の気になる子どもと保護者がボールなどの道具を使い身体を動かしながら共に楽しむ ・4～7歳の子どもが参加	前期 5月～9月 112人 第1四半期 41人 第2四半期 71人	後期 10月～3月 125人 第3四半期 56人 第4四半期 69人	237人

・陶芸教室 延べ5回開催 16人参加

陶芸教室	・干支の置物、オリジナルの器の制作 ・身体、精神障がい者が参加し、創作を楽しみながら交流を図る	*11/19～12/17 作陶4回・作品渡し1回 ・干支(亥)の置物とオリジナルの器作成 ・ワークショップ「テラリウムの制作」	16人
------	--	--	-----

② 在宅障がい者デイサービス事業 毎週水・金曜日 定員：8人

・利用人数 3人：手帳所持者2人(身体2人)  
新規利用者1人(H30.10.24開始)  
利用終了者1人(H30.9.28終了)  
・開設日数101日 延利用者数255人

内 容		回 数	詳 細
基本事業 (訓練等)	機能訓練	OT(機能訓練)	70回延181人
		歩行訓練	19回延39人
		その他	1回延2人
	社会 適 応 訓 練	ST(言語訓練)	19回延47人
		外出訓練	5回延8人
		行事企画・実行	21回延54人
		記憶訓練	12回延29人
		パソコン	1回延1人
		調理訓練	3回延9人
		個別訓練等	3回延7人
その他	15回延35人		
創作活動	作業(作品製作)	17回延43人	
	書画	12回延29人	
	その他	2回延5人	
アクティ ビティ	カラオケ	12回延32人	
	ゲーム他	11回延31人	
	その他	5回延13人	
入浴	入浴サービス	0人	
付属	給食サービス	94日延233人	

送迎サービス	101 日延 254 人
--------	--------------

### ③ 社会との交流の場の提供（同好会活動、カラオケの日、在宅生活支援など）

事業名	実施日	参加延人数
同好会 憩書道	第1・3月曜日 全17回	138人
カラオケの日	第4土曜日午前	30人
言語訓練・精神グループ活動	言語訓練：失語症のある方を対象としたおしゃべりのグループ水曜日/112人 精神グループ活動：統合失調症を主診断とする方を対象木曜日/7月開始3人	115人

#### 【機能強化事業】

##### ① 相談支援事業（一般相談）電話、来所、訪問、その他による相談支援

相談者状況：170件（123） 内訳：身体44人、知的29人、精神64人、手帳等なし33人  
 相談内容：精神障がいの方の不安時の電話相談に対する傾聴。障害福祉サービスを利用していない方の継続的な支援。定期訪問による本人・家族の継続的な見守り。  
 経済困難の相談やどこかに通いたい。関係機関からの相談や専門の相談窓口についての相談など

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期数	年間
新規継続含む延人数	286人	436人	476人	266人	1,464人（1117）
来所	43人	42人	46人	27人	158人（84）
電話	179人	307人	345人	181人	1,012人（790）
訪問	23人	33人	31人	24人	111人（94）
同行	11人	16人	14人	10人	51人（29）
メール	30人	38人	40人	24人	132人（115）

※（ ）は前年度

##### ② 各種相談事業 参加延人数

相談会名	協力団体・内容	実施日	年間
パソコン相談会 パソコンボランティア多摩	パソコン操作やトラブルに関する個別相談	第1～4 火曜日	160人
聞こえと補聴器の相談会 *共催 NPO法人多摩市聴覚障がい者情報活動センター	言語聴覚士による聴力検査、補聴器や日常生活用具等に関する相談	年3回 4/22、9/22 11/24	31人
親なきあと個別相談 渡部行政書士事務所 代表/ 渡部伸氏	法制度やサービス内容について相談にのり子の将来の準備を行う機会とする	毎月 第3水曜日	19人
言葉のこと相談	言語聴覚士による言葉と嚙下に関する個別相談	毎週 水曜日	18人
唐木田児童館 言葉の相談「ほっとたいむ」	来館の子や保護者に言語聴覚士がコミュニケーションをとりながら、言葉に関する心配事などを聞く	毎月 第1水曜日 *6月開始	14人



### ③ 水浴事業

事業名		実施日	参加延人数	内 容
水中機能訓練		火・木曜日 前期 各 21 回 (4~9月) 後期 各 20 回 (10~3月)	484 人 (648)	水の特性を利用したりハビリや機能維持・向上のための水中運動*手帳所持者 脳出血・脳梗塞後遺症、関節リウマチ、変形性股(膝)関節症、パーキンソン病等 ・送迎サービス有
水中機能訓練 フォローアップ		後期 午前/午後	6 人 (5)	水中機能訓練修了者が、自主訓練(個人貸し) 移行後の再修正の機会を設ける
子ども水中運動 のびのびクラス		水曜日午後 ・1期・2期 各 7 回 ・開放プール 3 回	128 人 (143)	水慣れを中心とした水中運動とレクリエーション*対象は心身の発達が気になり、一人でプールを利用できる3歳~小学2年生、主に発達障がいなど。
貸出 水浴 訓練 室	個人貸出	月・金曜日 午前/午後	1049 人 (986)	主に水中機能訓練修了者を対象とした自主訓練
	団体貸出	土曜日 午前/午後	86 人 (104)	団体登録 3 団体

### ④ 入浴サービス事業

事業名	実施延人数	その他
通所入浴サービス	253 人 (287)	福祉センター内施設での機械浴 ※送迎サービス有・デイ利用者含む 身体、知的
訪問入浴サービス	210 人 (347)	訪問入浴事業者への再委託により実施 身体、知的

### ⑤ 普及啓発事業

ア) 総合福祉センターだより発行状況 (月 1 回発行) ※老人福祉センター事業含む				
発行部数	総発行部数	設置・送付箇所	主な設置・送付箇所	
660 部	7,920 部	80 箇所	市内公共施設 (公民館、コミュニティセンター)、関係機関等 *病院・相談事業所等新規 30 か所	
イ) 多摩市福祉交流会「障がい者と共にひとときの和」				
実施日	開催校	参加人数	内 容	参加協力団体
H30.10.22 実施	東落合 小学校	全学年 371 人 *各種体験 4~6 年生 202 人	・障がい者理解に関する話 (体の話、目の話、耳の話、身体障がい当事者の話) ・各種体験	・NPO 法人多摩市身体障害者福祉協会/アートひまわり ・多摩市視覚障がい者福祉協会 ・多摩市聴覚障害者協会 ・多摩市点字サークルトータス ・多摩市手話サークルクローバー

H30. 10. 29 実施	第一小学校	全学年 727 人 * 各種体験 4 年生 138 人	(車いす、手話、 点字、福祉車輻 ・介助犬講話とデ モンストラーション	・男性ボランティア会議 ・トヨタ西東京カローラ(株) ・社会福祉法人日本介助犬協会 他
<b>ウ) 福祉機器展示コーナー</b>				
・車いす、クッション、シルバーカー、杖、靴、シャワーチェア ー、すべり止めマット等の展示 ・福祉機器等に関する情報提供			相談延人数 4 人	
<b>エ) 講演会</b>				
「家族会活動から考えるひきこもるわが子への対応について」 平成 31 年 2 月 16 日・3 月 30 日 (家族懇談会) 実施予定 主催 不登校・ひきこもり家族会 NPO 法人 楽の会リーラ 共催 多摩市社会福祉協議会			参加者 2 月 16 日 80 人 3 月 30 日 28 人	
<b>オ) 障がい者スポーツ体験</b>				
H30. 10. 13	イベント「ロービジョンフットサル*体験会」実施 視覚障がい疑似体験 (弱視) ゴーグルを使用して、 障がい者スポーツ指導員の指導のもと、ロービジョ ンフットサル体験を実施。場所はフットサルステー ジにて開催。		講師：NPO 法人 LINKS UNIVERSAL SPORTS 設立準備事務局 副事務局長 栗橋 健氏 他 2 人 参加者 14 人	
H30. 10. 21	福祉フェスタ「サウンドテーブルテニス」「ボッチ ャ」実施 来館者へ障がい者スポーツの体験を通して、障がい 者理解の普及啓発を図る。福祉センターにて開催。		協力：トヨタ西東京カローラ(株) (ボッチャ借用)	

### 【高次脳機能障害者支援促進事業】

<b>①相談事業</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談人数・件数 新規相談者数：20 人 相談延人数：直接相談 (面接/訪問/同行) 98 人 電話等相談 556 人 計 654 人 (前年度比+78 人)</li> <li>相談者内訳：本人、家族、医療機関、関係機関等から相談</li> <li>相談内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・症状についての問い合わせや病院紹介・診断のための受診同行</li> <li>・手帳取得や福祉サービス利用のための関係機関への同行</li> <li>・障がいデイサービスの見学 ・関係機関へ資料送付</li> </ul> </li> <li>・土曜相談日の実施 毎月第 1 土曜日午後</li> <li>・医師によるケース検討会の実施 2 回 (支援者向け、家族会向け) 事業所の職員や家族に対し医療の立場からのアドバイスをいただいた。</li> </ul>
<b>②関係機関との連携</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係者連絡会 第 1 回 H30. 6/15 19 団体 28 名 第 2 回 H30. 9/14 12 団体 23 名 第 3 回 H31. 3/15 13 団体 23 名</li> <li>・見学会 …NPO 法人多摩草むらの会 7/11、25 計 25 名 多摩丘陵病院 2 月に予定したが延期</li> <li>・医療機関への訪問・連携 多摩南部地域病院訪問 5/16 2 名</li> <li>・研修会での報告 (主催：南多摩) 取り組み発表 5/30 約 70 名参加</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・症例検討会（主催:南多摩） 事例提供 2/10 参加5名(発表3名)</li> <li>・支援者向け勉強会の開催 「高次脳機能障害を改善するための認知リハビリテーション」 3/16 28名</li> <li>・関係者への周知 民生委員協議会 10月 リーフレット配布を配布し相談窓口や事業について周知</li> <li>・市障害福祉課との打合せ 3回</li> <li>・南多摩高次脳機能障害者支援普及事業協力施設会議への参加（毎月）</li> <li>・家族会への参加（らーふの会・こだま） 随時</li> </ul>
③社会資源の把握・開拓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日中活動系事業所、就労移行支援事業所・グループホームの訪問・見学</li> <li>・専修大学心理教育相談室 見学訪問 9/10 2名</li> <li>・在宅障がい者デイサービスでの受入れ 1名（見学3名） 社会適応訓練等の他東京医療学院大学/恵泉女学園大学 学生との交流会など</li> <li>・言語訓練(グループ・個別) 4名参加 言語グループへの失語症会話パートナー派遣 H31年3月より開始 月2回程度</li> <li>・グループ活動 5月～3月 第1土曜日 10時～14時 7名参加 講師によるリフレッシュヨガ、音楽療法の後、ランチタイムや簡単なゲーム等により参加者の交流が深まる場面を設定した。11月に音楽活動を発表。</li> </ul>
⑤ 広報・普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南多摩医療圏域による支援マップ作製への協力</li> <li>・市民向け講演会 11/17「高次脳機能障害を知っていますか～思いを伝えよう！失語症会話パートナーとともに」 61名参加</li> <li>・「No Plobrem」(脳損傷) in 南多摩 11/14 (主催:南多摩)当事者による講演や舞台発表の場で、グループ活動「ほのぼのバンド」参加者6名が発表した</li> <li>・社協広報誌への掲載(総合福祉センターだより 毎月)</li> <li>・社協ホームページへの掲載</li> <li>・社協福祉なんでも相談等でのミニ講座など</li> <li>・各種社協イベントでの周知 (福祉フェスタ、市総合防災訓練等での資料配布、リーフレットの配架など)</li> <li>・福祉センター3階 図書情報コーナー/関連書籍の購入と貸出</li> </ul>

## 【その他】

### ① ヘルプカードの配布 (配布数)

配布場所：多摩市役所障害福祉課、多摩市地域活動支援センターの一ま

社協（総合福祉センター3階・多摩ボランティア・市民活動支援センター）

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年間
身体障害	27人	39人	28人	31人	120人
知的障害	14人	13人	14人	9人	46人
精神障害	27人	27人	18人	26人	95人
難病	3人	5人	6人	3人	17人
高齢	1人	1人	2人	2人	5人
その他	21人	3人	33人	46人	103人
合計	93人	87人	101人	117人	386人

## ② 協力事業

	事業名	実施日	内 容
1	福祉課訪問 (多摩桜の丘学園主催)	H30. 7. 24	高等部3年生の生徒に対し、卒業後の支援機関として地域活動支援センターについての説明を行った。
2	障害福祉サービス学習会 (多摩市介護保険事業者連絡協議会ケアマネ部会主催)	H30. 9. 19	介護保険サービス提供事業者に対し、社会福祉協議会で提供している障害福祉サービス(主に地域活動支援センター・計画相談)についての説明を行った。
3	会員向け学習会(傾聴ボランティア福寿草主催)	H30. 10. 17	言語聴覚士を派遣し、高齢者の難聴とコミュニケーションについて講話を行った。
4	映画「ちづる」自主上映会/大妻女子大学文化祭	H30. 10. 20	重度の知的障害と自閉症のある当事者のドキュメンタリー映画を午前・午後の2回上映した。
5	多摩中学校避難所宿泊訓練	H30. 10. 26	中学2年生対象に避難所におけるサポート方法として車椅子・視覚障がい者疑似体験を行った。
6	唐木田菖蒲館福祉部会主催/福祉セミナー	H31. 2. 27	言語聴覚士を派遣し、高齢者の難聴とコミュニケーションについての講話と多摩市聴覚障がい者情報活動センター協力により簡単な手話を学んだ。

### 【指定特定相談支援事業】 福祉サービス等利用計画の作成

障がいのある方が様々なサービスの利用を通じて希望する生活の実現や目標の達成に向けて、生活の中で解決すべき課題や支援の内容を本人と相談しながら具体的にプランを立てていく。

総契約数：183人（168）

相談形態：来所 206 件、電話 4702 件、訪問 1438 件、同行 179 件、メール 356 件

のべ件数 6881 件

( ) は前年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期
契約件数	0 (5)	1 (2)	2 (9)	3 (3)	4 (1)	6 (2)	16 (22)
計画作成数 (新規、モニタリング)	34 (33)	28 (39)	26 (39)	45 (54)	31 (46)	32 (34)	164 (211)
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約件数	4 (1)	3 (1)	3 (1)	2 (2)	2 (0)	2 (6)	32 (33)
計画作成数 (新規、モニタリング)	40 (38)	34 (27)	37 (29)	50 (40)	41 (34)	34 (22)	400 (401)

## 17 同行援護事業

### (1) 概要

目的	視覚障がいにより、移動に著しい困難を有する障がい者等に対し、同行援護従事者を派遣し、移動時及びそれに伴う外出先において必要な視覚的情報の支援（代読、代筆を含む）を行う。外出先において必要な移動の援護や排泄等必要な介助を行うことにより、社会参加、及び自立支援を行うことを目的とする。
対象者	多摩市より障害福祉サービス受給者証の交付を受けた者。 ※多摩市における視覚障がい者278人（平成31年3月末現在） 内契約者47人(16.9%)（平成31年3月末現在）*新規契約者8人
同行援護従事者	同行援護従業者養成研修（一般過程）を修了した者。 居宅介護の従事者要件を満たす者については特例措置あり。 ※登録者数 27人（平成31年3月末現在）*新規登録者3人

### (2) 収支の状況

#### ① 収入の状況

単位：円

区分	平成30年度				平成29年度			
	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)
介護給付費	13,331,000	13,423,019	△92,019	100.6	13,125,000	12,567,828	557,172	95.7
利用料負担金	112,000	200,271	△88,271	178.8	129,000	190,740	△61,740	147.8
受取利息配当金	2,000	27	1,973	1.3	2,000	27	1,973	1.3
合計	13,445,000	13,623,317	△178,317	101.3	13,256,000	12,758,595	497,405	96.2

#### ② 支出の状況

単位：円

区分	平成30年度				平成29年度			
	予算現額	支出済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率(%)
人件費	3,338,000	3,156,530	181,470	94.5	3,194,000	3,104,058	89,942	97.1
事業費	9,407,000	7,857,575	1,549,425	84.4	9,327,000	8,009,200	1,317,800	85.8
事務費	700,000	530,407	169,593	75.7	735,000	512,087	222,913	69.6
合計	13,445,000	11,544,512	1,900,488	85.8	13,256,000	11,625,345	1,630,655	87.7

### (3) 同行援護活動実績

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
契約者数 (うち身体介護有)	42人 (5人)	44人 (9人)	41人 (8人)	48人 (10人)	47人 —

利用人数	350人 (月平均 29.1人)	353人 (月平均 29.4人)	325人 (月平均 27.1人)	331人 (月平均 27.6人)	344人 (月平均 28.7人)
派遣回数	2,404回 (月平均 200.3回)	2,239回 (月平均 186.6回)	2,035回 (月平均 169.6回)	1,800回 (月平均 150回)	1,931回 (月平均 160.9回)
派遣時間	7,288時間 (月平均 607.3時間)	7,234時間 (月平均 602.8時間)	6598.5時間 (月平均 549.9時間)	6216.5時間 (月平均 518時間)	6393.5時間 (月平均 532.8時間)
活動者数	256人 (月平均 21.3人)	289人 (月平均 24.1人)	299人 (月平均 24.9人)	276人 (月平均 23人)	308人 (月平均 25.7人)
同行援護登録従事者	29人	30人	27人	29人	27人

#### (4) 同行援護従事者研修会

開催日時	第1回 H30.11.19 第2回 H30.11.21 ※両日とも同内容
場 所	総合福祉センター及びその周辺
内 容	車いすの基本操作について(演習) 車いすの基本操作や建物内・屋外での支援方法や注意点について職員より説明を行い、操作体験を行った。
参加者	第1回 11名、第2回 5名 *第1.2回目不参加の方へフォロー研修 5名 計21名

#### (5) 同行援護従事者懇談会

開催日時	H31.2.21 多摩市総合福祉センター4階
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>最新の同行援護の現状について</li> <li>多摩市社会福祉協議会 権利擁護センターより情報提供</li> <li>情報交換</li> <li>平成31年度の登録申請について</li> </ul>
参加者	計 9名

## 18 意思疎通支援（手話通訳者派遣）事業（多摩市受託事業）

### (1) 概要

目的	聴覚障がい者及び言語障がい者（以下「聴覚障がい者等」という）が、他者との意思疎通を円滑にするため、手話通訳を必要とする場合に、手話通訳者を派遣すること及び手話通訳に係わる交通費を助成することにより、聴覚障がい者等の地域での自立生活及び社会参加を促すことを目的とする。
対象者	① 多摩市地域生活支援事業要綱第3条の規定を満たし、かつ、市に居住する聴覚、音声又は言語機能障害のため身体障害者手帳を所持する者。 ② 市に事務所を有する聴覚障がい者等団体。 ③ ①に該当する者が複数参加することが見込まれている講演会その他事業の主催者 ④ その他市長が特に認めた者。 ※多摩市における聴覚障害者・平衡機能障害者手帳所持者数431人（平成31年3月末現在）内利用登録者数116人（26.9%）
利用時間の制限	手話通訳者等の派遣・・・・・・・・原則月20時間
手話通訳者	① 多摩市登録手話通訳者…手話通訳士又は手話通訳者全国统一試験に合格した市内在住の満20歳以上の者で、多摩市長が手話通訳者として認定した者。※登録者数30人（平成31年3月末現在） ② 東京手話通訳等派遣センター登録手話通訳者 ※専門的な内容に関わる場合で、利用者が希望する場合に派遣。

### (2) 契約状況等

区分	平成30年度		平成29年度	
	内容	備考	内容	備考
契約年月日	平成30年4月1日		平成29年4月1日	
概算契約金額	10,176,000円		9,902,000円	

### (3) 収支の状況

#### ③ 収入の状況

単位：円

区分	平成30年度				平成29年度			
	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)
受託金収入	10,176,000	8,268,833	1,907,167	81.2	9,902,000	8,425,494	1,476,506	85.0
受取利息配当金収入	1,000	19	981	1.9	1,000	26	974	2.6
合計	10,177,000	8,268,852	1,908,148	81.2	9,903,000	8,425,520	1,477,480	85.0

## ④ 支出の状況

単位：円

区 分	平成30年度				平成29年度			
	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)
人件費	4,227,000	4,006,647	220,353	94.7	4,020,000	3,860,181	159,819	96.0
事業費	5,220,000	3,731,940	1,488,060	71.4	5,194,000	4,061,030	1,132,970	78.1
事務費	729,000	530,246	198,754	72.7	688,000	504,283	183,717	73.3
拠点区分間繰入金	1,000	19	981	1.9	1,000	26	974	2.6
合計	10,177,000	8,268,852	1,908,148	81.2	9,903,000	8,425,520	1,477,480	85.0

## (4) 多摩市登録手話通訳者の活動実績

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
利用登録者	103人	104人	104人	122人	116人
登録手話通訳者	34人	36人	34人	32人	30人
派遣件数(市・都)	1,228件	1,160件	1,048件	1,104件	1,043人
派遣時間(市)	2,011時間 53分	1,692時間 59分	1,888時間 47分	1,819時間 34分	1,664時間 47分
派遣者活動人数(市)	242人	241人	246人	259人	261人

## (5) 手話通訳者研修会

## ① 外部講師による研修会(全6回) 参加延人数101人

講師：東京手話通訳等派遣センター

内容：講義/通訳制度の現状、通訳者の健康、事例検討、場面通訳(医療2回・会議)

## ② その他研修会(全6回) 参加延人数97人

内容：ろう者・ビデオの手話読み取り(2回)、場面通訳(会議・総会・医療)、事例検討



## 19 意思疎通支援（要約筆記者派遣）事業（多摩市受託事業）

### (1) 概要

目 的	聴覚障がい者等が、他者との意思疎通を円滑にするため、要約筆記者を必要とする場合に、要約筆記者を派遣すること及び要約筆記者に係わる交通費を助成することにより、聴覚障がい者等の地域での自立生活及び社会参加を促すことを目的とする。
対 象 者	① 多摩市地域生活支援事業要綱第3条の規定を満たし、かつ、市に居住する聴覚、音声又は言語機能障害のため身体障害者手帳を所持する者。 ② 市に事務所を有する聴覚障がい者等団体。 ③ ①に該当する者が複数参加することが見込まれている講演会その他事業の主催者 ④ その他市長が特に認めた者。 ※多摩市における聴覚障害者・平衡機能障害者手帳所持者数431人（平成31年3月末現在）内利用登録者数116人（26.9%）
利用時間の制限	要約筆記者の派遣・・・・・・・・原則月20時間
要約筆記者	①多摩市登録要約筆記者…東京都要約筆記者養成講習会を終了または同程度の満20歳以上の者で、多摩市長が手話通訳者として認定した者。 ※登録者数26人（平成31年3月末現在） ②東京手話通訳等派遣センター登録要約筆記者 ※専門的な内容に関わる場合で、利用者が希望する場合に派遣。

### (2) 契約状況等

単位：円

区 分	平成30年度		平成29年度	
	内 容	備 考	内 容	備 考
契約年月日	平成30年4月1日		平成29年4月1日	
概算契約金額	1,426,000		1,179,000	

### (3) 収支の状況

#### ① 収入の状況

単位：円

区 分	平成30年度				平成29年度			
	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)
受託金収入	1,426,000	917,877	508,123	64.3	1,179,000	1,124,463	54,537	95.3

② 支出の状況

単位:円

区 分	平成30年度				平成29年度			
	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)
事業費	1,339,000	835,107	503,893	62.3	1,092,000	1,038,443	53,557	95.1
事務費	87,000	82,770	4,230	95.1	87,000	86,020	980	98.8
合計	1,426,000	917,877	508,123	64.3	1,179,000	1,124,463	54,537	95.3

(4) 要約筆記者の活動実績

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
利用登録者	103人	104人	104人	122人	116人
登録要約筆記者	23人	23人	24人	23人	26人
派遣件数(市・都)	74件	86件	80件	74件	60件
のべ派遣時間(市)	521時間 58分	627時間 52分	738時間 12分	708時間 17分	571時間 55分
のべ派遣活動人数(市)	124人	121人	118人	147人	120人

(5) 要約筆記者研修会

① 外部講師による研修会(全5回) 参加延人数35人

講師: NPO法人 東京都中途失聴・難聴者協会、東京手話通訳等派遣センター  
(株)プラスヴォイス

内容: 通訳制度の現状、技術研修～全体投影等、対人支援、支援機器による生活向上と人的支援

② その他研修会(全3回) 参加延人数26人

講師: 障害福祉課等

内容: ノートテイク演習、学習会 災害時における聴覚障害者への情報保障、障害者施策、自主研修(技術研修)

## 20 共同募金関係

### (1) 赤い羽根共同募金

※東京都共同募金会多摩地区協力会として実施

単位：円

種別	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
街頭募金	268,873 (12 団体)	527,612 (8 団体)	452,114 (16 団体)	361,506 (18 団体)	411,413 (23 団体)
自治会・ 住宅管理組合	548,044 (53 団体)	492,102 (37 団体)	508,588 (41 団体)	566,619 (57 団体)	470,036 (41 団体)
職域募金	171,180 (10 団体)	167,199 (14 団体)	139,469 (16 団体)	203,586 (39 団体)	181,629 (44 団体)
募金箱	47,431 (29 団体)	61,262 (31 団体)	57,309 (40 団体)	36,400 (20 団体)	33,597 (17 団体)
プリペイドカードに よる募金	96,944 (14 団体)	118,825 (15 団体)	132,232 (17 団体)	161,200 (17 団体)	120,900 (17 団体)
個人	12,074	2,479	0	13,290	6,820
チャリティーお菓子				33,000	73,500
カキ串焼き・牛タン つくね					80,800
自動販売機				4,094	58,783
合 計	1,144,546	1,369,484	1,289,712	1,379,695	1,437,478

※( )内は、協力等団体数

### (2) 歳末たすけあい運動募金 (平成30年12月1日～12月31日まで)

単位：円

種別	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
街頭募金	173,555 (13 団体)	296,032 (14 団体)	231,555 (9 団体)	286,512 (10 団体)	252,037 (14 団体)
自治会・住宅管理組合	1,065,257 (74 団体)	1,126,404 (77 団体)	964,845 (67 団体)	1,108,068 (103 団体)	1,036,995 (87 団体)
法人(団体)募金	307,466 (14 団体)	347,375 (15 団体)	320,397 (18 団体)	214,593 (12 団体)	171,363 (19 団体)
個人募金	16,368	40,129	13,660	9,369	0
その他の募金	42,469	39,362	39,620	42,065	55,413
預金利息	131	46	56	2	2
チャリティーゴルフ					90,500
自動販売機				1,761	27,105
合 計	1,605,246	1,849,348	1,570,133	1,662,370	1,633,415

見舞金 (@3,000 円/人を 身体障がい者等に交付)	282,000 (94 人)	H27 年度よ り廃止			
都共募納付額 ※翌年配分金額	1,252,899	1,741,023	1,496,383	1,582,644	1,571,478

※ ( ) 内の団体数は、協力団体数。( ) 内の人数は、見舞金交付人数

## 2 1 その他の事業

### (1) 車椅子貸出事業

#### ①概要

目的	日常生活において一時的又は短期的に車椅子を必要とする方に車椅子を貸し出し、地域福祉の向上に寄与する。
対象	市内に住所を有する方で、下記のいずれかに該当する方又は使用者を介助する方 (1) 歩行困難な高齢者 (2) 身体障がい者 (3) 疾病、傷病等により一時的に歩行困難な者 (4) その他会長が特に必要と認めたもの
貸出期間	1回 1ヶ月以内
貸出料金	無料

#### ②過去5年間の状況

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
貸出件数	57	57	87	79	86

### (2) 東日本大震災復興支援事業

#### 復興支援販売の実施

宮城県石巻の(株)元気いしのまきより商品を購入し市内のイベントに復興支援販売として参加。販売による支援（価格に支援金を上乗せして販売し、売上額を送金している）と災害に対する普及啓発を継続して行った。

#### 支援販売実施イベント

- ・4月8日(日) せいせき桜まつり
- ・5月3日(木)～5日(土) ガーデンシティ多摩センターこどもまつり 2018
- ・10月21日(日) 福祉フェスタ 2018
- ・10月27日(土)～28日(日) ハロウィン in 多摩センター2018

#### ①多摩市災害復興支援ボランティアの会活動協力

平成23年度本会が実施した、石巻市復興支援活動に参加した市民ボランティアの有志が発起人となり、平成24年4月に「多摩市災害復興支援ボランティアの会」を立ち上げた。以降、多摩ボランティア・市民活動支援センターの登録団体となり、石巻市小網倉浜での現地活動に対して、多摩市社会福祉協議会ボランティア活動等振興助成金を交付し支援している。